

令和4年度

業 務 概 要

秋田県立医療療育センター

基本理念

発達に支援が必要な子どもたちに、安全で良質な医療・療育を提供するとともに、乳幼児期から学齢期そして成人期に至るまでライフステージに応じた適切な支援を行うことを基本理念とし、次の事項を実施します。

- 1 医療・療育・教育・就業・地域生活など、子どもの発達に係る幅広い支援を行います。
- 2 多様で専門的なアプローチにより、一人一人のニーズや障害に応じたきめ細かな療育を提供します。
- 3 保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携し、県内各地域での療育事業を支援します。
- 4 利用者の立場に沿った施設運営を行うため、常にサービス内容等の評価・検証をします。
- 5 専門知識や技術の習得など職員の資質向上を図るとともに、療育に関わる各分野の人材を育成します。
- 6 治療・療育が必要な子どもたちの人権・人格を十分に尊重し、業務にあたります。

はじめに

県内唯一の障害児を対象とした総合医療福祉施設として、求められているサービスを十分に提供できているかどうかは、業務概要の数字から評価されます。コロナ禍前の数字と比べて、外来受診者数、リハビリテーション施行実績、病棟入所者数などは、大きな遜色はありません。一方、児童発達支援センター利用者数や短期入所者数など福祉事業の方は、コロナ感染症予防対策の一環として利用者制限を設けたこともあり、数字上、大分落ち込んでいます。新年度の連休明けには、コロナ感染症が感染症法の5類に分類され、規制レベルも変わって行きます。当センターとしても、利用制限を緩和し、より多くの方々が安心して利用して頂けるように、鋭意対応して参りたいと思います。

一方、業績上の数字には出にくい重要な留意事項があります。職員ひとりひとりの質の問題です。当センターは多くの専門職によって成り立っています。職員それぞれが、その道の専門家として自己研鑽して行くことが、当センターの発展には不可欠です。コロナ禍では研修会や学会などに、直接参加する機会が大きく制限されました。しかし、この間、何もしなかった訳ではなく、Web上での研修会などに積極的に参加する様にしました。いつもは、宿泊を伴う県外開催の研修会や学会に参加できなかった職員からは、Web開催が多くなり、逆に参加しやすくなったとの声も聞かれました。できるだけ多くの職員に学ぶ機会を与え、常に質の向上に努めて行く必要があると思います。

専門職としてのレベルアップの段階を考える時、多くの研修を受けることは初期の段階と考えます。研修会や学会での聴衆者として受動的学習段階に居るのではなく、自ら発表する能動的学習段階へと向上する必要があります。それも秋田県レベルの研修会ではなく、全国レベルの研修会や学会、できれば世界レベルで、自ら演題を積極的に発表して欲しいと思います。さらには専門雑誌に論文を発表するレベルを目指したいと思います。医療部門だけでなく、福祉部門でも事務部門でも同様のステップアップを目指して欲しいと思います。当施設の職員の質の向上は、利用者への医療福祉サービスの向上に直接繋がるからです。

秋田県のAIRCではなく、日本を代表するAIRCを目指したいと思います。

令和5年4月

秋田県立医療療育センター長 澤石由記夫

目 次

施設の概要

1	名称及び所在地	1
2	事業内容	1
3	規模及び構造	1
4	沿革	2
5	組織図	4
6	職員数	5

事業内容

1	診療部	6
	Ⅰ 各診療科	6
	整形外科、小児科、小児科メンタルヘルス、精神科こころのケア、歯科、 リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、眼科	
	Ⅱ 薬剤部門	12
	Ⅲ 臨床検査部門	13
	Ⅳ 放射線部門	15
	Ⅴ 臨床心理部門	16
	Ⅵ 栄養指導管理部門	17
2	リハビリテーション部	18
3	看護部	20
4	入所部門	24
5	育成部	29
	Ⅰ 児童発達支援センター	
	Ⅱ 保育所等訪問支援事業所	
	Ⅲ 地域療育支援部門	
	Ⅳ 生活介護事業所育成部門	
	Ⅴ 医療型障害児入所施設育成部門	
6	短期入所・日中一時支援事業	45
7	総合相談・医療療育連携室	47
8	発達障害者支援部	51
9	感染予防対策室	55
10	医療安全管理室	57
11	医療機器・情報管理室	58
12	院内委員会等設置状況	59
13	実習生・ボランティアの受入状況	61
14	業績	62

過去5年間の実績の推移

令和4年度事業実績	74
-----------	----

資 料

定款	90
全体配置図	95
案内図	96

施 設 の 概 要

1 名称及び所在地

秋田県立医療療育センター

秋田市南ヶ丘一丁目1番2号

2 事業内容

- 一般外来診察
- 医療型障害児入所施設 ----- 100 床
 - ・ ひばり病棟（旧重症心身障害児施設：40 床）
 - ・ 杉の子病棟（旧肢体不自由児施設：60 床）
- 療養介護事業所 ----- 40 床
 - ・ 旧重症心身障害児施設部分（ひばり病棟）が経過措置により指定されており、定員は児・者合せて 40 床
- 短期入所事業所（空床利用型） ----- 7 床
- 日中一時支援事業（地域生活支援事業による受託）
- 医療型児童発達支援センター（肢体不自由児通園） ----- 30 名
- 児童発達支援センター（知的障害児通園） ----- 40 名
- 生活介護事業所（よつ葉）（在宅重症心身障害児・者） ----- 20 名
- 保育所等訪問支援事業所
- 地域療育支援
- 総合相談・医療療育連携
- 相談支援事業所
- 秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』
- 発達障害者支援センター（ふきのとう秋田）

3 規模及び構造

敷地面積 50,000.04 m²（あきた総合支援エリア全体 約 120,000 m²）


建築面積 7,508.41 m²

延床面積 10,300.14 m²

鉄筋コンクリート一部2階建て

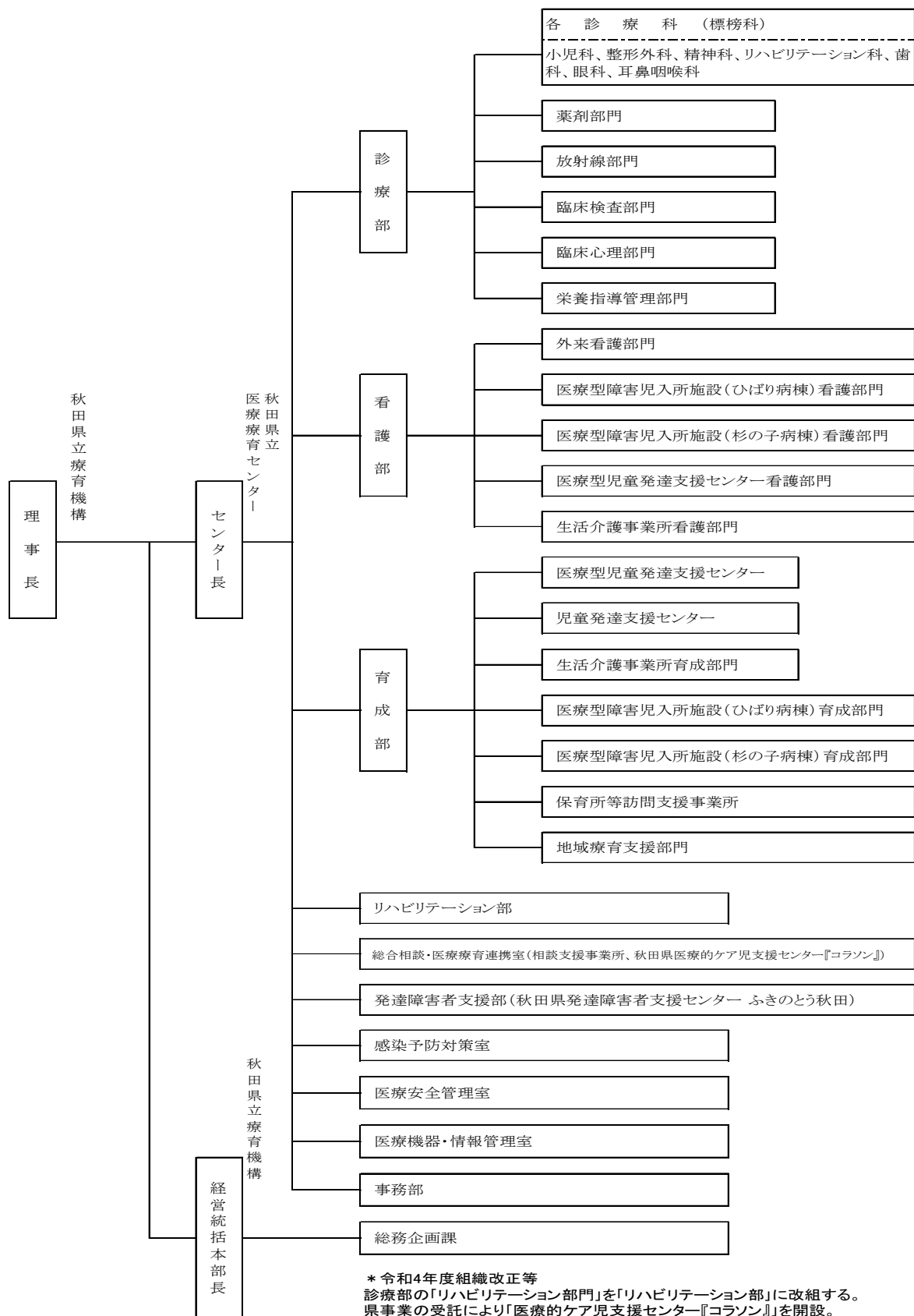
- 1 階 各診療室 医療型障害児入所施設・療養介護事業所（ひばり病棟）
医療型児童発達支援センター 福祉型児童発達支援センター
生活介護事業所 リハビリテーション室 感染予防対策室 調理室
総合相談・医療療育連携室 発達障害者支援センター
講堂 機械室
- 2 階 医療型障害児入所施設（杉の子病棟） 手術室 医局 事務室
会議室 図書室

4 沿革

昭和 34 年	4 月	秋田県太平療育園定員 50 床にて秋田市新屋栗田町に開設	
昭和 36 年	10 月	定員 100 床に変更	
昭和 41 年	10 月	母子棟定員 10 名、重度病棟定員 25 名とし、総収容定員 135 名に変更	
昭和 49 年	8 月	秋田市新屋下川原町に定員 160 床にて新築移転	
昭和 58 年	4 月	秋田県小児療育センター開設	
平成 6 年	7 月	「太平療育園・小児療育センターの機能統合に関する検討委員会」設置（内部関係者）	（県教育委員会）
平成 7 年	3 月	「秋田県太平療育園・秋田県小児療育センターの機能強化（統合）に関する考え方について」報告書策定	
平成 11 年	3 月		「本県における障害児教育の推進の在り方」策定
平成 11 年	6 月		「秋田県特殊教育総合整備計画策定委員会」設置
平成 12 年	4 月	「障害児療育機関再編整備に関する庁内プロジェクトチーム」設置（県庁内）	
	7 月	「障害児の療育体制の整備について」報告書策定	
平成 14 年	7 月	「障害児の特殊教育・療育機関再編整備に関する検討チーム」設置（県庁内）	
	12 月	「再編整備に関する基本的な考え方」策定	
平成 15 年	3 月		「秋田県特殊教育総合整備計画」策定
平成 16 年	4 月		「秋田県特殊教育総合エリア基本構想素案検討委員会」設置
平成 17 年	1 月		「秋田県特殊教育総合エリア基本構想素案」策定
平成 17 年	4 月	「療育機関再編整備基本構想素案検討委員会」設置（外部検討委員）	
	6 月	「療育機関再編整備基本構想素案」策定	
			
平成 17 年	7 月	「療育機関再編整備基本構想素案」「秋田県特殊教育総合エリア基本構想素案」を踏まえ、利用者が望む連携体制の在り方を協議するため「秋田県こども総合支援エリア（仮称）基本構想検討委員会」設置	
	10 月	「秋田県こども総合支援エリア（仮称）基本構想案」策定	
平成 20 年	1 月	秋田県太平療育園定員 114 床に変更	
平成 20 年	10 月	建築工事着工	
平成 21 年	12 月	建築工事竣工	
平成 22 年	4 月	あきた総合支援エリア「かがやきの丘」に県立聾学校（現聴覚支援学校）、県立盲学校（現視覚支援学校）、きらり支援学校（肢体不自由・病弱特別支援学校）とともに地方独立行政法人秋田県立療育機構を運営主体とする秋田県立医療療育センター開設	
		第 1 期中期計画策定	
平成 27 年	4 月	第 2 期中期計画策定	
	5 月	日本医療機能評価機構認定病院	
令和 2 年	4 月	第 3 期中期計画策定	
	5 月	日本医療機能評価機構認定病院（更新）	

令和4年 4月 | 秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』を開設

5 組織図（令和5年4月1日現在）



6 職員数

区 分			現在配置数 (令和5年4月1日現在)		
			正職員	任期付職員	計
理事長			1		1
診療部	医 師	整形外科	3	1	4
		小児科	5	8	13
		精神科		2	2
		耳鼻咽喉科		3	3
		眼科		2	2
		歯科	1	2	3
		小児外科		4	4
		小児科(心臓外来)		1	1
		小児科(腎臓外来)		1	1
		小児泌尿器・排尿障害外来		1	1
	薬剤師	2	1	3	
	放射線技師	1	1	2	
	臨床検査技師	2	1	3	
	臨床(公認)心理士	3		3	
	公認心理師	1		1	
	管理栄養士	1		1	
	臨床工学技士	1		1	
小計		20	28	48	
テリハビョリ部	理学療法士	9	1	10	
	作業療法士	9		9	
	言語聴覚士	5		5	
	事務職員		1	1	
	小計	23	1	24	
看護部	看護部	1		1	
	外来診療 (看護師)	8		8	
	医療型障害児入所施設 (ひばり病棟) (看護師)	29		29	
	同上 (介護福祉士)		2	2	
	同上 (生活介助員)		1	1	
	医療型障害児入所施設 (杉の子病棟、手術・中材) (看護師)	25		25	
	同上 (介護福祉士)		3	3	
	生活介護事業所看護部門 (看護師)	3	1	4	
	同上 (介護福祉士)		2	2	
	医療型・児童発達支援センター(兼務) (看護師)	(5)			
	医療的ケア児支援センター(兼務) (看護師)	(3)			
	感染予防対策室 (兼務) (看護師)	(1)			
	医療安全管理室 (兼務) (看護師)	(2)			
歯科衛生士		2	2		
小計		66	11	77	
育成部	医療型児童発達支援センター (保育士)	3		3	
	児童発達支援センター (保育士)	7	1	8	
	保育所等訪問事業所 (兼務) (保育士)	(1)			
	生活介護事業所育成部門 (保育士)	2		2	
	育成部門 (ひばり病棟) (保育士)	2	1	3	
	育成部門 (杉の子病棟) (保育士)	3	1	4	
	地域療育支援部門 (保育士)	2	1	3	
	小計	19	4	23	
医療総合連携・療育相談室	社会福祉士	3		3	
	相談支援専門員 (兼務)	1(2)		1	
	医療連携相談員		1	1	
	事務職員		1	1	
	小計	4	2	6	
者発達支援障害部	社会福祉士	3		3	
	公認心理師	1(1)		0	
	教育支援員	2		2	
	小計	6		6	
事務部	事務職員	4	2	6	
	運転技師		1	1	
小計		4	3	7	
本統経部括営	事務職員	5	2	7	
	小計	5	2	7	
合計			150	51	201

事業内容

I 診療部

1 各診療科

(1) 整形外科

脳性麻痺、二分脊椎など障害児の肢体不自由や変形などの改善を目的に、リハビリテーション、装具療法等を行っているほか、必要に応じて、入所後に手術治療なども行っている。

また、四肢の痙性の強い患者に対してはボツリヌス注射治療も施行しているほか、發育性股関節形成不全（先天性股関節脱臼）、内反足、O脚、側弯症などの小児整形外科疾患に対するギプス、装具、牽引、手術などの治療も専門としている。

さらに、骨系統疾患児や下肢長差の認められる患者には脚延長術も行っている。

(2) 小児科

一般病院の小児科とは異なり、小児期発症の神経疾患を専門としている。

初診年齢は0歳～18歳だが、状況により18歳を過ぎたケースにも対応している。

入所施設機能に加え、母子訓練入院、検査や治療目的の入院も行っており、特に、難治性てんかん患者への内科的治療に取り組んでいる。

また、人工呼吸器管理を含めた重度障害への対応を充実させ、在宅支援を積極的に行っている。

(3) 小児科メンタルヘルス

子どものこころ専門医が、子どもの行動発達の問題と心身症の専門外来を行っている。

初診年齢は中学生までとしている。

継続する場合はおおむね高校1年生までとし、その後医療が必要な場合は大人の科へ紹介する方針としている。

(4) 精神科こころのケア

精神科専門医が、子どもの心の問題について「こころのケア外来」という名称で診療および相談を行っている。

初診は原則として中学生までで、対象となるのは①知的障害を含む発達障害 ②発達障害を背景にした精神症状 ③発達障害以外の子どもの精神障害 の3分野である。

(5) 歯科

むし歯を生じさせないためには、良好な食習慣とハミガキやうがいを始めとした口腔衛生の維持が大切であり、様々な病気を持った子どもの口と歯の健康を、歯科医師と歯科衛生士が保護者の方と一緒に取り組み、口腔育成の視点からの診療を行っている。

治療が困難な子どもの場合には、静脈内鎮静法や全身麻酔を併用した歯科治療を行うが、通常の歯科治療が可能と思われる場合は、他の医療機関の受診を勧めている。

(6) リハビリテーション科

専門スタッフによる理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っている。各療法とも発達の遅れや障害のある方に対して適切な評価を行い、個々の特性に合わせた治療方針に基づいたリハビリテーションや支援を提供している。

(7) 耳鼻咽喉科

主に小児を対象として耳・鼻・のどの病気を診察・治療している。また、自宅での耳そうじが困難な小児に対しての耳垢除去も行っている。特に難聴に対する検査では脳波を検出する方法により0歳児から診断が可能となっている。

(8) 眼科

屈折異常（近視、遠視、乱視）、弱視、斜視、緑内障、白内障、先天異常、眼科手術後の経過観察、その他小児眼科全般の診療および治療に関する相談のほか、眼鏡処方や弱視治療も行っている。検査や診察が困難な子どもにも時間をかけて対応できるよう予約制としている。

(9) 常勤診療科医師（令和5年3月）

診療科	氏 名	卒業年	専門医など
整形外科	島田 洋一	昭和57年	整形外科専門医、リハビリテーション科専門医、脊椎脊髄外科専門医、脊椎脊髄病外科指導医、脊椎脊髄病医
整形外科	三澤 晶子	平成7年	整形外科専門医、リハビリテーション科専門医、脊椎脊髄病医
整形外科	若林 玲奈	平成26年	
整形外科	渡辺 学	平成30年	
小児科	澤石 由記夫	昭和60年	小児科専門医、小児神経専門医、てんかん専門医指導医
小児科	渡部 泰弘	平成5年	小児科専門医、こどものこころ専門医
小児科	豊野 美幸	平成5年	小児科専門医、小児神経専門医
小児科	坂本 知子	平成25年	
小児科	平野 修平	平成24年	
歯科	本間 高志	平成20年	口腔外科認定医

(10) 外来診察担当表 (令和5年3月)

診察室番号		診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2	午前	小児科	澤石	澤石	豊野	澤石	澤石
	午後	小児科		澤石		澤石	
3	午前	小児科	平山	平山		平山	豊野
	午後	小児科	豊野	豊野	稲見		豊野
4	午前	整形外科	三澤		三澤		三澤*1
	午後	整形外科			三澤		
5	午前	整形外科	坂本	坂本		坂本	坂本*2
	午後	整形外科		坂本		坂本	
	午前	泌尿器科					神田*3
7	午前	眼科					秋田大学 担当医師*4
	午後	耳鼻咽喉科					秋田大学 担当医師
	午後	小児外科				森井*5 渡部*5	
	午後	小児科 (腎臓)			土田*6		
8	午前	歯科	本間 今野	本間	本間	本間	本間 高橋
	午後	歯科	本間 今野	本間	本間	本間	本間 高橋
9	午前	小児科 メンタルヘルス	渡部	渡部*7		渡部	渡部
	午後	小児科 メンタルヘルス	渡部		渡部	渡部	渡部
	午前	小児科 (心臓)		豊野*8			
10	午前	精神科 こころのケア				室岡	
	午後	精神科 こころのケア	馬越*9			室岡	

(注) 表中の空欄は休診日、*印の外来診療日は以下のとおり。

*1: 第1・2・5金曜日

*2: 第3・4金曜日

*3: 第2金曜日

*4: 第1・3・5金曜日

*5: 第1・3木曜日(森井) 第2・4・5木曜日(渡部)

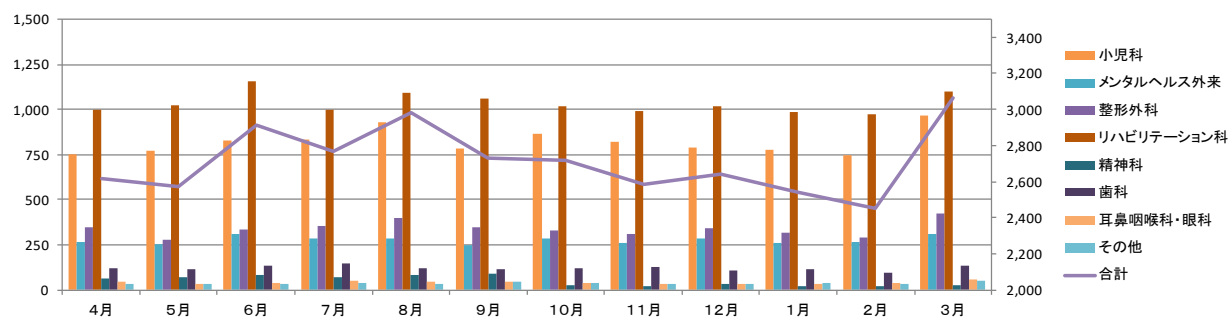
*6: (奇数月) 第2水曜日

*7: 第1・3火曜日

*8: 第4火曜日

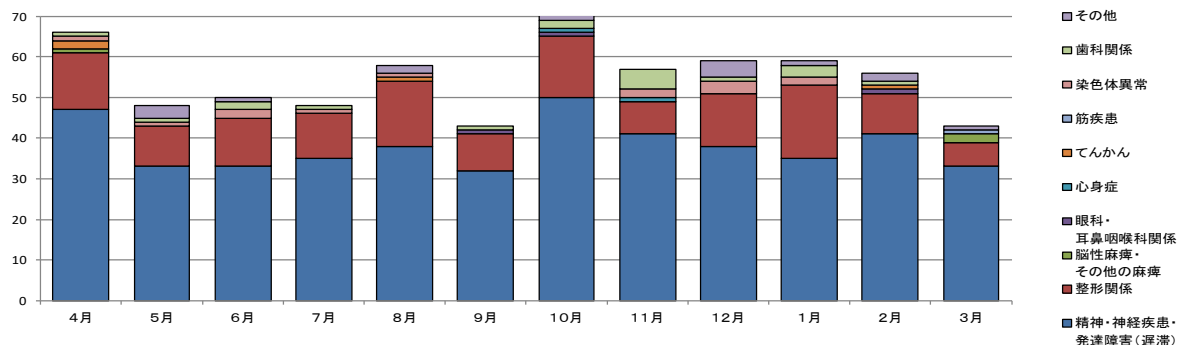
*9: 第1・3月曜日

(11) 令和4年度の実績
① 診療別外来受診者数



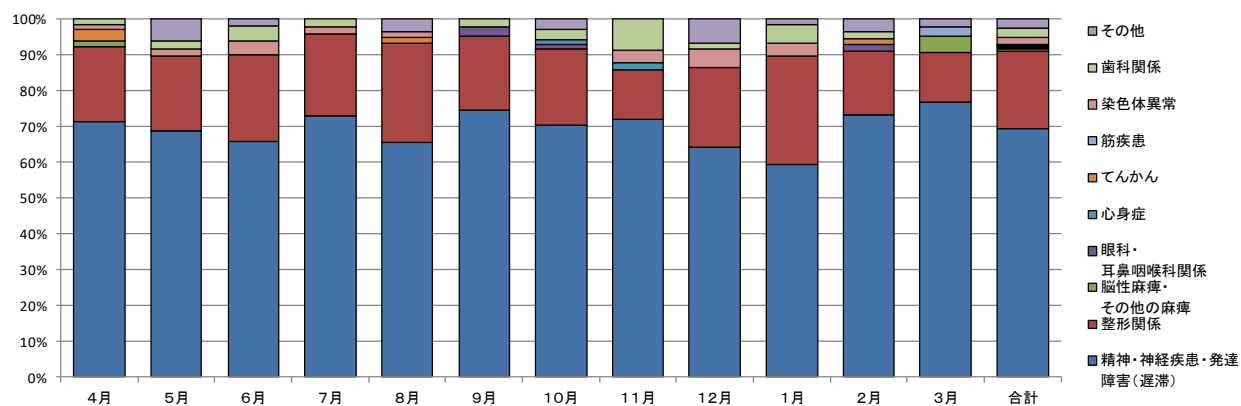
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小児科	749	773	826	834	929	781	868	819	789	776	743	969	9,856
メンタルヘルス外来	265	250	312	284	287	245	282	258	284	258	263	308	3,296
整形外科	345	277	337	352	395	349	330	309	341	314	291	421	4,061
リハビリテーション科	995	1,024	1,158	999	1,093	1,061	1,019	991	1,020	987	973	1,100	12,420
精神科	61	71	80	67	82	88	24	19	32	20	19	27	590
歯科	121	115	134	145	122	114	123	126	106	111	96	130	1,443
耳鼻咽喉科・眼科	44	30	36	48	45	45	36	30	35	35	37	57	478
その他	35	34	30	38	30	47	37	32	34	39	30	51	437
合計	2,615	2,574	2,913	2,767	2,983	2,730	2,719	2,584	2,641	2,540	2,452	3,063	32,581
前月比(%)		98.4	113.2	95.0	107.8	91.5	99.6	95.0	102.2	96.2	96.5	124.9	

② 外来新患内訳数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神・神経疾患・発達障害(遅滞)	47	33	33	35	38	32	50	41	38	35	41	33	456
整形関係	14	10	12	11	16	9	15	8	13	18	10	6	142
脳性麻痺・その他の麻痺	1											2	3
眼科・耳鼻咽喉科関係						1	1				1		3
心身症							1	1					2
てんかん	2				1						1		4
筋疾患				0								1	1
染色体異常	1	1	2	1	1			2	3	2			13
歯科関係	1	1	2	1		1	2	5	1	3	1		18
その他		3	1		2		2		4	1	2	1	16
合計	66	48	50	48	58	43	71	57	59	59	56	43	658
前月比(%)		72.7	104.2	96.0	120.8	74.1	165.1	80.3	103.5	100.0	94.9	76.8	

③ 外来新患内訳比率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神・神経疾患・発達障害(遅滞)	71.2%	68.8%	66.0%	72.9%	65.5%	74.4%	70.4%	71.9%	64.4%	59.3%	73.2%	76.7%	69.6%
整形関係	21.2%	20.8%	24.0%	22.9%	27.6%	20.9%	21.1%	14.0%	22.0%	30.5%	17.9%	14.0%	21.4%
脳性麻痺・その他の麻痺	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	0.5%
眼科・耳鼻咽喉科関係	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.5%
心身症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
てんかん	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.5%
筋疾患	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.2%
染色体異常	1.5%	2.1%	4.0%	2.1%	1.7%	0.0%	0.0%	3.5%	5.1%	3.4%	0.0%	0.0%	1.9%
歯科関係	1.5%	2.1%	4.0%	2.1%	0.0%	2.3%	2.8%	8.8%	1.7%	5.1%	1.8%	0.0%	2.7%
その他	0.0%	6.3%	2.0%	0.0%	3.4%	0.0%	2.8%	0.0%	6.8%	1.7%	3.6%	2.3%	2.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

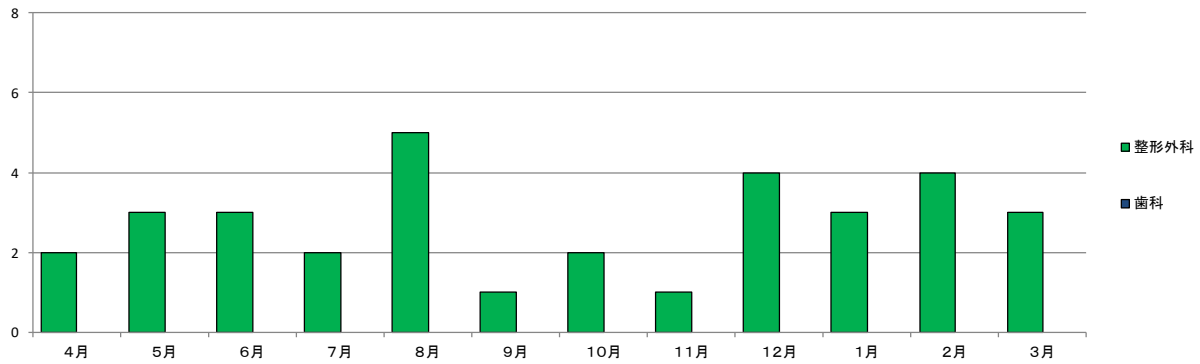
④ ボトックス施注数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施注人数	24	20	21	10	16	28	16	19	18	21	15	22	230

⑤ 補装具処方数

	(枚)
股装具	6
膝装具	8
短下肢装具	98
靴型装具	3
リハビリシューズ	3
足底装具	29
頸椎装具	3
腰椎装具	4
側弯矯正装具	49
上肢装具	17
車いす	61
電動車いす	7
歩行器	15
座位保持装置	20
座位保持いす	17
その他	30
計	370

⑥ 手術件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形外科	2	3	3	2	5	1	2	1	4	3	4	3	33
歯科													0

⑦ 整形外科疾患別手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳性麻痺	2	2	1	1	2		2				3	1	14
二分脊椎													0
筋疾患										1			1
神経疾患													0
先股脱		1									1		2
筋性斜頸									2			1	3
内反足													0
その他			2	1	3	1		1	2	2		1	13
合計	2	0	3	2	5	1	2	1	4	0	4	3	33

⑧ 整形外科手術別件数

手術名	件数
股関節脱臼整復術	1
膝蓋関節脱臼整復術	0
股関節周囲筋解離術	19
膝関節周囲筋解離術	14
足関節周囲筋解離術	22
骨切り術（骨盤、大腿、下腿）	6
足部骨・関節手術	20
斜頸手術	3
内反足手術	0
その他（脚延長、抜釘など）	39
合計	124

⑨ 歯科治療件数

	件数
全身麻酔下	0
静脈内鎮静法下	28
モニター監視下	28
埋伏歯抜歯	1
合計	57

※延べ件数

Ⅱ 薬剤部門

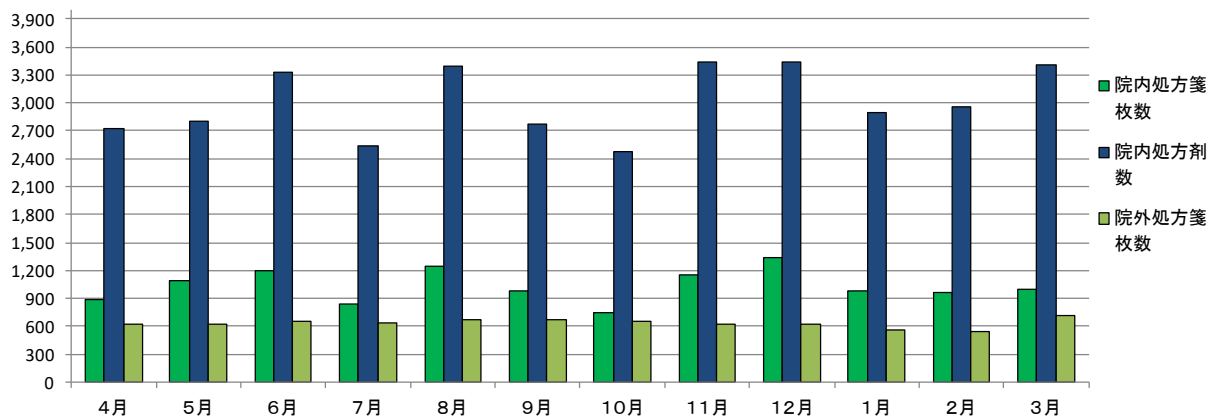
主に調剤・鑑査業務や病棟・外来・手術室の医薬品管理業務、医薬品情報管理業務、電子カルテの医薬品整備を行っている。また調剤時は電子カルテと連動したシステムを使用することで、用量や処方薬間の相互作用、重複投与の確認を行い、インシデントを防止している。その他、採用医薬品集の整備や後発医薬品への変更を推進することで、医療費の削減に努めている。

(1) 業務内容

- ・調剤・鑑査業務
- ・病棟・外来・放射線部門・手術室の医薬品管理業務
- ・医薬品情報管理業務（医薬品情報の職員への周知）
- ・採用医薬品の整備
- ・後発医薬品への切り替え
- ・チーム医療への参加（ICT、医療安全）
- ・調剤システムの構築と整備
- ・災害等を念頭に置いた医薬品在庫の適正化

(2) 令和4年度の実績

調剤件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内処方箋枚数	891	1,096	1,193	843	1,244	974	753	1,144	1,332	980	957	992	12,399
院内処方剤数	2,724	2,803	3,322	2,538	3,391	2,763	2,472	3,437	3,438	2,894	2,953	3,399	36,134
院外処方箋枚数	629	616	660	643	662	677	657	621	618	567	546	712	7,608
院外処方発行率 (%)	93.6%	94.8%	92.6%	94.1%	91.4%	94.0%	94.5%	95.7%	93.2%	94.8%	93.7%	93.9%	93.8%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来院内処方箋枚数	43	34	53	40	62	43	38	28	45	31	37	46	500
外来院内注射処方箋枚数	42	42	55	26	40	53	33	45	43	45	31	36	491
入院処方箋枚数	395	355	435	400	450	424	375	472	427	367	406	436	4,942
入院注射処方箋枚数	411	665	650	377	692	454	307	599	817	537	483	474	6,466
外来院内処方箋剤数	78	59	89	69	111	82	91	50	93	74	77	103	976
外来院内注射処方箋剤数	42	42	55	26	40	53	33	45	43	45	31	36	491
入院処方箋剤数	2,193	2,037	2,528	2,066	2,548	2,174	2,041	2,743	2,485	2,238	2,362	2,786	28,201
入院注射処方箋剤数	411	665	650	377	692	454	307	599	817	537	483	474	6,466

Ⅲ 臨床検査部門

臨床検査は検体検査と生理機能検査に大別される。当センターでは、処理可能な検査は当センターで行い（自家処理）、その他の検査は外部委託している。

（１）検体検査

- ・尿一般検査：尿の検査・糞便の検査等を行う。
- ・血液一般検査：自動分析装置を使い、赤血球数、白血球数、血小板数等を測定する。
- ・生化学検査：自動分析装置を使い、肝機能検査、腎機能検査等を測定する。
- ・血清検査：手術等で輸血が必要な場合の血液型（ABO 型、Rh 型）を調べ、交差適合試験を行う。
- ・薬物血中濃度検査：自動分析装置を使い、抗てんかん薬等の血中濃度を測定する。
- ・血液ガス検査：自動分析装置を使い、血液中の酸素濃度、二酸化炭素濃度、PH 等を測定する。
- ・凝固検査：自動分析装置を使い、PT、APTT、Dダイマー等の凝固因子を測定する。
- ・簡易キット検査：簡易キットを使い、目的とする細菌・ウイルス（インフルエンザ A&B、A 群ベクター溶血連鎖球菌、RS ウイルス、hMP ウイルス、咽頭アデノウイルス、便アデノウイルス、便ロタウイルス、便ノロウイルス、新型コロナウイルス）の検査をする。
- ・遺伝子検査：自動核酸検査装置を使い、目的とするウイルス（新型コロナウイルス）の遺伝子を検査する。
- ・外部委託検査：細菌検査、病理検査、遺伝子学的検査、自家処理不可能な検査等を委託する。

（２）令和４年度の実績

- ・検体検査件数

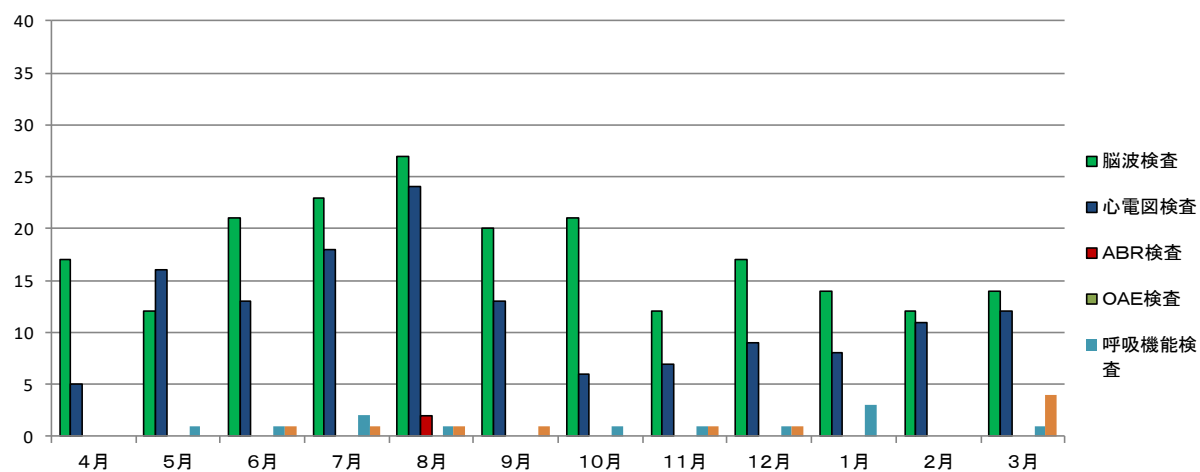
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院内検査	尿一般検査	119	107	160	101	108	105	109	93	79	91	95	113
	血液一般検査	208	198	281	220	258	261	214	206	241	188	164	227
	生化学検査	1,418	1,431	1,977	1,565	1,680	1,758	1,408	1,374	1,491	1,247	1,129	1,516
	凝固検査	11	14	11	16	17	28	8	29	8	14	6	17
	血清検査	4	14	10	16	4	6	4	12	2	12	4	4
	薬物血中濃度検査	25	20	33	23	22	21	23	13	19	12	12	14
	簡易キット検査	3	6	5	1	3		1	2	4	2	6	7
	健康診断（尿検査）	32	23					11	5				
	その他の検査	16	18	9	8	11	19	11	29	19	18	15	16
外注検査		87	121	189	125	122	142	142	104	126	95	81	120
細菌検査		18	25	22	16	19	44	28	28	20	27	9	21

(3) 生理機能検査

- ・脳波検査・心電図検査・ABR検査・OAE検査・呼吸機能検査・起立試験
- ・筋電図検査（医師実施）・超音波検査（医師実施）

(4) 令和4年度の実績

・生理機能検査件数



	(件)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳波検査	17	12	21	23	27	20	21	12	17	14	12	14	210
心電図検査	5	16	13	18	24	13	6	7	9	8	11	12	142
ABR検査					2								2
OAE検査													
呼吸機能検査		1	1	2	1		1	1	1	3		1	12
起立試験			1	1	1	1		1	1			4	10

IV 放射線部門

放射線部門で行っている画像検査は、CT、MRI(オープンタイプ)、X線撮影、透視撮影、歯科撮影、術中透視撮影などである。依頼科は、小児科、精神科、整形外科、歯科、耳鼻咽喉科、眼科と多岐にわたり、検査部位や検査項目も広範囲になっている。対象疾患でもっとも多いものは小児神経疾患及び小児整形外科疾患である。

なお、導入している放射線部門システムは電子カルテシステムと連携し、画像は各診療科や病棟の高精細端末や電子カルテ端末に配信されて、精度の高い診断及びインフォームドコンセントの促進に活用されている。

(1) 事業計画

- ・質の高い放射線技術の提供（疾患、障害、発達に応じた画像検査を提供する。利用者の質問、相談に対し、そのニーズを的確に汲み取り、EBMに基づいたインフォームドコンセントを実施する。）
- ・CT、MRI 等高度医療機器の効率的活用（他の医療機関と良好な連携を目指し、検査精度の向上を図る。標準化された各種の規格・運用指針に基づき、他の医療機関との連携強化に努める。）
- ・医療安全対策の推進（医療安全管理マニュアルをはじめ、感染防止対策マニュアルや医療機器安全管理マニュアルに基づいて業務を遂行する。）
- ・職員の資質の向上（最先端医療技術の成熟度に応じた医療水準を常に念頭に置いて技術の向上に努める。各種学会のガイドラインの導入を図り、確立された診療放射線技術を検証する。）

(2) 令和4年度の実績

- ・画像撮影件数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
MRI撮影	3	5	11	10	10	12	8	3	0	3	7	9	81
CT撮影	4	7	7	3	8	6	4	10	5	2	5	4	65
X線撮影	86	69	86	92	134	88	83	76	90	105	80	123	1,112
回診撮影	21	25	28	22	28	27	20	15	21	19	9	14	249
X線透視・撮影	11	4	7	6	7	10	6	4	6	6	4	9	80
術中透視・撮影	2	3	3	2	5	1	2	1	4	3	4	3	33
歯科撮影	6	8	9	4	2	5	2	8	8	4	2	7	65
歯科術中撮影													0
画像提供	13	14	16	13	8	9	19	19	10	14	11	16	162
画像取込	11	11	12	11	13	12	22	18	12	18	14	10	164

V 臨床心理部門

(1) 臨床心理査定

発達及び知能検査、人格検査、その他心理検査を用いて、個人の独自性や個別の特徴、問題点の所在を明らかにする。また、得られた所見に基づいて、育児や発達、就学や学習等に関する相談、助言を行っている。

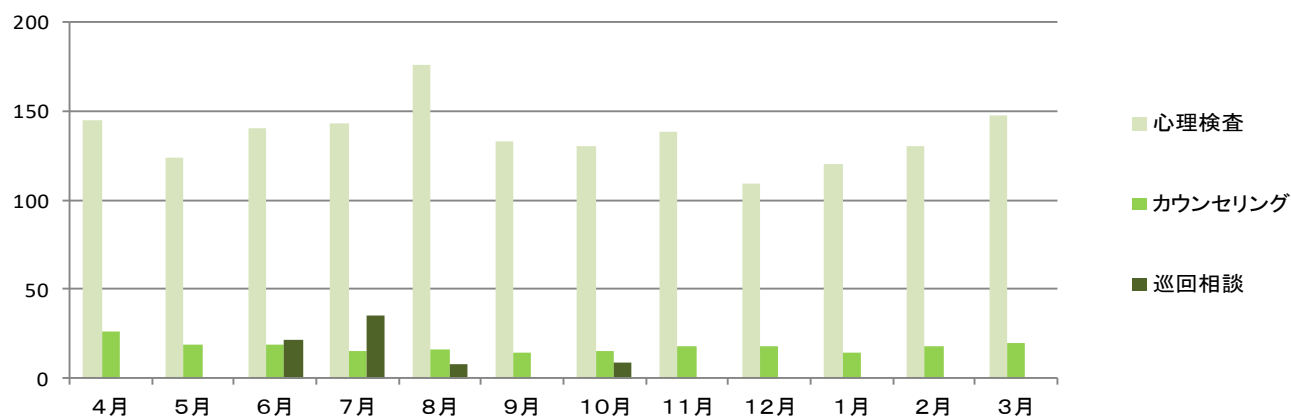
(2) 臨床心理面接（カウンセリング）

利用者の訴えに対して個人の価値観への尊重に基づいて関わり、これを取り扱う。また、利用者それぞれの特徴に応じて、遊戯療法や来談者中心療法、認知行動療法などの種々の心理療法をはじめとした臨床心理学的技法を用いて心理援助にあたっている。

(3) 臨床心理学的地域援助

個人のプライバシーを十分に守りながらも、同時にコミュニティ（家庭、保育園、幼稚園、学校など）全体を考慮した情報整理や環境調整を行っている。

(4) 令和4年度の実績



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理検査	145	124	140	143	176	133	130	138	109	120	130	148	1,636
カウンセリング	26	19	19	15	16	14	15	18	18	14	18	20	212
巡回相談			22	35	8		9						74

検査内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理検査 新規	31	35	16	12	15	19	19	26	18	24	41	30	286
心理検査 再来	114	89	124	131	161	114	111	112	91	96	89	118	1,350
カウンセリング 新規		3	1		1	1	2	2					10
カウンセリング 再来	26	16	18	15	15	13	13	16	18	14	18	20	202
巡回相談 新規			17	18	6		5						46
巡回相談 再来			5	17	2		4						28

判定書発行先

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童相談所	25	11	18	29	30	19	24	25	16	20	12	20	249
その他						3	2						5

※H27年度より知能検査と人格検査をあわせて「心理検査」として報告する。H26年度までは知能検査に含まれていた「巡回相談」での検査件数をH27年度より「心理検査」と「巡回相談」にわけて報告する。

なお「巡回相談」とは療育支援事業のなかの在宅支援専門療育指導をさす。

VI 栄養指導管理部門

医療棟（母子入院含む）、医療型障害児入所施設（ひばり病棟・杉の子病棟）、医療型児童発達支援センター、福祉型児童発達支援センター、生活介護事業所、短期入所の利用者に、給食を提供している。

対象者は乳幼児期から青年期頃までと幅広く、食事形態も多岐にわたっているため、個々の発達状況に合わせた食事区分や食事形態を設け対応している。また、食物アレルギー除去食については、医師の診断のもと除去する食品の種類・程度を把握し、看護師・保育士・管理栄養士の連携を密にして個別対応をしている。

（１）献立作成・実施について

- ①素材を大切に味付けにする。
- ②季節感を盛り込む。
- ③各行事にあった献立を考える。
- ④盛り付け・配色などで変化をつけ「目で楽しむ食事」の提供。

（２）栄養指導について

- ①離乳食
- ②胃瘻ミキサー食
- ③ケトン食
- ④肥満
- ⑤幼児期の食生活（食教育）
- ⑥偏食

（３）令和４年度の実績

・棟別給食数

	(食)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ひばり病棟	164	183	148	155	128	116	122	120	124	120	119	112	1,611
杉の子病棟	1,603	1,637	1,777	1,762	1,855	1,670	1,587	1,646	1,681	1,705	2,024	2,220	21,167
乳幼児通園	135	149	207	196	173	169	156	164	133	155	157	141	1,935
生活介護施設	73	67	79	72	73	75	69	64	60	49	58	70	809
付き添い	282	282	235	76	150	189	177	132	227	95	211	401	2,457
合計	2,257	2,318	2,446	2,261	2,379	2,219	2,111	2,126	2,225	2,124	2,569	2,944	27,979

※杉の子病棟（母子入院含む）

乳幼児通園・重心児者通園（昼食のみ提供）

2 リハビリテーション部

令和4年度は、理学療法士10名（非常勤1名を含む）、作業療法士9名、言語聴覚士4名で業務に当たっている。

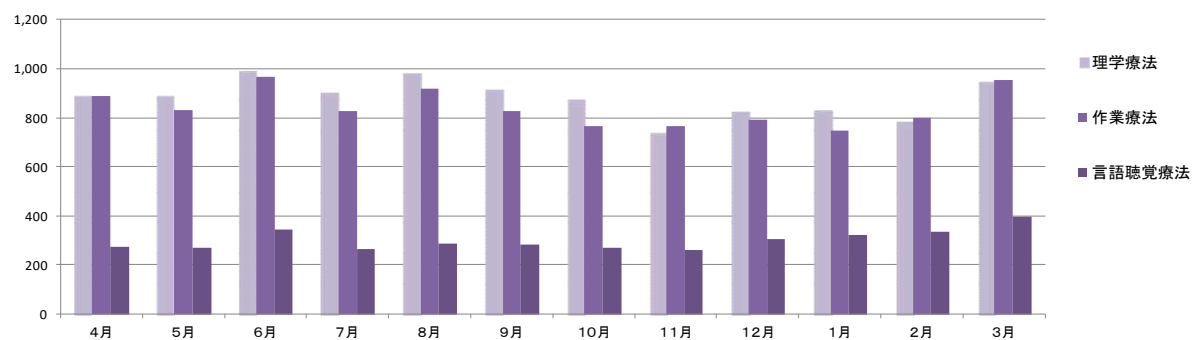
理学療法室は面積が256㎡あり、重心動揺・足圧分布測定器、筋力測定器、三次元動作解析装置、床反力計などの客観的評価機器、電動昇降式マットプラットフォームや懸垂歩行が可能なトレッドミルなどのリハビリテーション機器を揃えている。

作業療法室は133㎡、さらに、感覚統合療法室50㎡、日常生活動作室22㎡があり、多様な生活に応じるリハビリテーション機器、遊具、玩具を多数揃えている。

言語聴覚療法室は24㎡が1室、またどの職種でも使える個室18㎡を7室用意しており、各種言語学習教材、摂食嚥下評価機器、認知機能向上用教材、コミュニケーション補助機器などを揃えている。

（1）令和4年度の実績

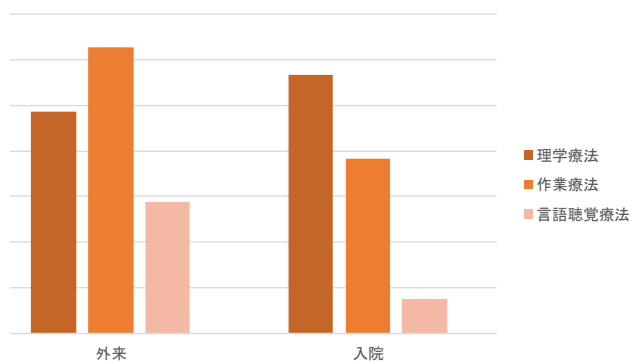
① 各療法の月別件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理学療法	888	888	988	902	982	914	871	736	820	825	783	947	10,544
作業療法	889	829	968	827	917	826	767	764	792	747	802	953	10,081
言語聴覚療法	274	268	343	267	286	285	271	259	307	321	334	395	3,610
合計	2,051	1,985	2,299	1,996	2,185	2,025	1,909	1,759	1,919	1,893	1,919	2,295	24,235

※実施人数は延人数である。

② 令和4年度 各療法の入院・外来件数



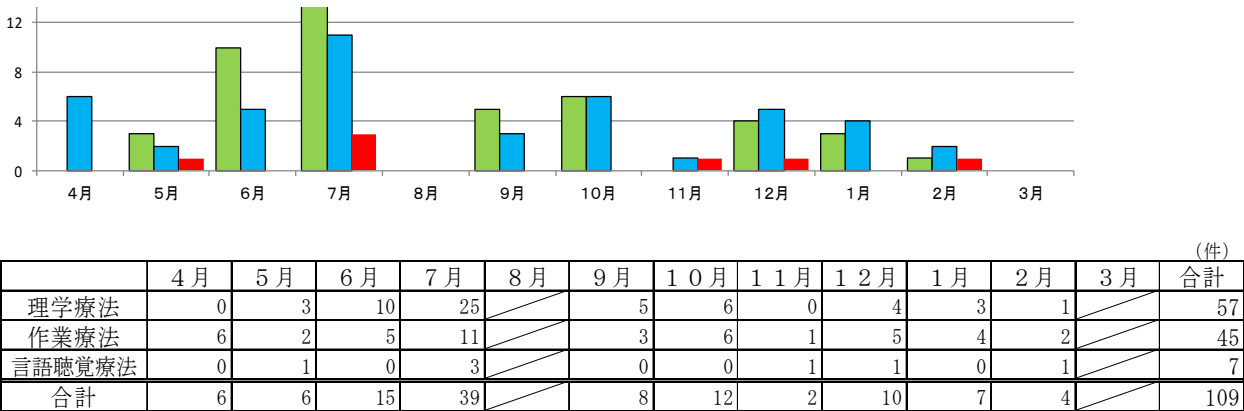
	外来	入院	合計
理学療法	4,863	5,681	10,544
作業療法	6,261	3,820	10,081
言語聴覚療法	2,870	740	3,610
合計	13,994	10,241	24,235

※合計は実施した件数であり、医師が指示した件数であるⅠ診療部（11）の①診療別外来受診者数とは一致しない。

③ 令和4年度リハビリテーション参観
 患児・者が利用している他施設の職員がリハビリテーション場면을参観するもの
 ※新型コロナウイルス感染症予防対策として参観を制限した



④ 3校外部専門家支援
 ※支援学校(きらり・聴覚・視覚)の要望に応じて学校に伺い、助言を行う事業



3 看護部

センターの理念に基づき、発達に支援が必要な子どもたちやそのご家族に対して、心身の成長・発達を支え、持っている能力を最大限に引き出し、自立に向け看護を提供している。また、個性を重視した看護ケアを提供し、生命の尊さを考え、ひとりの人間として尊重し、小さな変化を見だし、その発育を支援することを目指している。

1 令和4年度の看護目標

(1) 安全な看護を提供する

- 1) 医療安全管理マニュアルや院内感染予防対策マニュアルと看護実践を結びつける
- 2) リンクスタッフ会やタスクチーム会と協力しながら療養環境を整える
- 3) 二交代制勤務について検討し、実施につなげる

(2) 療育施設の看護職としての資質の向上を図る

- 1) 看護倫理に基づきながら、障害児（者）看護や療育および看護技術の向上を図る
- 2) 個別性に合わせた看護実践を行う
- 3) 組織の一員として職位を理解し、役割を遂行する

(3) 看護サービスの向上を図る

- 1) 他部門と連携し、訪問看護や在宅支援を検討しながら地域への貢献を図る
- 2) 他部門と情報を共有し、相互に連携、補完し合いながらチーム医療での看護を提供する

2 看護部配置表

看護要員
看護配置（平成22年4月1日より10：1）

職名 区分	看護部長	看護師長	副看護師長	看護師	准看護師	介護福祉士	歯科衛生士	合計
看護部	1			2				3
外来		1	2	4			2	9
ひばり病棟		1	4	25		2		32
杉の子病棟 手術室・中材		1	4	20		3		28
生活介護		1	1	3		2		7
合計	1	4	11	54	0	7	2	79

★感染予防対策室1名兼務（外来看護師長）

※令和4年4月1日現在

★医療安全管理室2名兼務（看護部長、ひばり病棟主任）

★医療的ケア児支援センター（3名兼務）

慢性呼吸器疾患看護認定看護師：1名

重症心身障害看護看護師：2名

（日本重症心身障害福祉協会認定）

★児童発達支援センター

看護部付き任期付き職員：1名

重症心身障害看護看護師：2名兼務

（日本重症心身障害福祉協会認定）

3 各部門の特徴

○外来

- ・ 外来診療科
整形外科・小児科・小児メンタルヘルス・精神科・歯科・リハビリテーション科・眼科
耳鼻咽喉科（※診察日は診療部参照。）
- ・ 看護師による外来診療科に関する医療電話相談を実施（令和3年度外来窓口での電話対応
2956 件のうち医療相談 445 件）している。
- ・ 予防接種受託事業
県内各市町村の委託を受け、予防接種の担当医師とともに、外来診療の中で実施している。
- ・ 在宅療養指導管理（現在延べ 63 名）に当たり、医療材料の提供および使用方法や技術面での指導を行っている。
- ・ 担当する職員は、看護師長（感染管理認定看護師）7 名（うち慢性呼吸器疾患看護認定看護師 1 名、歯科衛生士 2 名）で、病棟から随時外来応援スタッフを配置し対応している。

○生活介護事業所（対象：在宅重症心身障害者）

- ・ 障害者総合支援法による生活介護事業所（よつ葉）として、18 歳以上の重症心身障害者の
日中活動支援を実施している。
- ・ 今年度は 1 日約 9 名の利用がある。利用時間は午前 9:00～午後 4:30 で、送迎車 2 台で送
迎を実施している。入浴や食事、機能訓練、余暇活動、医療的ケアなどのサービスを提供
するとともに、家族支援にも取り組んでいる。年 1 回の家族面談を行い、連絡ノートや送
迎時を利用し日々の家族との情報交換、年 2 回の個別支援計画を通し医師を含めて情報の
共有を図っている。また、サービス担当者会議を通じ他施設との情報交換にも努めている。
- ・ 利用者への看護では、人工呼吸器の管理から経管栄養など全身ケアのため専門的な知識と
確かな技術が求められている。3 学会合同呼吸療法認定士の資格を有する看護師 1 名を配
置し呼吸管理している。
- ・ 担当する職員は、看護師長以下 7 名（うち介護福祉士 2 名）と保育士 3 名で対応している。

○医療型障害児入所施設・療養介護事業所（主たる対象：重症心身障害児（者））

- ・ ひばり病棟 40 床（障害者等入院基本料 10:1+超重症児加算）
40 床の内訳は、超重症児（者）12 床・重症児（者）28 床、（うち空床利用型短期入所 3 床）
である。
- ・ 対象となる入所児（者）は、乳幼児から学卒児（者）までの治療訓練を必要とする重症心
身障害児（者）、短期入所利用児（者）、日中一時支援利用児（者）で、日常生活活動は
全介助レベル（大島の分類:1）であり、医療的ケアと生活支援により発達を促していく
ことが重要である。
- ・ 脳性麻痺のほか精神発達遅滞、染色体異常、進行性疾患など、児には重複障害があり重症
児のほか準超重症児も増えている。また、てんかん発作のほかに脊柱の変形による消化
器疾患や骨折を起こしやすい入所児（者）を対象としているのが病棟の特徴である。
- ・ 入所児（者）で経口摂取できる児は 1 名のみ、食事形態には十分な配慮が必要で食事
中の支援も重要である。入所児（者）のほとんどが経管栄養による管理が必要である。また、
経管栄養も消化できず、PI カテーテルで輸液管理している児が 1 名いる。
- ・ 自分自身の不調を訴えることができないため普段の児をよく観察することと、緊急時の対
策ができる体制づくりが求められている。3 学会合同呼吸療法認定士の資格を有する看護
師 2 名を配置し呼吸管理している。
- ・ 担当する職員は、看護師長以下 32 名（うち介護福祉士 2 名）、4 人夜勤の 3 交代制を取っ

ている。

○医療型障害児入所施設（主たる対象：肢体不自由児）

- ・杉の子病棟 60 床（障害者等入院基本料 10:1）・手術室・中央材料室部門（兼務）
60 床の内訳は、肢体不自由児 36 床（うち空床利用型短期入所 4 床）、医療保険入院 24 床（うち母子入院 8 床）である。
- ・対象となる入所・入院児は、乳幼児から高等部 3 年生までの治療や訓練を必要とする肢体不自由児、短期入所利用児（者）、日中一時支援利用児（者）、医療保険入院では、整形外科手術や牽引等の治療、手術後の短期集中訓練入院、在宅で療育されている児（者）の母子入院、突発的な症状への治療等の入院であり、入所・入院児（者）の日常生活活動は、全介助レベルからほぼ自立までと幅広い。
- ・母子入院は、家族が子どもと一緒に入院して、疾患のある子どもを理解し、家庭で療育ができるよう支援している。主に、療育全般・子どもへの関わり方・必要な訓練で、医療的ケアの習得に関しては、呼吸器・カニューレ交換・経管栄養・吸引などの手技である。また、てんかんのコントロールも含まれる。
- ・求められる看護は、医療的ケアから日常生活の支援・指導、手術看護、家族看護と幅広いことが特徴となっている。3 学会合同呼吸療法認定士の資格を有する看護師 2 名を配置し呼吸管理をしている。
- ・担当する職員は、看護師長以下 28 名（うち介護福祉士 3 名）で、3～4 人夜勤の 3 交代制を取っている。
- ・手術室
第 1・3・5 月曜日に整形外科手術を実施している。（予定以外にも随時実施）
手術当日は病棟から手術応援スタッフを 4～5 名配置して対応している。
- ・中央材料室
病棟スタッフが兼務で、オートクレーブ・プラズマ殺菌作業、手術の準備・片付け・点検、医療材料の管理を行い、各部署および在宅児（者）への医療材料の提供を行っている。

※看護提供方式は、固定チーム・ディパートナー方式を取り入れており、看護記録は P O S、電子カルテと職員情報共有ネットがシステム化されている。

※当センターでは独自の標準看護計画が電子カルテ内にオリジナルとしてシステム化されており、看護計画の立案に効果を発揮している。

○児童発達支援センター（乳幼児通園）

- ・医療型及び福祉型児童発達支援センターに通園する乳幼児とその保護者に対し、看護職の視点から療育支援を行っている。
- ・健康観察や体調不良時の対応、予防接種歴・流行性疾患罹患状況の把握、年 2 回の定期健康診断等を通して児童の健康管理を行っている。
- ・安全・衛生両面から保育環境の整備を行い、感染予防に努めている。
- ・健康相談、個別指導、保護者勉強会、保健・健康に関する情報提供などを通して、保護者支援を行っている。
- ・担当する職員は、看護師 1 名である。

4 その他の活動

- (1) これらの部署ごとの活動をより円滑に進めていくために、看護部業務委員会・記録委員会・教育委員会・査読委員会の4つの委員会を定期に開催した。令和5年2月看護研究発表会を行った。また、継続看護教育として、レベル1から5までの卒業年度ごとの研修会と、部署ごとの学習会、e-ラーニングを含めた全体研修を組み合わせることで職員教育の充実を図っている。
- (2) 地域貢献と若い人材育成・将来の専門職確保のために、県内3校の看護学生の臨地実習と歯科衛生士の実習などを引き受けて、その指導に当たった。また、随時インターンシップや見学を受け入れている。
- (3) 隣接する「秋田きらり支援学校」の依頼により、看護師派遣による療育支援を行っている。
- (4) 対外的に当センターの活動を周知するため、学会・研究会での発表および研修会の講師等を務めている。
- (5) 感染管理認定看護師（外来看護師長兼務）は、感染予防対策室（外来業務兼務）で活動している。感染予防対策チームの一員として医療関連感染予防に対する活動に参加し、定期的な院内ラウンド、感染症発生時の対応や指導、院内感染予防対策マニュアルの作成などを行った。また、効果的な感染管理を行うため、感染予防対策リンクスタッフとともに、学習会や研修会を行い職員教育や相談に対応している。
- (6) 医療安全管理者（看護師）を中心に医療安全管理室兼務で活動している。医療安全管理委員会下部組織としての実働部隊であるタスクチーム会とともに、医療安全対策に対する活動に参加している。また、インシデントレポート分析（ImSAFER 分析）や院内ラウンド、研修会などを通し職員教育を実施している。
- (7) 医療的ケア児支援センター兼務の慢性呼吸器疾患看護認定看護師1名と重症心身障害看護師2名（日本重症心身障害福祉協会認定）は、医療的ケア児等支援者・コーディネーター養成研修会の講師や秋田県介護職員等による痰吸引研修（第三号研修）も担当している。
- (8) 連携施設とのカンファレンスを通して、情報を共有し、看護の充実を図っている。

4 入所部門

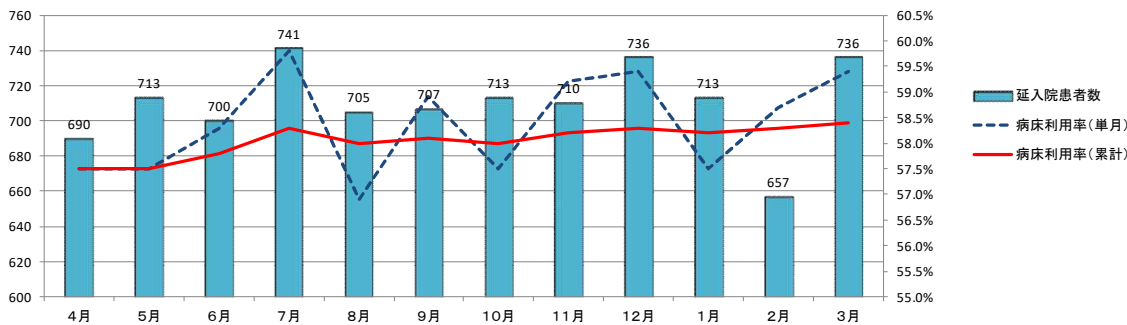
1 医療型障害児入所施設・療養介護事業所（ひばり病棟）

医療型障害児入所施設（ひばり病棟）は、児童福祉法に基づいた児童福祉施設であり、医療法に基づいた病院と一緒にいる。

重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している子どもたちが保護されながら、治療及び日常生活の支援を受けている。

病床数は40床であり、超重心病室を12床、重心児（者）用は28床で、（うち空所利用型短期入所3床）は現在の入所児（者）の日常生活活動は全介助レベルであり、また、超重心児の看護は人工呼吸器の管理から経管栄養まで全身のケアが求められている。医療的ケアと生活支援により、発達を支援していくことが重要である。

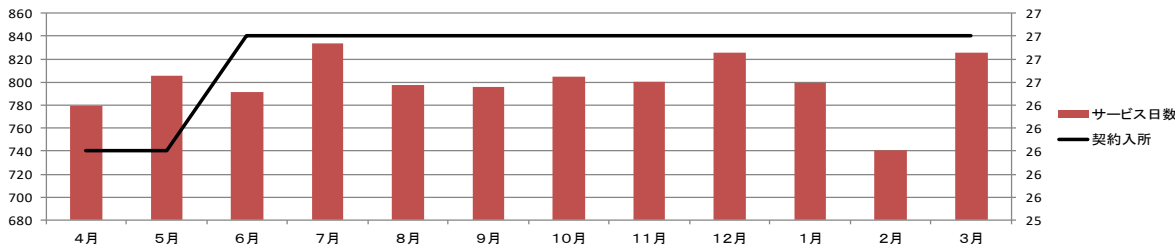
（1） 延入院患者数 医療型障害児入所施設（ひばり病棟）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延入院患者数	690	713	700	741	705	707	713	710	736	713	657	736	8,521
病床利用率(単月)	57.5%	57.5%	58.3%	59.8%	56.9%	58.9%	57.5%	59.2%	59.4%	57.5%	58.7%	59.4%	
病床利用率(累計)	57.5%	57.5%	57.8%	58.3%	58.0%	58.1%	58.0%	58.2%	58.3%	58.2%	58.3%	58.4%	
延入院患者数 前月比(%)		103.3	98.2	105.9	95.1	100.3	100.8	99.6	103.7	96.9	92.1	112.0	

※病床利用率(年度)＝延入院患者数／延病床数(＝病床数×累計日数)×100

（2） 入所状況 医療型障害児入所施設（ひばり病棟）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約入所	26	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	322
サービス日数	780	806	791	834	798	796	805	800	826	799	741	826	9,602
サービス日数 前月比(%)		103.3	98.1	105.4	95.7	99.7	101.1	99.4	103.3	96.7	92.7	111.5	

※児童福祉法に基づく障害児入所給付費、障害者総合支援法に基づく介護給付費の支給対象となる障害児・者の月毎の実利用人数及びサービス提供をした日数。

※サービス日数は契約を締結した利用者へサービスを提供した日数（外泊を除く）であることから、延入院日数とは異なる。

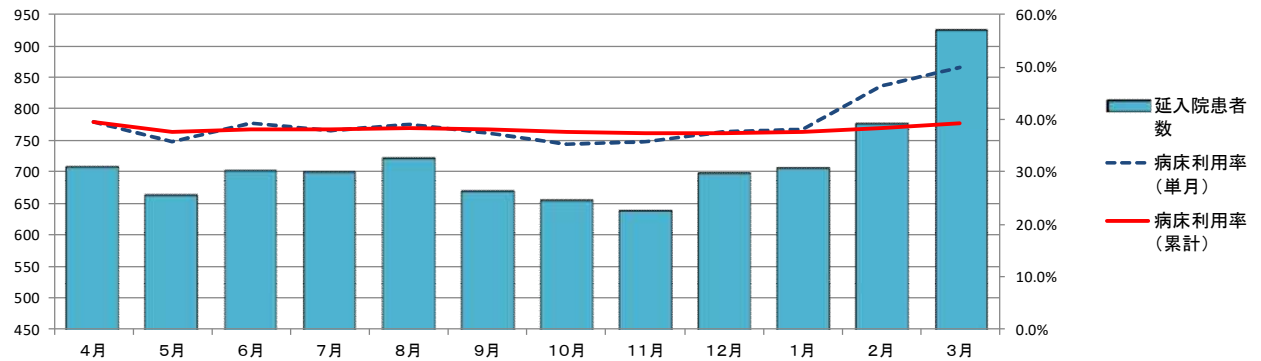
※平成24年度から重症心身障害児で18歳以上の者は療養介護に移行。平成23年度までの重症障害心身児には18歳以上を含む。

2 医療型障害児入所施設（杉の子病棟）

医療型障害児入所施設（杉の子病棟）は、児童福祉法に基づいた児童福祉施設であり、医療法に基づいた病院と一緒になっている。四肢に障害を持つ子どもたちが治療や訓練をしながら、自立に必要な知識や技能を身につけるために生活をしている。

病床数は 60 床であり、内訳は肢体不自由児用として 36 床（うち空床利用型 4 床）、医療保険入院 24 床（うち母子入院 8 床）となっている。

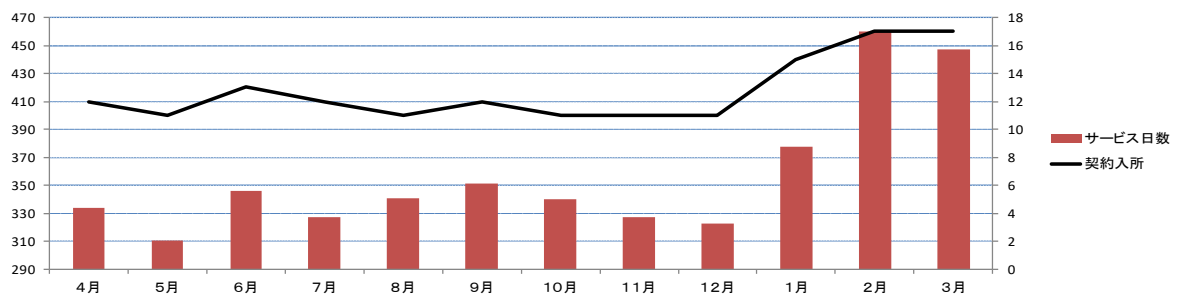
（1） 延入院患者数 医療型障害児入所施設（杉の子病棟）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延入院患者数	710	666	705	703	725	671	657	642	700	708	779	926	8,592
病床利用率(単月)	39.4%	35.8%	39.2%	37.8%	39.0%	37.3%	35.3%	35.7%	37.6%	38.1%	46.4%	49.8%	
病床利用率(累計)	39.4%	37.6%	38.1%	38.0%	38.2%	38.1%	37.7%	37.4%	37.4%	37.5%	38.3%	39.2%	
延入院患者数 前月比(%)		93.8	105.9	99.7	103.1	92.6	97.9	97.7	109.0	101.1	110.0	118.9	

※病床利用率(年度)＝延入院患者数／延病床数(＝病床数×累計日数)×100

（2） 入所状況 医療型障害児入所施設（杉の子病棟）



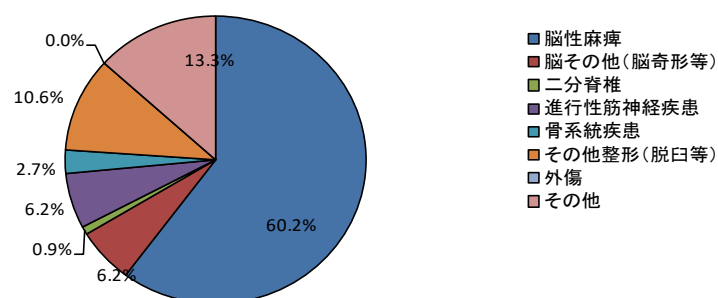
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約入所	12	11	13	12	11	12	11	11	11	15	17	17	153
サービス日数	334	311	346	327	341	351	340	327	323	378	460	447	4,285
サービス日数 前月比(%)		93.1	111.3	94.5	104.3	102.9	96.9	96.2	98.8	117.0	121.7	97.2	

※児童福祉法に基づく障害児入所給付費、障害者総合支援法に基づく介護給付費の支給対象となる障害児・者の月毎の実利用人数及びサービス提供をした日数。

※サービス日数は契約を締結した利用者へサービスを提供した日数（外泊を除く）であることから、延入院日数とは異なる。

※平成24年度から重症心身障害児で18歳以上の者は療養介護に移行。平成23年度までの重症障害心身児には18歳以上を含む。

3 入院患者疾患別内訳



(人、%)		
	患者数	比率
脳性麻痺	68	60.2
脳その他(脳奇形等)	7	6.2
二分脊椎	1	0.9
進行性筋神経疾患	7	6.2
骨系統疾患	3	2.7
その他整形(脱臼等)	12	10.6
外傷	15	13.3
その他	113	100.0

入院患者数は令和4年4月1日から令和5年3月31日までの実人数である。

4 入所児・者の内訳

(1) 主要病類別・ADL 別入所児・者数 (令和5年3月1日現在)

病類	区分	食 事 (A)	着脱衣 (B)	洗面歯磨 (C)	大小便 (D)	入 浴 (E)	歩 行 (F)	言 語 (G)	合計
脳原性 疾患 31名	○	3	2	1			1	7	14
	△	5	2	3	4	3	4	4	25
	×	23	27	27	27	28	25	20	177
	▲						1		1
その他 17名	○	5	2	4	1	1	1	6	20
	△	5	2		3	2	3	4	19
	×	7	11	13	11	12	10	7	71
	▲		2		2	2	3		9
合 計 48名	○	8	4	5	1	1	2	13	34
	△	10	4	3	7	5	7	8	44
	×	30	38	40	38	40	35	27	248
	▲		2		2	2	1		7

★上記の表は食事(A)から歩行(F)の項目については
 一人で出来るもの……○
 相当介助を要するもの……△
 全く介助を要するもの……×

言語(G)については
 分かるもの……○
 時々分かるもの……△
 分からないもの……×

治療の過程(ギプス・牽引等)で出来ない場合……▲

★病類別「その他」は脳原性疾患以外である。

(2) 入所児・者の知能指数状況 (令和5年3月1日現在)

知能指数	児童数
75以上	1
74以下	3
50以下	3
35以下	38
測定不能	0
未調整	3
合計	48

(3) 病類別・年齢別入所児・者数及び入所率（令和5年3月1日現在）

(人、%)

病類 年齢	脳原性疾患		ペル テス 病	二分 脊椎	先天 性股 関節 脱臼	先天 性内 反足	アル トロ ポー ジス	骨系 統疾 患	脊 椎側 彎	外傷 後遺 症	進行 性筋 ・神 経疾 患	デ イス メリ	骨 関 節 炎	その他 整形 外科 的疾 患	学 習障 害・ 自閉 症	染 色体 異常	そ の 他	合 計	比 率
	脳 性 麻 痺	そ の 他																	
0～6歳未満	8	2									1						1	12	25.0%
6～13歳未満	6	5														2	1	14	29.2%
13～15歳未満	1	1						2		1	1					2	1	9	18.8%
15～18歳未満	5	0									3					1		9	18.8%
18歳～	2	1						1										4	8.3%
合計	22	9	0	0	0	0	0	3	0	1	5	0	0	0	0	5	3	48	100%
比率	45.8%	18.8%		0.0%			0.0%	6.3%			10.4%					10.4%	6.3%	97.9%	

(4) 病類別入所期間（令和5年3月1日現在）

(人、%)

病類 年月	脳原性疾患		ペル テス 病	二分 脊椎	先天 性股 関節 脱臼	先天 性内 反足	アル トロ ポー ジス	骨系 統疾 患	脊 椎側 彎	外傷 後遺 症	進行 性筋 ・神 経疾 患	デ イス メリ	骨 関 節 炎	その他 整形 外科 的疾 患	学 習障 害・ 自閉 症	染 色体 異常	そ の 他	合 計	比 率
	脳 性 麻 痺	そ の 他																	
～3月未満	3										3					1		7	14.6%
3月～6月未満	2									1							1	4	8.3%
6月～1年未満	1	1						2										4	8.3%
1年～2年未満	3	3																6	12.5%
2年～3年未満	2	1														4	1	8	16.7%
3年～5年未満	4	2									1							7	14.6%
5年以上	7	2									2						1	12	25.0%
合計	22	9	0	0	0	0	0	2	0	1	6	0	0	0	0	5	3	48	100.0%

5 契約・措置入所児・者の状況（母子入院を除く）

(1) 出身地別入所児・者数

令和5年3月1日現在（単位：人）

市 町 村 名				杉の子病棟	ひばり病棟	合計	市 町 村 名				杉の子病棟	ひばり病棟	合計
県北	北秋田市					0	県南	大仙市			4		4
	鹿角市	1		1	2	横手市		1		1	2		
	大館市			2	2	にかほ市		1		1	1		
	能代市	2		1	3	湯沢市			2	2	2		
	秋田市	11		9	20	東成瀬村			1	1	1		
県央	由利本荘市	1			1		合計	19		23		42	
	五城目町			1	1								
	大潟村	1			1								
	男鹿市				0								
	潟上市	1		1	2								

(2) 年齢別入所児・者数

令和5年3月1日現在（単位：人）

年齢・学齢	杉の子病棟	ひばり病棟	合計	年齢・学齢	杉の子病棟	ひばり病棟	合計
1歳未満			0	10歳(小5)		3	3
1歳		1	1	11歳(小6)		1	1
2歳		1	1	12歳(中1)	1		1
3歳			0	13歳(中2)	3	1	4
4歳	1	2	3	14歳(中3)	4	3	7
5歳	2	4	6	15歳(高1)	1	1	2
6歳(小1)	1	1	2	16歳(高2)	2	2	4
7歳(小2)			0	17歳(高3)	2	1	3
8歳(小3)			0	18歳～	1	1	2
9歳(小4)	1	1	2	合計	19	23	42

(3) 月別入退所児・者状況

令和5年3月末まで（単位：人）

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
杉の子病棟	契約	入所	1	2	3	1		1			1	4	2		15
		退所	2		1	1		1		1				5	11
	措置	入所													0
		退所													0
ひばり病棟	契約	入所			1										1
		退所												1	1
	措置	入所													0
		退所													0

(4) 退所児・者の進路状況

(人)

	杉の子病棟	ひばり病棟
保育園	1	
こども園	1	
小学校		
中学校	3	
支援学校	4	
養護学校		
専門学校		
障害者支援施設	1	
国立あきた病院	1	1
他病院		
家庭復帰		
死亡		
合計	11	1

※当センター内での移動は除く。

5 育成部

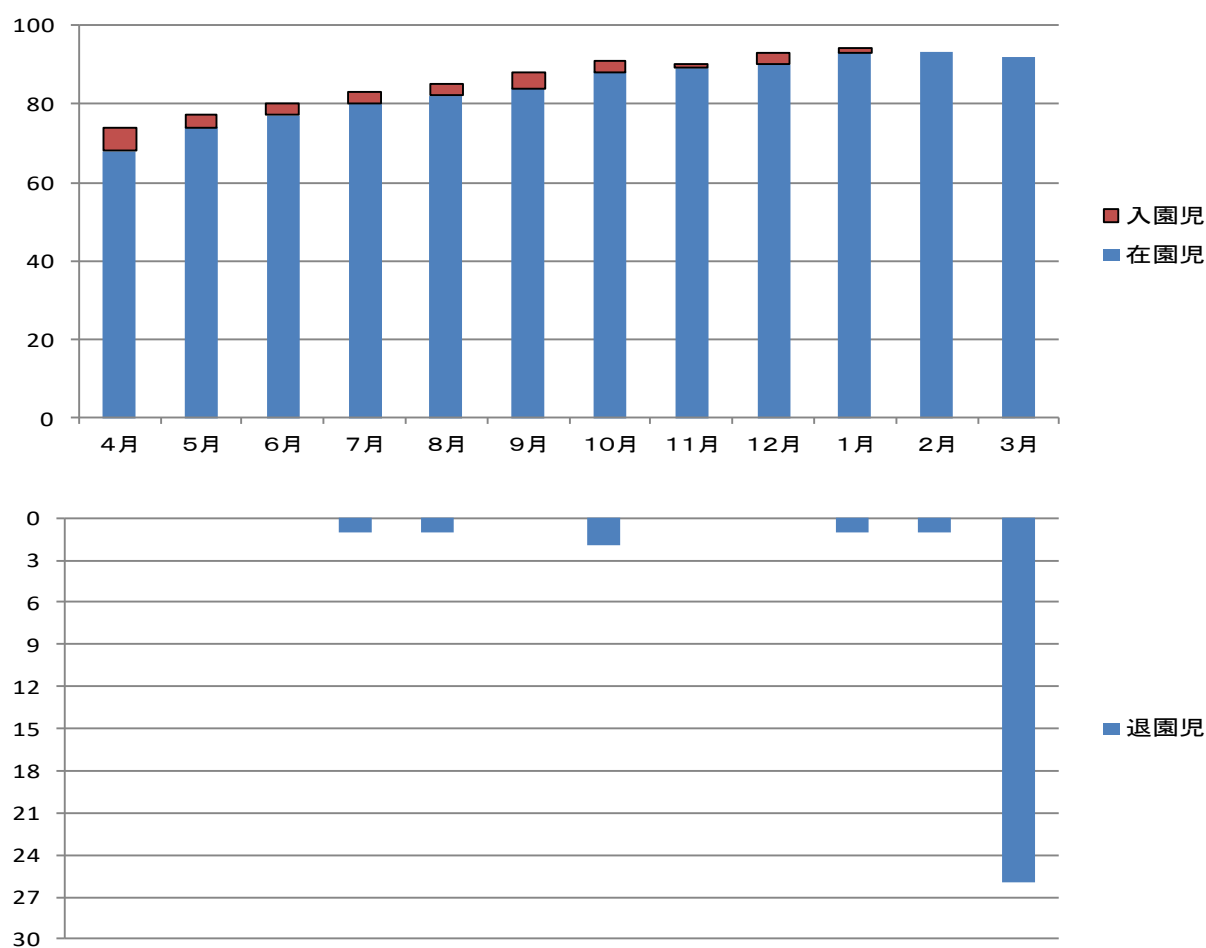
I 児童発達支援センター

医療型児童発達支援センター、福祉型児童発達支援センターの2施設で構成されており、乳幼児を対象としている。

実際の保育、指導に当たっては2施設の区分にとらわれず、個々の発達段階、障害の状況等によりグループ分けをし、児童指導員、保育士による集団保育、個別指導、母親指導などを行っている。また診療部と連携して、外来児等に対応している。

(1) 通園児童の状況

①通園児童数の状況



(人)

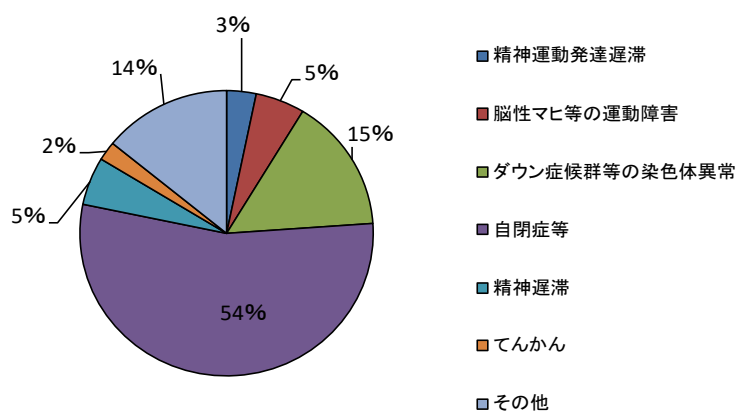
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在園児	68	74	77	80	82	84	88	89	90	93	93	92
入園児	6	3	3	3	3	4	3	1	3	1		
退園児				1	1		2			1	1	26

②年齢・性別内訳

(令和5年3月31日現在 単位：人)

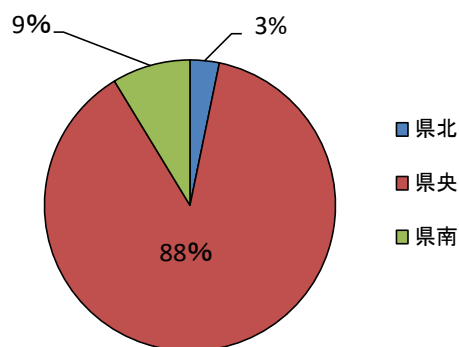
年齢\性別	男	女	合計
2歳未満			
2歳以上～3歳未満	5	4	9
3～4	9	1	10
4～5	12	10	22
5～6	21	4	25
6歳以上	22	4	26
合計	69	23	92

③臨床診断別内訳



診断名	人数	比率
精神運動発達遅滞	3	3%
脳性マヒ等の運動障害	5	5%
ダウン症候群等の染色体異常	14	15%
自閉症等	50	54%
精神遅滞	5	5%
てんかん	2	2%
その他	13	14%
合 計	92	100%

④居住地区別内訳



居住地	人数	比率
県北	3	3%
県央	81	88%
県南	8	9%
合 計	92	100%

⑤居住地域別内訳

(人)

地区	市町村	児童数
県北	大館市	1
	能代市	1
	三種町	1
県央	由利本荘市	9
	にかほ市	2
	潟上市	8
	大潟村	1
	五城目町	1
	井川町	2
	秋田市	58
県南	仙北市	2
	湯沢市	1
	大仙市	4
	横手市	1
合計		92

(2) 保育指導業務

①集団保育

運動、ことば、対人関係、身辺処理能力などの発達の促進を目的として、各グループの特性に応じた保育を行っている。

(ア) 日課

	10:00	11:20	11:30		13:00	14:00	15:00
個別指導	朝の会 保育 訓練	お口の体操 給食準備	給食	午前グループ お帰りの会 自由遊び	保育 訓練	お帰りの会 降園	個別指導

※午前保育のグループ及び金曜日は 12:30 から帰りの会を行い、降園。

(イ) 各グループの通園日

グループ名	月	火	水	木	金
りす		○	◎		
ぱんだ	◎			◎	○
ぞう			◎	◎	○
らいおん	◎	◎			
ひつじ	希望	日	に	より	参加

※◎一日保育、○午前保育

(ウ) グループ基準

グループ名	対 象 児
り す	重症心身障害児及び精神発達遅滞児（肢体不自由合併を含む）
ぱんだ	精神発達遅滞児（肢体不自由児合併を含む）
ぞ う	自閉症等のコミュニケーション障害児
らいおん	自閉症等のコミュニケーション障害児
ひつじ	集団及び個別指導（ポーター）参加児童

(エ) グループ別参加人数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
り す	23	23	39	27	15	30	27	21	23	23	28	23	302
ぱんだ	38	41	36	39	41	34	30	39	30	45	38	47	458
ぞ う	46	50	90	99	65	86	74	70	62	64	64	73	1,035
らいおん	34	41	53	53	55	33	38	46	27	37	34	32	483
ひつじ	7	8	9	8	5	8	8	6	9	10	9	11	98
合計	148	163	227	226	181	191	177	182	151	179	173	186	2,184

(オ) 年間行事

区分	行 事	区分	行 事
4月	入園式（随時）	10月	遠足ごっこ（各グループ）
5月	定期健康診断	11月	定期健康診断
6月		12月	クリスマス会（各グループ） 冬季在宅療育期間
7月		1月	
8月	サマープラン （各グループ） 夏季在宅療育期間	2月	節分
9月	運動会（各グループ）	3月	卒園式、スプリングプラン （各グループ） 春季在宅療育期間

②個別指導

新版ポーターゲージ早期教育プログラム（「乳児期の発達」「社会性」「言語」「身辺自立」「認知」「運動」）に基づいて、個々の発達状態に応じた指導を行っている。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	57	58	51	47	51	49	56	50	51	56	62	595

③保護者への指導

保護者に対し、勉強会等を開催することにより、障害児（者）福祉及び医療等に関する知識や情報の提供に努めるとともに、随時家族からの相談、指導に対応している。

・保護者勉強会

区分	内 容	区分	内 容
4月	保育士からの話	10月	小児科メンタルヘルスからの話 整形外科医師からの話 看護師からの話
5月	理事長からの話	11月	栄養士からの話 小児科医師からの話
6月	総合相談・医療療育連携室からの話	12月	理学療法士からの話
7月	きらり支援学校教育専門監からの話 看護師からの話	1月	保育士からの話
8月	歯科医師からの話	2月	臨床心理士からの話
9月	センター長からの話	3月	ふきのとう秋田からの話

④幼稚園・保育所への訪問

地域の幼稚園・保育所等に通う児童について、その施設を訪問し児童の状況把握に努め、処遇の充実及び療育相談や指導の適正化を図っている。

令和4年度実施児童数・・・50名
 施設数・・・38か所
 訪問回数・・・45回

⑤通園外児童への対応

診療部からの依頼を受けて、外来児や母子入院児に案内・面接・見学等を行っている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(人) 合計
説明・案内	3	3	5	6	2	2	1	5	4	3	5	3	42
体験保育				1									1
面接	1	5	5	4	2	2	2	2	2	3	2	2	32
母子入院見学			1	1									2
通園に関する電話相談				2					1			1	4

II 保育所等訪問支援事業所

- ・療育専門職員が保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校等に訪問し、ご家族や担当職員への助言や適切な支援を行っている。
- ・個別支援計画を作成して、個々の発達特性における配慮すべき点などを助言しながら、集団生活への適応のための専門的な支援などを行っている。

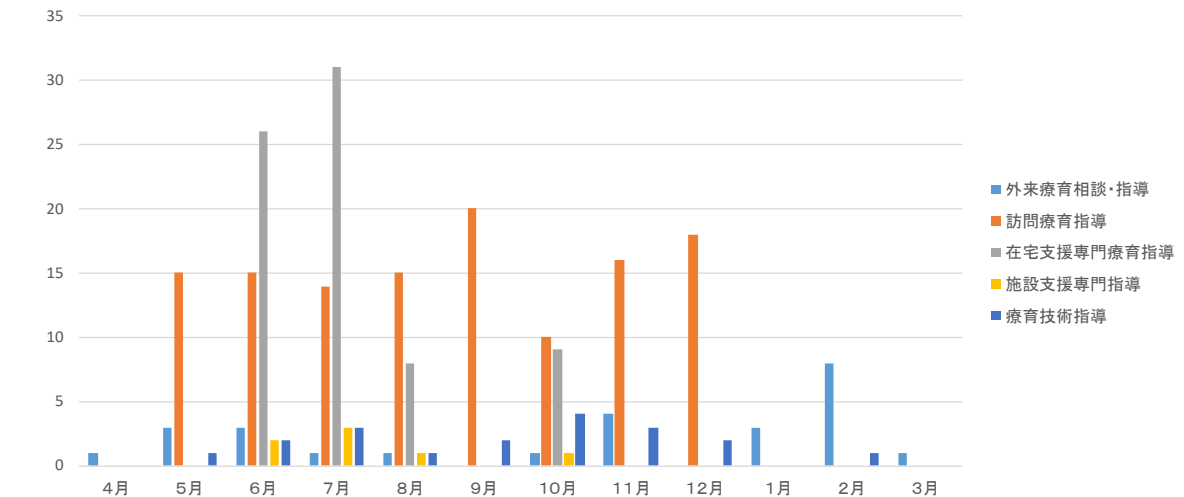
令和4年度の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	3	6	7	3	3	1	7	4	3	2	5	3	47
訪問日数	3	6	7	3	3	1	7	4	3	2	5	3	47

Ⅲ 地域療育支援部門

地域療育支援活動

障害児等療育支援事業を活用し、秋田周辺圏域を対象とした活動と、当センターから離れた圏域を対象とした活動を行った。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来療育相談・指導	1	3	3	1	1	0	1	4	0	3	8	1	26
訪問療育指導		15	15	14	15	20	10	16	18				123
在宅支援専門療育指導			26	31	8		9						74
施設支援専門指導			2	3	1		1						7
療育技術指導		1	2	3	1	2	4	3	2		1		19

周辺地域の保育担当職員への技術指導等を実施した件数である。
また、他には外来での個別保育指導や集団保育指導も行っている。

障害児等療育支援事業実施状況

(1) 秋田周辺圏域を対象とした活動

① 外来療育相談・指導 (集団)

当センター診療部の外来診療を利用している乳幼児と保護者を対象に、集団保育を通じて、子どもの発達支援を行うとともに、子どもへのかかわり方、遊び方をアドバイスした。(延べ26件)

② 訪問療育指導

保育士が圏域内の市町村と協力して、男鹿市、潟上市、八郎潟町を会場に「幼児教室」を開催した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男鹿市幼児教室		7	8	8	9	11	6	11	9				69
潟上市幼児教室		7	6	5	5	7	2	3	7				42
南秋幼児教室		1	1	1	1	2	2	2	2				12
合計	0	15	15	14	15	20	10	16	18	0	0	0	123

③療育技術指導

保育所や幼稚園等を保育士が訪問して、障害児保育を担当している職員への技術指導を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(件) 合計
療育技術指導		1 6	2 9	3 6	1 3	2 5	4 24	3 25	2 8		1 9		19 95

※下段は人数。

④地域療育のための研修会

男鹿市「満5歳けんこう相談」、井川町「4歳児健康相談」、大潟村「潟っこ健康相談」へ協力をした。

(2) 他圏域を対象とした活動

①在宅支援専門療育指導

診療部の臨床心理士が中心に小児科医師、理学療法士、言語聴覚士がチームを作り、各圏域の障害児等療育支援事業実施施設や児童デイサービス事業所等の依頼を受け、各圏域を巡回して指導活動を行う。

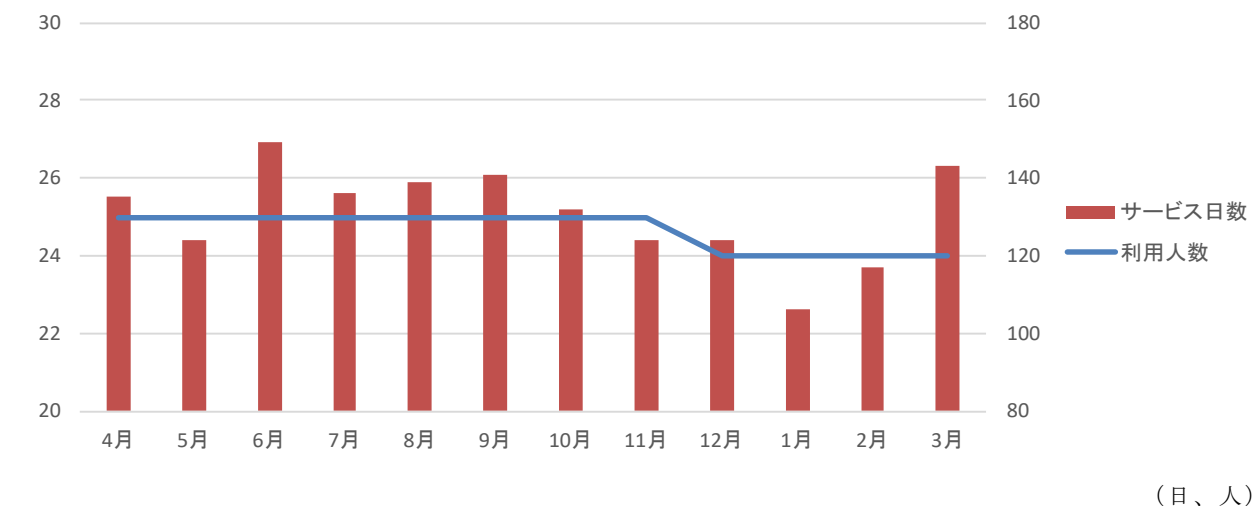
②施設支援専門指導事業

各圏域の巡回に合わせ、指導を行った児童が利用している施設職員等とケース検討を行い、日常の訓練等に対するアドバイスを行う。

Ⅳ 生活介護事業所育成部門（よつ葉）

- ・利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定生活介護の提供を確保する。
- ・利用者が自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護、医療的ケアの実施、創作的活動の機会の提供などを行う。

（１）令和４年度の利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	296
サービス日数	135	124	149	136	139	141	132	124	124	106	117	143	1,570
利用人数前月比（％）		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.0	100.0	100.0	100.0	

（２）サービス内容

- ・生活介護計画書の作成
- ・食事、入浴、排泄等の介護
- ・食事の提供
- ・日常生活上の支援、相談、援助
- ・機能訓練
- ・バス送迎（希望者のみ）
- ・創作的活動
- ・利用者の身体能力、日常生活能力の維持・向上を目的として必要な介護
- ・医療的ケアの提供（呼吸器管理、処置、与薬など）

（３）保護者との連携

- ①保護者と相談しながら、利用者のニーズに的確に対応する。
- ②連絡帳の活用により、連絡を密にする。
- ③家族面談などを通し家庭における療育や悩み等に対する助言を行い、在宅療育の向上を図る。

(4) 職員の資質の向上

専門知識や技術の向上に努めるため、先進地視察を実施するとともに、センター内外の研修に積極的に参加する。

(5) 日課と職員業務

	日 課	職 員 業 務
8:30	打ち合わせ 迎えバス発	1日の活動の打ち合わせ 迎えバスの付き添い介助 出欠の確認（出席者、食事調整の連絡）システム入力 環境整備（清掃・温度湿度調整）、入浴準備 活動準備（教材・遊具準備）、人口呼吸器・経管栄養・体位交換用クッション類準備
9:30	登所・健康チェック	保護者との連絡 連絡帳・持ち物等の確認 バイタルチェック・健康状態の把握
10:00	水分補給 入浴 機能訓練 排泄 昼食準備	水分補給介助 入浴前の健康状態の把握 入浴介助 医療的ケア（呼吸器管理、処置など） 排泄介助 排泄の記録 昼食準備・配膳
11:30	昼食	昼食介助、食事量のチェック、片付け 経管栄養、与薬
12:30	リラックスタイム 排泄 健康チェック	歯磨き介助・記録 排泄介助
13:30	排泄 水分補給	水分補給介助、排泄介助 バイタルチェック
14:00	個別・集団活動	活動援助・連絡帳記録 連絡帳・持ち物等の確認整理、帰宅準備（人口呼吸器・吸引器等移動）、車いすへの移乗
15:00	降所 送りバス発	保護者への連絡 送りバスの付き添い介助 カンファレンス 個別記録 環境整備（清掃・片付け・消毒） 装飾、制作準備・集団活動の打ち合わせ 管理日誌記録・月間利用表、他記録システム入力 広報誌制作

V 医療型障害児入所施設育成部門

1 入所児童等に対するきめ細かな療育の提供

※医療型障害児入所施設(杉の子病棟)において、児童個々の特性に応じた指導を行い、集団生活を通して社会性や協調性を養うことにより、生き生きと生活できるよう支援した。

※医療型障害児入所施設(ひばり病棟)において、入所児・者がいろいろな活動を通して家庭生活に準じた日常生活を送れるよう、きめ細かな支援を行った。

(1) 生活規律の指導

家庭に代わる日常生活の日課の実施及び月目標の設定により、生活規律の定着に向けた意識付けを行った。

①療育活動の指導

未就学児の保育指導

ア 親元を離れて暮らす児童の情緒安定を図りながら、家庭復帰後に円滑に地域参加ができるよう、児童個々に対し協調性の育成や就学前教育等の指導・支援を行った。

イ 訪問保育(重症心身障害児)について、体調管理に留意しながら視聴覚、触覚等の感覚刺激により興味や関心の幅を広げ、成長の一端につながるような関わりを行った。

②学卒者の療育活動指導

ア 就学を終了した入所者に対し、視聴覚・触覚等の感覚により興味や関心の幅が広がるような活動を行った。

③余暇活動指導

主に下校後を中心に、次の活動指導を実施した。

ア 看護師と共同で入浴、おやつの指導・介助を行った。

イ 重症心身障害児・者について、保育士・児童指導員と他児との関わりを通して良好な関係や豊かな心を育むため、仲間とスノーブレン等を利用したり、製作等いろいろな活動を行った。

ウ 肢体不自由児について、ごっこ遊びや工作、ゲーム等を行い、ルールを守って集団活動するよう指導した。また、子供会を月1回開催し、お楽しみ会の開催等について指導した。

④自習指導

就学児を中心に学習への取り組みを指導した。

(2) 個別指導計画作成

入所児・者に対して個別指導計画を作成し、実施した。

(3) センター内の行事への参加

各種行事への参加により、情操や社会性の育成に努めた。

(4) 療育相談の実施

保護者に対し、主治医・看護部と連携して、医療や進路等の相談に対応した。

(5) 特別支援学校との連携

隣接する秋田きらり支援学校とセンターとの連絡調整の役割を果たし、児童に関する双方の共通理解の形成に努めた。

(6) 入所児・者の活動通信の作成、配布

家族に対し、入所児・者が療育活動をしている状況を伝えるため、写真等により通信を作成し配布した。

2 人材育成等地域への貢献

人材育成や将来の専門職確保に向けて、本県出身の学生の実習受け入れを行った。

3 職員の資質の向上

センター内外の研修に積極的に参加し、専門知識や技術の向上を図った。

4 入所児童の年間指導状況

目標 個々の特性に応じた支援を行いながら、集団生活を通して社会性や協調性を養い、一人ひとりが生き生きと生活できるようにする。		
	指導内容	行事
4 月	元気にあいさつする	誕生会
5 月		誕生会
6 月		誕生会
7 月	明るい笑顔を忘れずに	誕生会 七夕まつり
8 月		誕生会 夏祭り
9 月		
10 月	みんなに親切にする	誕生会 ハロウィン
11 月		誕生会
12 月		誕生会 クリスマス会
1 月	感謝の心をもつ	誕生会
2 月		誕生会 節分
3 月		誕生会 ひな祭り お別れ会

5 入所児の生活日課表

時間	就学児	未就学児	学卒者	職員
6:30	起床・排泄・着衣・洗面	起床・排泄・着衣・洗面		
7:00	朝食	朝食	朝食	
8:00				
8:30	登校	自由時間	処置 安静 入浴	・連絡伝達 ・容姿支援、登校介助（移動介助、学校連絡、補装具装着介助） ・打ち合わせ、活動準備
9:00	授業	幼児保育	学卒活動	・幼児保育（朝の会、製作・音楽リズム・運動遊び等主活動、自然観察、入学前学習、身辺指導等） ・学卒者・幼児訪問支援 ・環境整備（室内装飾等） ・他機関との連絡調整（家庭、児相、市町村、学校、施設等） ・記録整理等
9:30				
10:00				
11:30				
12:00	午前下校（12:20）			
	昼食	昼食	昼食	・食事指導・介助 ・歯磨き指導・介助 ・午後の登校介助
13:00				
13:20	休憩・午後登校	休憩		・休憩
14:00	授業	入浴	処置 安静 入浴 余暇活動 自由時間	・入浴介助、乾髪 ・水分補給、おやつ介助 ・余暇活動支援（遊び、散歩、ゲーム、TV・DVD・CD鑑賞等の介助、製作、本読み等） ・整理整頓 ・記録整理等
15:00	入浴 余暇活動 おやつ 身辺整理整頓	余暇活動 おやつ		
17:00	夕食※ 自習	夕食※	夕食※	・自習指導
18:00	夕食			・記録
19:00	自由時間（テレビ等） 自主学習 歯磨き・就床準備 消灯（希望者は23:00）	自由時間（テレビ等） 歯磨き・就床準備 消灯（20:30）	処置 安静	

※令和5年2月より18:00のみ

6 入所児の夏休み、冬休み、春休み生活日課表

時間	入所児・者	職員
8:30		打ち合わせ
9:00	自習	自習指導 入浴介助 余暇指導 環境整備（装飾等）
10:00	おやつ 入浴 余暇活動	
12:00	昼食	食事指導・介助 歯磨き指導・介助
13:30	休憩	休憩
14:30	余暇活動	余暇指導 病棟指導
16:30		記録整理等
17:00	夕食※ 自習	
18:00	夕食	
19:00	電話・歯磨き・テレビ 自主活動（趣味活動）	
20:00	消灯（年少児）20:00	
21:00	消灯（年長児）21:00	

※令和5年2月より18:00のみ

7 幼児保育指導状況

目標 保育者や友達との関わりを通して、良い習慣と豊かな心を養う

	目標	活動	行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・進級の喜びを感じ、新しい環境に慣れる ・春の自然に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：さくら・こいのぼり ・製作：いちご ・設定保育、自由遊び等 	防災訓練 誕生会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす ・先生や友達と触れ合いながら、遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：カエル ・製作：雨傘 ・設定保育、自由遊び等 	防災訓練 誕生会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の移り変わりを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：アイス ・製作：クラゲ ・設定保育、自由遊び等 	防災訓練 果物狩りごっこ 誕生会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達と触れ合いながら、遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：すいか ・水遊び ・設定保育、自由遊び等 	防災訓練 夏祭り 誕生会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さに負けず元気に遊ぶ ・長期休み後の生活リズムを整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：運動会 ・製作：お月見 ・設定保育、自由遊び等 	誕生会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さに負けず元気に遊ぶ ・季節の移り変わりを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：ハロウィン ・製作：ハロウィン ・設定保育、自由遊び等 	運動会ごっこ
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：栗拾い ・製作：落ち葉 ・設定保育、自由遊び等 	ハロウィン 誕生会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の移り変わりを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：クリスマス ・製作：クリスマス ・設定保育、自由遊び等 	七五三 誕生会 遠足ごっこ
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：お正月 ・製作：干支 ・設定保育、自由遊び、足湯等 	クリスマスパーティー
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年を喜ぶ ・長期休み後の生活リズムを整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：おでん ・製作：節分 ・設定保育、自由遊び、雪遊び等 	ししまい・福笑い 誕生会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず元気に過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー：たんぽぽ ・製作：てんとう虫 ・設定保育、自由遊び、足湯等 	豆まき
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・一年の終わりを感じ、修了を喜ぶ ・季節の移り変わりを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定保育、自由遊び等 	雛飾り 誕生会 修了の会 卒園式

8 学卒支援指導状況

〈目 標〉 体調管理に留意し、視覚・聴覚・触覚などの感覚刺激をもって、興味・関心の幅を広げる。

〈実施日時〉 平日 9：30～10：30

※きらり支援学校の夏季・冬季・臨時休業などを除く。

〈設定活動〉

月	目 標	活 動	内 容
		製作活動	その他
4 月	・新しい環境に慣れ、楽しく過ごす	カレンダー：桜、いちご こいのぼり、金太郎、母の日	
5 月	・行事を通じ、感謝の気持ちを伝える	カレンダー：雨 あじさい、傘、かたつむり、 母の日	スプリングコンサート
6 月	・季節の移り変わりを感じる	カレンダー：七夕 七夕、あさがお、ぼんでん、 父の日	
7 月	・暑さに負けず元気に活動する	カレンダー：ひまわり かき氷、風鈴、ひまわり	夏祭り
8 月	・長期休み後の生活リズムを整える	カレンダー：お月見 とんぼ、たぬき、コスモス	
9 月	・季節の移り変わりを感じる	カレンダー：ハロウィン かぼちゃ、おばけ、お菓子	
10 月	・秋の自然を楽しむ	カレンダー：紅葉 りんご、栗、みのむし	ハロウィン 誕生会 バースデーコンサート
11 月	・季節の移り変わりを感じる	カレンダー：クリスマス サンタ、リース、ケーキ	作品展
12 月	・季節の行事を楽しむ。	カレンダー：お正月 干支、鏡餅、ししまい	クリスマス会
1 月	・長期休み後の生活リズムを整える	カレンダー：バレンタイン 雪だるま、ハート、鬼	ニューイヤーコンサート
2 月	・寒さに負けず元気に活動する	カレンダー：ひな祭り お雛様、うぐいす、梅	節分 買い物体験
3 月	・季節の移り変わりを感じる ・一年の活動を振り返る	アルバム さくら、つくし、ひよこ	

6 短期入所・日中一時支援事業

対象者を介護する家族が急病や用事、介護疲れなど一時的な理由で家庭での生活ができない場合、家族が家庭及び地域生活を継続できるよう医療型障害児入所施設で実施している。

○対象者

- ・短期入所（ショートステイ）
重症心身障害児者（日帰り、宿泊）と身体障害児（宿泊のみ）
- ・日中一時支援（短期入所型）
身体障害児（日帰りのみ）

○定員

7名以内

○契約者数（令和5年3月末）

146人

○短期入所契約者146人の内訳

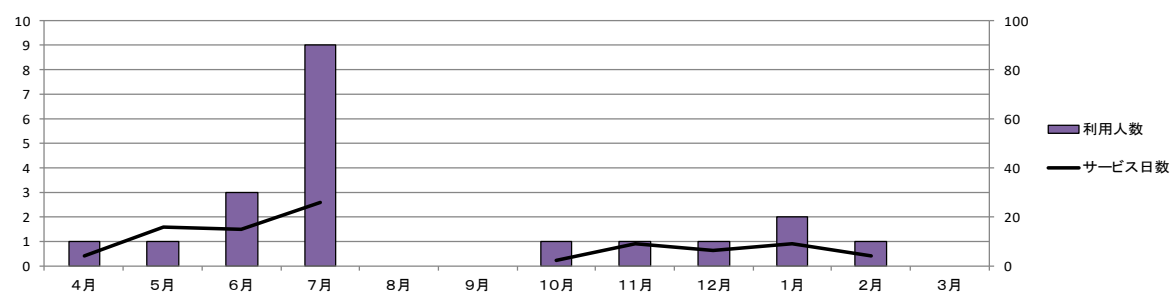
18歳以上	人数
区分6	67
区分5	2
区分4	0
区分3	0
区分2	0
区分1	0
計	69

18歳未満	人数
区分3	71
区分2	6
区分1	0
計	77

※18歳未満の児童は区分が1～3まで
※障害の程度は数字が大きいほうが重い

(1) 短期入所事業利用状況

※新型コロナウイルス感染症対策のため緊急時以外の受け入れを制限した



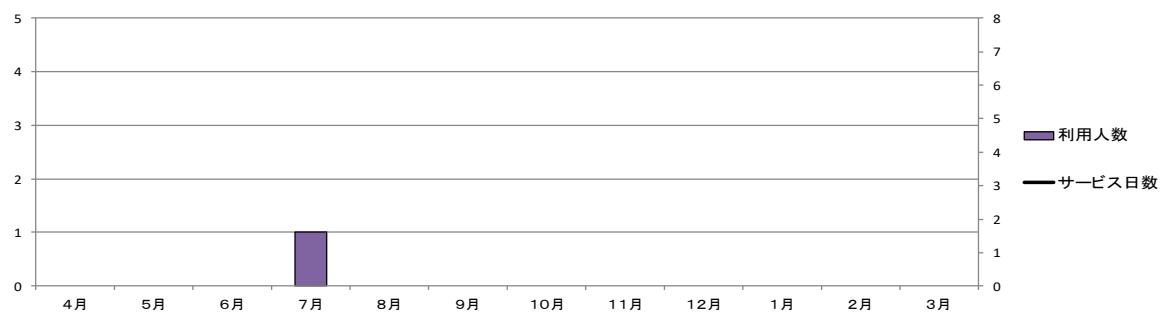
(人, 日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	1	1	3	9			1	1	1	2	1		20
サービス日数	4	16	15	26			2	9	6	9	4		91
サービス日数 前月比 (%)		400.0%	93.8%	173.3%	0.0%			450.0%	66.7%	150.0%	44.4%	0.0%	

※障害者総合支援法に基づき、障害児・者の宿泊及び重心障害児の日帰りの預かりサービスを行っている事業であり、月毎の利用人数及びサービス提供した日数。

(2) 日中一時支援事業利用状況

※新型コロナウイルス感染症対策のため緊急時以外の受け入れを制限した



(人、日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数				1									1
サービス日数				1									1
サービス日数 前月比(%)													

※障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業のひとつとして、重心障害児以外の障害児の日帰りによる預かりサービスを行っている事業であり、月毎の利用人数及びサービスを提供した日数。(市町村からの委託事業)

7 総合相談・医療療育連携室

総合相談では地域生活をしていく上での様々な相談への対応、医療療育連携室では医療療育機関からの紹介や問い合わせ等に関する対応、相談支援事業所では障害児支援利用計画等の作成を行っている。また秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』を、秋田県から委託を受け運営している。

1 総合相談

(1) 業務内容

次のような相談に面接や電話で対応した。

- ・当センターの利用に関すること
- ・短期入所事業の受付、調整に関すること
- ・地域の福祉サービス利用に関すること
- ・年金、手当、手帳に関すること
- ・子育てや教育に関すること

(2) 研修事業

医療的ケア児等支援委員会 医療的ケア児等地域生活支援研修

『医療的ケア児者の在宅支援』：WEB 研修

開催日：令和4年7月2日（土）

講師：ごてんまり訪問看護ステーション

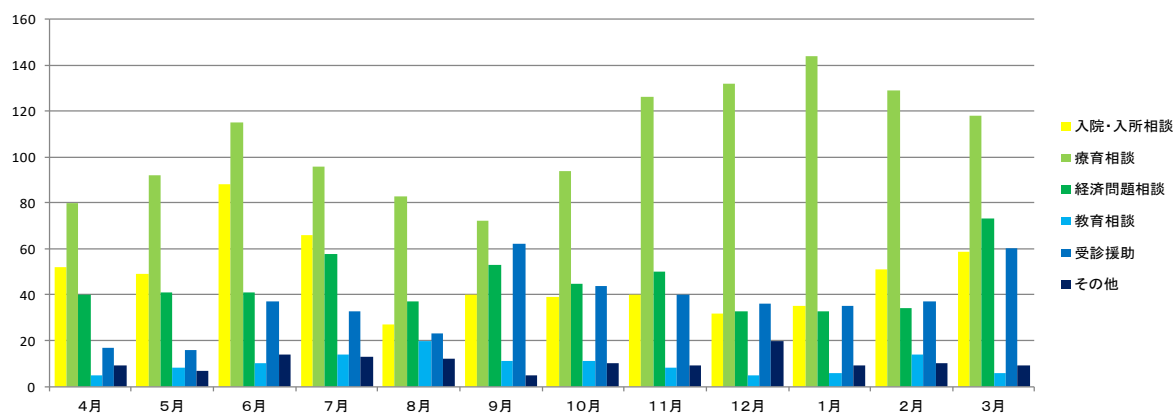
管理者 藤沢 武秀 氏

多機能型重症児者デイサービスにのこ

管理者 八代 美千子 氏

参加者：116 名

【実績】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院・入所相談	52	49	88	66	27	40	39	40	32	35	51	59	578
療育相談	80	92	115	96	83	72	94	126	132	144	129	118	1,281
経済問題相談	40	41	41	58	37	53	45	50	33	33	34	73	538
教育相談	5	8	10	14	20	11	11	8	5	6	14	6	118
受診援助	17	16	37	33	23	62	44	40	36	35	37	60	440
その他	9	7	14	13	12	5	10	9	20	9	10	9	127
合計	203	213	305	280	202	243	243	273	258	262	275	325	3,082
前月比（%）		104.9	143.2	91.8	72.1	120.3	100.0	112.3	94.5	101.6	105.0	118.2	

当センターを利用している児童の保護者やこれから利用を検討している児童の保護者等との相談件数である。

2 医療療育連携室

次のような依頼に電話や文書で対応した。

- ・予約調整：紹介の受付・受診調整、他医療機関への初診申込み等
- ・連携先への返書：受診予約回答書／診療情報提供／受診報告書等

【実績】

(件)													
医療連携	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	208	193	221	235	204	172	164	195	184	166	206	228	2,376

3 相談支援事業所

(1) 業務内容

障害児支援利用計画及びサービス等利用計画を作成し、福祉サービス等の実施状況や利用者の状況について定期的に再評価を行った。また、目標に沿ってサービスが提供されるよう、福祉サービス等の事業者との連絡調整をした。

(2) 会議等参加

秋田市障がい者総合支援協議会 相談支援部会 委員(秋田市保健福祉部障がい福祉課)

【実績】

(件)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス等利用計画・ 障害児支援利用計画	6	6	7	10	10	6	7	11	4	8	5	3	83
モニタリング報告	1	10	13	9	5	9	7	3	7	7	6	12	89

4 秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』

秋田県から委託を受け、秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』を運営している。

日常的に医療的なケアを必要とする児童とその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、医療的ケア児等コーディネーターと専門的な知識をもった看護師が関係機関と連携し支援を行っている。

(1) 相談支援

①医療的ケア児とその家族からの相談

保育所入所、小学校への入学、在宅生活などに関して、医療的ケア児の家族からの相談に対し、電話や来所相談のほか、地域に訪問し、地域の医療的ケア児等コーディネーターや関係機関と連携して支援を行った。

②医療的ケア児に関わる関係機関からの相談

支援、医療的ケアの手技などに関する相談に対し、電話や訪問により、助言や支援を行った。

【実績】

相談件数 253 件

(2) 人材育成

①研修事業（秋田県より委託）

※医療的ケア児等支援委員会との協働により開催

1) 秋田県医療的ケア児等支援者養成研修（オンライン）

開催日：令和4年10月1日（土）、22日（土）

参加者：44名

2) 秋田県医療的ケア児等コーディネーター養成研修

開催日：令和4年11月10日（木）、2月21日（土）～22日（日）

会場：秋田JAビル

修了者：15名

※10月1日（土）22日（土）は支援者養成研修と合同開催

3) 秋田県介護職員等たん吸引研修 第三号研修（特定の医療的ケア児対象）

<基本研修>

開催日：令和4年12月10日（土）～11日（日）

会場：秋田県立医療療育センター 講堂兼視聴覚室

修了者：9名

<実地研修>

開催日：随時

修了者：3名

②医療的ケアに関する技術指導

関係機関で勤務する看護師に対して、技術指導を行った

(3) 普及・啓発

①ホームページの作成やパンフレットの配布、説明会等、医療的ケア児支援センター『コラソン』の周知及び医療的ケア児の理解促進を図った。

②秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』開所式

開催日：令和4年6月17日（金）

会場：秋田県立医療療育センター 外来ホール

③秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』説明会（オンライン開催）

第1回 開催日：令和4年 8月30日（火） 参加者：71名

第2回 開催日：令和4年 9月27日（火） 参加者：16名

第3回 開催日：令和4年 10月27日（木） 参加者：17名

(4) 支援体制整備

①大仙市情報交換会の開催

開催日：令和4年11月29日（火）

会場：大仙市役所

参加者：22名

②由利本荘市障害者支援協議会へ参加（オンライン参加）

開催日：令和4年12月15日（木）

(5) 会議等参加

- ・ 秋田県医療的ケア児等支援協議会 委員 (秋田県健康福祉部障害福祉課)
- ・ 秋田市医療的ケア児等支援協議会 委員 (秋田市福祉保健部障がい福祉課)

8 発達障害者支援部

発達障害児・者に対する支援を総合的に行う拠点として、秋田県から指定を受け、「秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田」を運営している。

本人及びその家族などからの相談に応じ適切な指導、助言を行うとともに、関係機関との連携強化により地域における総合的な支援を行う「支援センター事業」と、県民や関係機関を対象とした「普及・啓発事業」を行っている。

1 業務内容

社会福祉士と精神保健福祉士を配置するほか、特別支援学校から教育支援員として毎日教諭が派遣されており、各専門機関との連携のもとで相談に対応している。

(1) 相談支援

日常生活で困っている、発達障害のことをもっと良く知りたい、学校や進路などこれからのことを考えたい、本人の目標を叶えるための方法を考えたい等、本人や家族、関係機関の様々な発達障害に関する相談に応じた。

相談を受けて、本人の状態を見ながら、助言・各種サービスの情報提供を行った。また、地域の支援機関と連携し、地域での支援を図った。

(2) 発達支援

発達の状態について、本人とその家族や関係機関に対して助言・指導を行った。また、必要に応じて医療機関を紹介し、医師との連携による指導を行った。

(3) 就労支援

卒業後の進路で悩んでいる、働きたい、働くことへの不安がある、職場でコミュニケーションが上手くとれないなどの相談を受け、本人のニーズや能力に合わせて、就労やその準備に向けての助言を行うとともに、必要に応じて労働機関と連携しながら支援した。

(4) 普及・啓発活動

ホームページやパンフレット、研修などを通じて、発達障害の理解の促進に努めた。

発達障害についての正しい情報や社会支援の必要性について、より多くの方々に理解していただけるよう、講演会や専門研修などによる普及・啓発を行った。

2 研修・普及啓発事業

(1) 発達障害児者及び家族等支援事業（県より委託）

①ペアレント・トレーニングリーダー養成基礎講座【支援者向け】

開催日：令和4年6月4日（土）・18日（土）10:00～17:00 参加者：27名

令和4年8月27日（土）・9月3日（土）10:00～17:00 参加者：23名

会 場：秋田県立医療療育センター講堂兼視聴覚室

講 師：紫波の子育てを支援する会あれんと 川村みや子氏、細川恵子氏、樋渡朗子氏

②研修会「理解に支援が必要な方へのわかりやすい性教育 Vol. 2」【一般向け】

開催日：令和4年7月21日（木）13:30～15:30

会 場：秋田県立医療療育センター講堂兼視聴覚室
講 師：いなみ小児科ファミリークリニック 稲見育大氏
参加者：会場 10 名/オンライン 132 名

③「家族で学ぶ CARE 研修会」【一般向け】

開催日：令和 4 年 7 月 31 日（日）10:30～12:30
会 場：秋田市拠点センターALVE
講 師：秋田大学大学院医学系研究科 作業療法学講座 教授 太田英伸氏
参加者：会場名 12 名/オンライン 52 名

④ペアレント・トレーニングアドバンス講座【支援者向け】

開催日：令和 4 年 10 月 29 日（土）10:00～17:00
会 場：秋田県立医療療育センター講堂兼視聴覚室
講 師：紫波の子育てを支援する会あれんと 川村みや子氏、細川恵子氏、樋渡朗子氏
参加者：10 名

⑤研修会「発達障害のある子の将来～お金・住まい・くらしの話～」【一般向け】

開催日：令和 4 年 11 月 29 日（火）14:00～16:00
会 場：秋田県立医療療育センター講堂兼視聴覚室
講 師：「親なきあと相談室」主宰/渡部行政書士社労士事務所 渡部伸氏
参加者：会場 21 名/オンライン 85 名

⑥研修会「不登校への多様な支援の現状」【教育関係者向け】

開催日：令和 5 年 1 月 12 日～2 月 10 日
講 師：秋田県教育庁義務教育課 指導班指導主事 畠山公次氏
NPO 法人 KOU 理事長 大屋みはる氏
秋田県立秋田明德館高等学校スペース・イオ 教諭（兼）教育専門監 鈴木健氏
秋田不登校ネットワーク代表/秋田県立秋田明德館高等学校 SSW 佐藤秀一氏
NPO 法人秋田たすけあいネットあゆむ 代表 保坂ひろみ氏
参加者：218 名（オンデマンド）

⑦ピアサポート推進事業・発達障害者等青年期事業

・つどいの場/アニメくらぶ/いろいろグループワーク【当事者向け】
日 時：令和 4 年 5 月 18 日（水）、10 月 5 日（水）、11 月 16 日（水）
いずれも 15:00～16:00
参加者：当事者延べ 20 名

・家族のつどい【家族向け】

日 時：令和 4 年 7 月 7 日（木）、10 月 12 日（水）14:00～16:00
講 師：臨床心理士・公認心理師 荒川玲奈氏
参加者：保護者延べ 20 名

・きょうだい勉強会【きょうだい向け】

日 時：令和 5 年 1 月 10 日（火）10:00～11:00
講 師：秋田県立秋田きらり支援学校 教諭（兼）教育専門監 島津憲司氏
参加者：保護者 2 名、見学者 2 名

(3) その他事業

①世界自閉症啓発デー啓発事業

- ・令和4年4月2日～「本でつながろう！理解のWA」県内16か所の公共図書館にて発達障害関連書の紹介、パネル展示を実施
- ・令和4年4月1日～31日 道の駅あきた港ポートタワーセリオンのブルーライトアップ

②ペアレント・トレーニング【保護者向け】

開催日：令和4年5月～12月（全8回、2クール）10:00～11:30

会 場：秋田県立医療療育センター 講堂兼視聴覚室

参加者：9名 臨床心理部門と実施

③発達障害基礎講座【保護者向け】

開催日：令和4年5月～10月（全7回）10:00～11:00

会 場：秋田県立医療療育センター 講堂兼視聴覚室

内 容：発達障害について正しい知識を得るための講座、療育センター職員が講師を担当

参加者：延べ90名

(4) 機関コンサルテーション

福祉施設、小学校、行政機関等5機関へ講話や個別ケースについての助言を行う

(5) 講師派遣

教育、行政機関、福祉施設、地域団体等 25回

(6) パンフレット等による普及啓発

発達障害冊子の配布

3 ネットワーク連携・遠隔地支援事業

(1) 秋田市障がい児者総合相談会へ参加

実施期間：令和4年5月～令和5年2月（計9回）

会 場：秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎

(2) 北東北3県発達障害者支援センター情報交換会へ参加

青森県、岩手県、秋田県の各発達障害者支援センター及び行政等による情報交換

開催日：令和4年12月9日（金）オンライン

(3) 公式LINEの運用

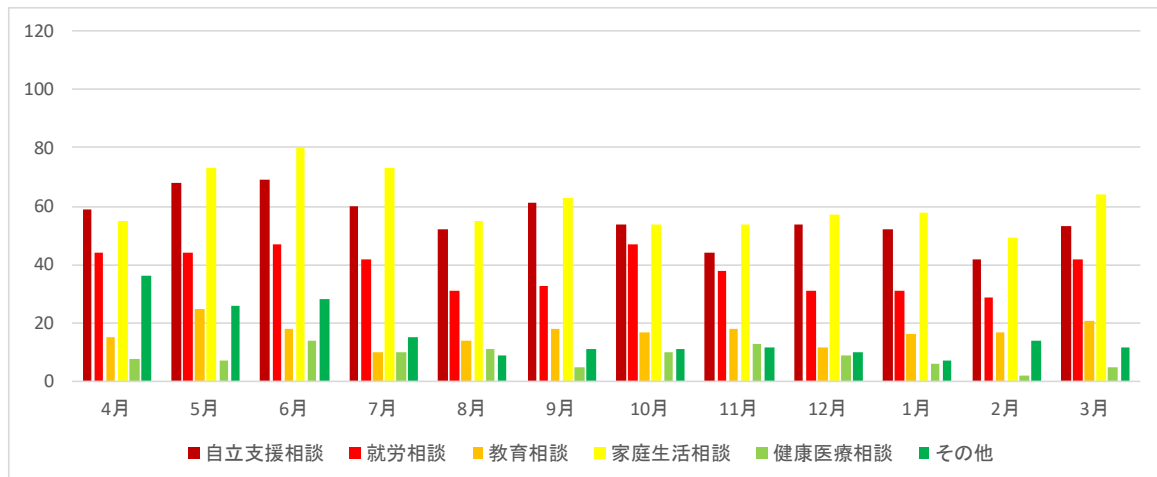
主催研修等の情報配信（登録者709名）

4 教育・就労等関係の会議等

- ・高等学校特別支援隊 委員（秋田県教育庁特別支援教育課）
- ・専門家・支援チーム 委員（秋田県教育庁特別支援教育課）
- ・秋田市障がい者総合支援協議会 就労部会委員（秋田市障がい福祉課）
- ・発達障害者雇用支援連絡協議会 委員（秋田障害者職業センター）
- ・秋田県子ども・若者支援ネットワーク会議 委員（秋田県あきた未来創造部）

- 5 発達障害診断待機解消事業（発達障害専門医療機関初診待機解消事業）
各地域へ出張し、検査と相談を含むフィードバックを試行実施
実施期間：令和4年11月～令和5年1月
鹿角市、北秋田市、大仙市にて計4ケース

6 実績



(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立支援相談	59	68	69	60	52	61	54	44	54	52	42	53	668
就労相談	44	44	47	42	31	33	47	38	31	31	29	42	459
教育相談	15	25	18	10	14	18	17	18	12	16	17	21	201
家庭生活相談	55	73	80	73	55	63	54	54	57	58	49	64	735
健康医療相談	8	7	14	10	11	5	10	13	9	6	2	5	100
その他	36	26	28	15	9	11	11	12	10	7	14	12	191
合計	217	243	256	210	172	191	193	179	173	170	153	197	2,354
前月比 (%)		112.0%	105.3%	82.0%	81.9%	111.0%	101.0%	92.7%	96.6%	98.3%	90.0%	128.8%	

VIII 感染予防対策室

医療・療育を担える適切な感染予防対策を推進するとともに、医療関連感染に関する問題を迅速に解決するよう現場をサポートし、利用児（者）及び訪問者、施設従事者の安全確保に寄与することを目的としている。

1. 任務

- 1) 院内感染予防対策委員長の方針を感染予防対策チーム（ICT）の活動に反映する。
- 2) ICT の中核として、他関連部門と連携を十分にとり活動する。
- 3) 医療関連感染サーベイランスを中核となっていく。
- 4) 医療関連感染対策に関する職員教育を行う。
- 5) 地域医療施設との連携・相談窓口となり、医療関連感染対策に関するコンサルテーション、情報交換を行う。

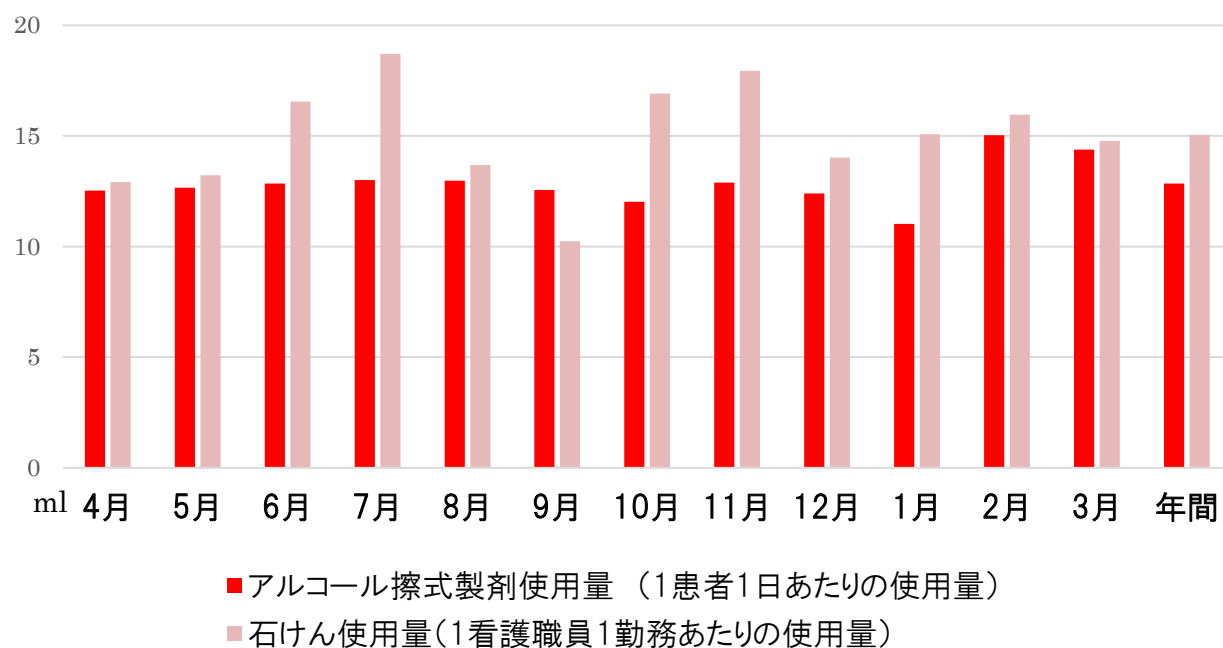
2. 業務

- 1) 医療関連感染サーベイランスに関すること
- 2) 医療関連感染に関する教育、啓発、研修企画・運営に関すること
- 3) 感染予防・管理プログラムの策定と運営に関すること
- 4) 院内感染予防対策マニュアルの策定・改訂に関すること
- 5) アウトブレイク発生時の調査と介入に関すること
- 6) 感染予防対策のコンサルテーションに関すること
- 7) センター内巡回による感染対策の点検と助言に関すること
- 8) 院内感染予防対策委員会、感染予防対策チーム（ICT）、感染予防対策リンクスタッフ会の会議及び活動に関すること
- 9) 職員の健康管理に関すること
- 10) 中央材料室における洗浄・消毒・滅菌業務に関すること
- 11) 清掃・洗濯・施設設備・給食などの感染防止対策に関すること
- 12) 医療材料・器材の選定に関すること

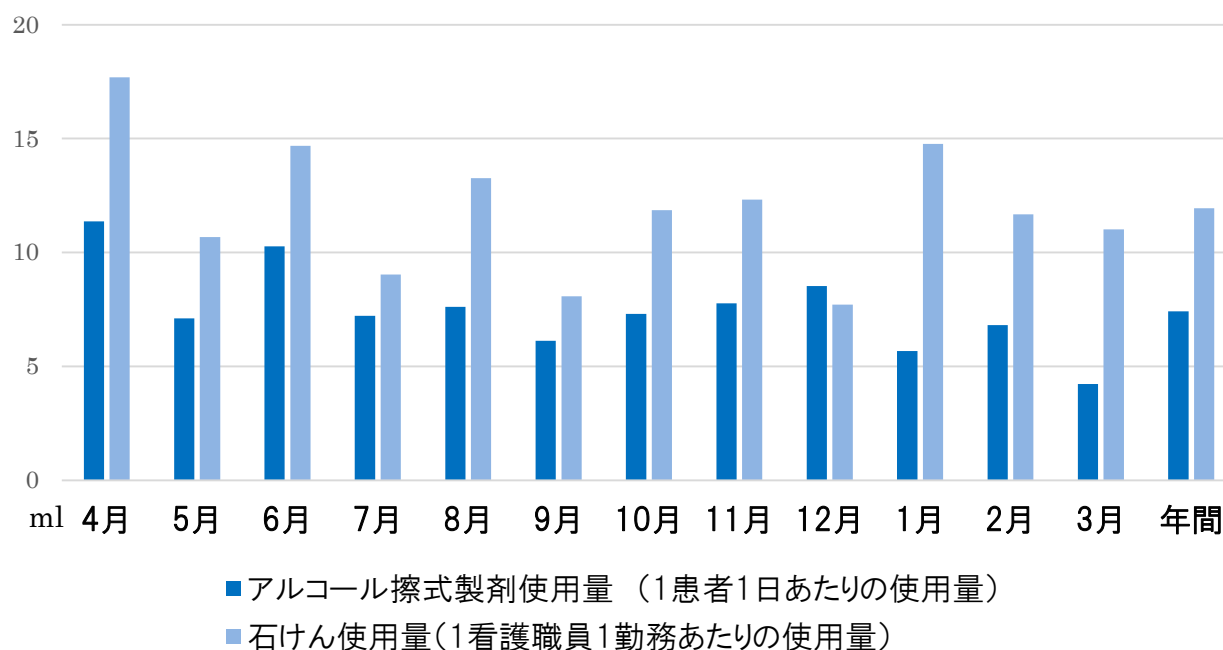
3. 令和4年度医療関連感染サーベイランス

1) 手指衛生サーベイランス

(1) ひばり病棟



(2) 杉の子病棟



10 医療安全管理室

医療・療育に関わる医療安全対策を推進し、医療安全管理体制の確保および医療安全管理に関する問題を解決するよう現場を支援している。また、利用児（者）および施設職員の安全確保に寄与することを目的としている。

1. 業務

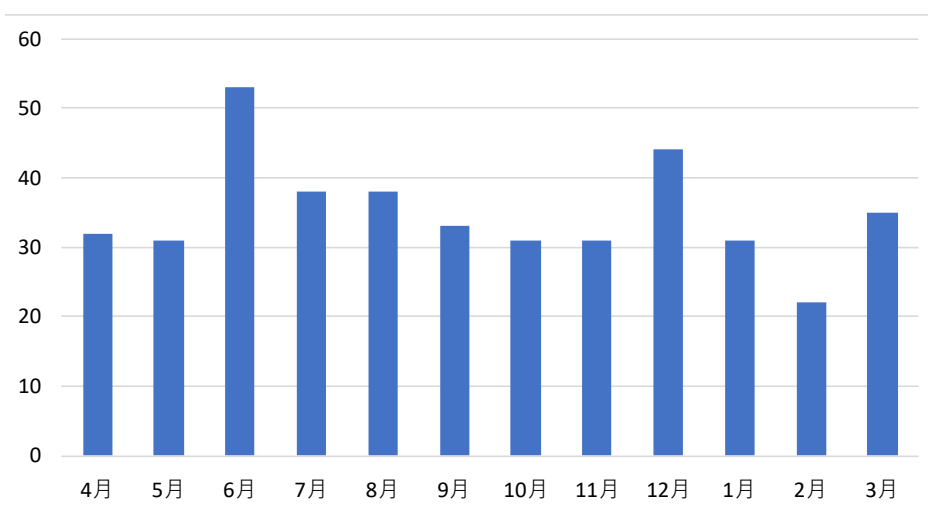
- 1) 医療安全管理室長の方針を医療安全管理タスクチームの活動に反映する。
- 2) 医療安全管理委員会、タスクチームの中核として、他関連部門と連携をとり活動する。
- 3) 医療安全対策に関する職員教育を行う。
- 4) 他施設と連携・相談窓口となり、医療安全対策に関する情報交換を行う。
- 5) 医療安全管理の相談に対応する。

2. 具体的な活動内容

- 1) 医療安全管理委員会、医療安全管理タスクチームの運営に関すること
- 2) インシデント・アクシデントレポート集計・分析、改善策の立案・評価に関すること
- 3) 医療の安全に管理に関わる教育、研修企画、運営に関すること
- 4) 医療安全管理マニュアルの策定および改訂に関すること
- 5) 医療安全管理のための啓発、院内ラウンド、広報に関すること
- 6) 医療事故発生時の対応に関すること
- 7) 他施設との連携を図り、医療安全管理に関する情報交換・安全管理活動に関すること

3. インシデントレポート報告

2022 年度月別レポート報告件数



(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
32	31	53	38	38	33	31	31	44	31	22	35	419

11 医療機器・情報管理室

当室は2019年4月に設置され、スタッフは医師、臨床工学技士、診療放射線技師合計3名で構成されている。センター内で使用される医療機器の管理と情報システム管理運用を行い、利用者及び職員共に安全で良質な医療・療育を提供するためのサポートを行っている。

1. 医療機器管理

センター内で使用される各種医療機器について各種法令に基づき医療機器安全管理責任者と連携し点検保守管理及びスタッフへの研修等を実施し、利用者へ安全な環境を提供することを目標としている。また、本年度より一部の在宅移行の際に臨床工学技士が同行するなど、センター利用者の各種ニーズに合わせた対応を実施している。

○業務内容

- (1) 医療機器安全管理責任者との連携による管理体制の充実
- (2) スタッフに対する医療機器の安全使用のための研修の実施
- (3) 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施
- (4) 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集
その他の医療機器の安全を目的とした改善のための方策の実施
- (5) 医療ガス日常点検の実施
- (6) 災害時を想定した対策の体制強化

○管理を行う主要医療機器（台数は令和5年3月末現在）

人工呼吸器（24台）、除細動器・AED（4台）輸液・シリンジ・経腸栄養ポンプ（58台）、生体情報モニタ・パルスオキシメータ（60台）、全身麻酔器（1台）ほか

2. 情報システム管理

各種情報システム（医療療育情報システム、職員情報共有システム等）について安定稼働、効果的な活用（保守委託業者との連携含む）を行い、安全で効率的な環境の提供に努めている。

- (1) 運用管理、保守
- (2) システム更新・新規プロジェクトの構築・連携支援
- (3) 情報セキュリティ対応
- (4) 職員への操作及びセキュリティ教育
- (5) ヘルプデスク
- (6) 障害検知及び一次対応
- (7) 情報技術に関して職員の資質向上

○管理を行っている主要システム

医療療育情報システム（電子カルテシステムなど関連システム一式）

職員情報共有システム（グループウェアシステムなど関連システム一式）

12 院内委員会等設置状況

会議・委員会一覧

会議・委員会名	構 成	開 催 日
運営会議	センター長、副センター長、各部長、事務部担当職員、センター長の指名する者	毎月第4月曜日 (その他必要時)
連携ケース検討会	センター長、副センター長、医師、看護部長・次長・師長、リハビリテーション担当、育成部担当、特支学校担任、同教諭、センター長の指名する者	毎月第4火曜日
給食委員会	センター長、副センター長、事務部長、看護部長・次長・病棟師長、育成部責任者、総合相談担当者、管理栄養士	年4回
薬事委員会	センター長、副センター長、医師、薬剤師	随時
院内感染予防対策委員会	センター長、副センター長、看護部長、診療部各部門責任者、リハビリテーション部責任者、育成部責任者、看護部各部署責任者、総合相談・医療療育連携室責任者、医療機器・情報管理室責任者、事務部責任者及び業務担当者、感染管理認定看護師	毎月第2月曜日
医療安全管理委員会	センター長、副センター長、事務部長、看護部長・師長、育成部責任者、診療部（薬剤、放射線、臨床検査、栄養指導管理）責任者、リハビリテーション部責任者、医療機器・情報管理担当者、業務班担当者	毎月第2月曜日
運営適正化委員会	提言等解決責任者（センター長、事務部長）提言等受付担当者（診療部長、看護部長、育成部長、業務班長）第三者委員（外部）	随時
身体抑制に関する委員会	センター長が委員長を任命、副センター長、事務部長、育成部責任者、看護部長・師長	毎月第2月曜日
虐待防止委員会	虐待防止責任者（センター長）、診療部長、育成部長、リハビリテーション部長、看護部長、発達障害者支援部長、総合相談・医療療育連携室長、予防対策部会長	随時
医療機器リスクマネージメント委員会	センター長、副センター長、事務部長、看護部長・師長、育成部担当、診療部（薬剤、放射線、臨床検査、栄養指導管理部門）責任者、リハビリテーション部責任者、医療機器・情報管理室	随時
情報システム管理運営委員会	管理責任者（センター長）、センター長が指名する運用責任者、看護部長・師長、診療部、育成部、総合相談、医療機器・情報管理室、発達障害者支援部の各責任者・担当者、当該事務関係者	毎月第3火曜日
衛生委員会	センター長（委員長）、産業医、衛生管理者、作業環境測定実施者、職員の衛生に関し経験を有する者（事務担当者）	毎月1回
ショートステイ検討委員会	センター長（委員長）、副センター長、看護部長・師長、育成部責任者、総合相談（担当者）、事務部長	年4回
院内感染予防対策チーム	医師、感染管理認定看護師、病棟看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務担当者	毎週金曜日
感染予防対策リンクスタッフ会	各病棟看護師、外来看護師、生活介護事業所看護師、育成部職員、リハビリテーション部職員、アドバイザー（感染管理認定看護師、看護部長）	毎月第4火曜日
未収金対策会議	事務部、総合相談、各病棟及び育成部の各所属長から推薦された職員	随時
医療倫理委員会	センター長（委員長）、診療部長、医師（若干名）、事務部長、看護部長、薬剤師、その他医療を専門としないセンター内職員 ※医師と医療を専門としないセンター内職員については委員長が指名する。	随時
個人情報保護委員会	センター長、副センター長（担当所掌事務）、事務部長、看護部長	随時
医療ガス安全管理委員会	センター長、整形外科医、手術担当師長、薬剤師、事務担当者、臨床工学技士	随時
医療安全管理タスクチーム	センター長、看護部長、医療安全管理者、各病棟看護師、外来看護師、生活介護事業所看護師、放射線技師、臨床工学技士、薬剤師、公認心理師、栄養士、作業療法士、理学療法士、育成部担当者、事務担当者	毎週水曜日、および第3木曜日
医療機器選定委員会	センター長、副センター長、経営統括本部長、事務部長、総務企画課長、事務職員	毎週第3火曜日
防火管理委員会	センター長、事務部長（防火管理者）、育成部長、看護部長、看護師長、育成部、診療部、総合相談、発達支援、経営統括本部班長、事務担当者	随時
医療的ケア児等支援委員会	医師、看護師、リハビリテーション部、育成部、総合相談・医療療育連携室、医療機器・情報管理室、経理統括本部、事務部	毎月第2木曜日
医療放射線安全管理委員会	センター長、副センター長、看護部長・師長、放射線技師	随時

※運営適正化委員会の状況

センターに対する提言・要望・苦情等解決実施要領を制定し、センター長を提言等解決責任者とし、提言等受付担当者を診療部、看護部、育成部、事務部、総合相談・医療療育連携室に置くほか、第三者委員３名を任命している。

令和４年度における要望等への回答状況は１件で、次のとおりとなっている。

No.	提言・要望・苦情	回 答
1	<p>○ 育成部での出来事について 昨年の苦情一覧を見ました。 通園部の苦情に対し、保護者間の出来事を職員が把握していないということは不自然です。 私もLINE強要や、保護者間の難しさを通園部の担任に伝えたことがあるからです。 「私は既読スルーです！とLINEで最初に言う。通園部の保護者もそれが出来たら」と仰ってました。 通園部の保護者は、子どもがやりたくて入る部活動の後援のような立場ではなく、発達に関して専門的な場所だと思い、悩んで入ってくる人がほとんどだと思います。</p> <p>全国的には「家族の負担軽減」と「就学準備のためにも母子分離で集団生活をしよう」という方向だと認識しています。 ペアトレという名目で、最後まで母子通園で一貫するところは少なくなっているのではないのでしょうか。 通園部の利用頻度が下がっているのは自然なことだと感じています。 「子どものため」になる、利用しやすい「医療療育」センターになってほしいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 昨年度ご意見いただいた内容につきましては、保護者の皆様方へ、ご理解・ご協力をいただきますよう、お話をさせていただいております。 大切なお子様の成長のために、今後も保護者の方々との繋がりを大事にしながら、皆様が気持ちよく通園できるように努めて参ります。</p>

13 実習生・ボランティアの受入状況

1 実習生の受入状況

実習名	学 校 ・ 施 設 名 簿	実 習 期 間 (人員)						人員	
看護実習	日本赤十字秋田看護大学	R4. 5. 24～25	3	R4. 6. 28～29	4	R4. 10. 12	6	78	
		R4. 5. 31～6. 1	5	R4. 8. 23～24	6	R4. 10. 19	6		
		R4. 6. 7～8	5	R4. 8. 30～31	5	R4. 10. 25～26	6		
		R4. 6. 14～15	5	R4. 9. 6～7	6	R4. 11. 2	5		
		R4. 6. 21～22	5	R4. 9. 13～14	5	R4. 11. 8～9	6		
	秋田大学医学部保健学科看護学専攻	R4. 4. 14	6	R4. 5. 26	6	R4. 7. 7	6	61	
		R4. 4. 21	6	R4. 6. 2	5				
		R4. 4. 28	5	R4. 6. 9	6				
		R4. 5. 12	6	R5. 6. 23	5				
		R4. 5. 19	5	R4. 6. 30	5				
	秋田県立衛生看護学院	R4. 5. 6	5	R4. 9. 2	5	R4. 10. 24	4	34	
		R4. 6. 10	5	R4. 9. 29	5				
		R4. 7. 29	6	R4. 10. 6	4				
	小 計								173
歯科巡回 臨床実習	秋田県歯科衛生士学院	R4. 10. 7	6	R4. 10. 21	6			31	
		R4. 10. 11	6	R4. 11. 1	7				
		R4. 10. 18	6						
医学部実習	秋田大学医学部医学科	R3. 4. 22～23	6	R3. 11. 4～5	6	R4. 2. 24～25	6	42	
		R3. 5. 20～21	6	R3. 11. 25～26	6				
		R3. 7. 8～9	6	R3. 1. 13～14	6				
臨床心理学実習	秋田大学大学院教育学研究科	R3. 4～12	2					2	
理学療法	秋田大学医学部保健学科	R4. 4. 4～5. 27	1	R4. 6. 6～7. 29	1	R4. 9. 5～9. 21	1	6	
		R5. 1. 10～2. 3	1	R5. 2. 13～2. 17	2				
	秋田リハビリテーション学院	R4. 9. 2	5	R4. 9. 22	6	R5. 2. 27～3. 24	1	12	
	小 計								18
作業療法	秋田大学医学部保健学科	R4. 5. 9～6. 17	1	R4. 8. 22～10. 1	1	R4. 9. 26～9. 30	2	4	
保育実習	聖園学園短期大学	R4. 8. 22～9. 2	1					2	
		R4. 9. 5～9. 16	1						
	仙台医療秘書福祉専門学校	R4. 7. 4～7. 15 ／10. 17～28					1	1	
	小 計								3
合 計									273

2 ボランティアの受入状況

通所・入所児童の遊びや話し相手、学習支援等のボランティアの受入れを行った。

※新型コロナウイルス感染対策として受け入れを制限した

○登録ボランティア数

- ・団体登録 1 秋田大学V-net（学習活動）
- ・個人登録 2 （読み聞かせ、琴の演奏）

○活動実績

(回、人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回 数		1	1									1	3
延人数		1	1									1	3

14 業績

I 診療部

学会・研究会発表

第 75 回秋田県整形外科医会 5 月 オンライン開催 秋田市

佐藤貴洋 若林玲奈 三澤晶子 坂本仁 島田洋一 (2022)

稀な分娩時大腿骨骨折の 2 例

若林玲奈 佐藤貴洋 三澤晶子 坂本仁 島田洋一 (2022)

脳性麻痺児における足部変形の予測に関する検討ー就学前後の手術例からー

第 64 回日本小児神経学会学術集会 6 月 群馬県高崎市

豊野美幸 坂本知子 沢石由記夫 (2022)

「成人期の福山型先天性筋ジストロフィー 3 例の心機能変化について」

坂本知子 豊野美幸 渡部泰弘 澤石由記夫 (2022)

当センターでの midazolam 口腔用液の使用経験

澤石由記夫 坂本知子 豊野美幸 (2022)

デュシャンヌ型筋ジストロフィー症例に対するビルトラルセン長期投与の効果と課題

第 119 回東北整形災害外科学会 6 月 オンライン開催 仙台市

佐藤貴洋 若林玲奈 三澤晶子 坂本仁 島田洋一 (2022)

稀な分娩時大腿骨骨折の 2 例

第 13 回秋田県小児整形外科研究会 7 月 オンライン開催 秋田市

河原木剛 若林玲奈 三澤晶子 坂本仁 島田洋一 (2022)

歩行可能な脳性麻痺児におけるはさみ脚変形への対応

若林玲奈 河原木剛 三澤晶子 坂本仁 島田洋一 (2022)

思春期特発性側弯症 骨成熟 Risser4 ではカーブは進行しない？

第 55 回日本てんかん学会学術集会 9 月 仙台市

澤石由記夫 (2022)

ラモトリギンにバルプロ酸を追加投与する場合の用量調整について

第 76 回秋田県整形外科医会 10 月 オンライン開催 秋田市

小瀧優平 若林玲奈 三澤晶子 坂本仁 島田洋一 (2022)

Normal femoral condylar irregularities の 2 例

第 56 回日本側弯症学会 11 月 浦安市

若林玲奈 三澤晶子 木村竜太 工藤大輔 本郷道生 島田洋一 宮腰尚久 (2022)

思春期特発性側弯症における Risser4 症例の Cobb 角進行と関連因子の検討

講演・シンポジウムなど

令和4年度秋田県発達障害者支援事業「発達障害者基礎講座」6月 秋田市
澤石由記夫（2022）「発達障害と愛着障害」

きらり支援学校教職員・看護師勉強会 7月 秋田市
豊野美幸（2022）「学校における医療的ケア」

令和4年度秋田県肢体不自由病弱教育地区別研修会（県央）7月 ハイブリット開催 秋田市
坂本仁（2022）「医療からみた肢体不自由教育・病弱教育」

児童家庭支援センター開設に向けた講演会 8月 Web
澤石由記夫（2022）子どもの心の発達 ― 愛着関係と発達障害

令和4年度訪問看護実践力向上研修 8月 秋田市
豊野美幸（2022）医療的ケア児とその家族の理解

令和4年度秋田県作業療法士会発達部門研修会 8月 ハイブリット開催 秋田市
坂本仁（2022）「こどもの運動発達と手の機能」

2022年度保護者勉強会 8月 秋田市
本間高志（2022）「保護者勉強会歯科編」

令和4年度秋田県立医療療育センター児童発達支援センター保護者勉強会 9月 秋田市
澤石由記夫（2022）「共感し合えるコミュニティーを求めて」

秋田県議会議員勉強会 9月 秋田市
澤石由記夫（2022）「児童虐待防止や在宅重症児支援について」

第40回日本小児心身医学会 9月 Web
渡部泰弘（2022）大会長講演：診断基準に満たない「ASDの山のすそ野」の診断意義を巡って

日本てんかん協会秋田県支部 市民講座 10月 大仙市
澤石由記夫（2022）「てんかんの理解と対応」

TSC Web Seminar 私のTSC診療 Vol.2 10月 Web
澤石由記夫（2022）「結節性硬化症の理解と対応」

TSC Special Lecture 10月 Web
澤石由記夫（2022）「症例から学ぶ結節性硬化症の診療」

令和4年度医療的ケア児等支援者及びコーディネーター養成研修 10月 秋田市 WEB 開催
豊野美幸（2022）「医療 I」総論
坂本仁（2022）福祉 I 「医療的ケア児支援」

秋田市保健所・こころのケア相談セミナー 11月 Web
渡部泰弘（2022）子どものネット/ゲーム依存と発達障害

第20回医療的ケア研修セミナー シンポジウム 11月 WEB開催
豊野美幸（2022）療育センターが担う医療的ケア児者の支援

秋田市医師会 第41回園医の会 11月 秋田市 WEB開催
豊野美幸（2022）医療的ケア児の入園・入学 ～医療的ケア児支援センターの役割～

2022年度NST研究会 11月 秋田市
坂本知子（2022）「誤嚥防止術を行い再び経口摂取可能となった重症心身障害者の2例」

2022年度秋田県立医療療育センター児童発達支援センター保護者勉強会 11月 秋田市
坂本知子（2022）「新型コロナワクチンについて」

第56回日本側弯症学会 11月 浦安市
三澤晶子（2022） 秋田県における側弯症検診の現状と課題

2022年度秋田県乳幼児保育研究会 12月 秋田市
澤石由記夫（2022）「子どもの心の発達－愛着関係と発達障害」

第19回側弯症学会研修セミナー 2022年12月 オンライン開催
三澤晶子（2022） 側弯症 装具療法について
三澤晶子（2022） 秋田県における側弯症学校検診－これまでの取り組みと今後の展開－

仙北市母子保健関係者研修会 1月 仙北市
渡部泰弘（2023）発達障害についての基礎的知識

秋田県医師会 園児保健研修会 1月 秋田市 WEB開催
豊野美幸（2023）医療的ケア児の就園問題

秋田県総合教育センター特別研修会 2月 潟上市
渡部泰弘（2023）発達障害特性を持つ子に教育が出来る事

秋田大学教職大学院 第14回あきたの教師力高度化フォーラム 2月 秋田市
渡部泰弘（2023）発達障害とその周辺 －医療の現場から－

令和4年度秋田県発達障害地域支援者研修 3月 秋田市
渡部泰弘（2023）発達障害の理解と支援

令和4年度キッズナラティブ秋田県民公開講演会 パネルディスカッション 3月 秋田市
豊野美幸（2023）キッズナラティブ秋田取り組み報告

学会誌（審査のないもの）

渡部泰弘（2022）日常臨床に潜むトラウマ：発達障害 小児の精神と神経、62(1)、2022、53-55

渡部泰弘（2023）第40回学術集会講演記録 大会長講演 診断基準に満たない「ASDの山のすそ野」の診断意義を巡って 子どもの心とからだ、31(4)、515-9

II 診療部放射線部門

講演・講義など

秋田県診療放射線技師会中央支部ナイトセミナー 2022年10月 オンライン開催 秋田市
加藤洋子 医療療育施設における放射線部門の紹介

III 臨床心理部門

講演・シンポジウムなど

秋田県発達障害者支援センター 保護者向け発達障害基礎講座 6月 秋田市
津谷神奈 ペアレント・トレーニングについて

秋田幼稚園 子育て支援講座 8月 秋田市
荒川祐介 シェアしよう！子育ての悩みとコツ パパの会・ママの会

IV リハビリテーション部

学会・研究会発表

秋田県リハビリテーション研究会主催 秋田県リハビリテーション研究会
2022年10月15日（土）秋田市（オンライン）

渡辺暁子 羽澤優子 坂本仁

・痙性両側麻痺児型脳性麻痺児における小学校入学前後の図形模写能力について～VMI（視覚－運動統合発達検査）を用いて～

日本肢体不自由児協会主催 第67回全国肢体不自由児療育研究大会
2022年10月20日（木）～11月18日（金）鳥取市（オンデマンド）

渡辺暁子 羽澤優子 坂本仁

・痙性両側麻痺児型脳性麻痺児における小学校入学前後の図形模写能力について～VMI（視覚－運動統合発達検査）を用いて～

東北・北海道肢体不自由施設運営協議会主催
第 58 回東北・北海道肢体不自由児施設療育担当職員研修会

2022 年 9 月 8 日（金） 八戸市（オンライン）

福島優芳 志戸田徹 川上公代 羽澤優子 坂本 仁

・ダウン症児の 4 歳における 言語発達の特徴 - 運動発達をふまえて -

秋田県リハビリテーション研究会主催 秋田県リハビリテーション研究会

2022 年 10 月 15 日（土） 秋田市（オンライン）

福島優芳 志戸田徹 川上公代 羽澤優子 坂本 仁

・ダウン症児の 4 歳における 言語発達の特徴 - 運動発達をふまえて -

第 40 回東北理学療法学術大会

2022 年 9 月 11 日（日） オンライン

・片麻痺型脳性麻痺児における三輪車駆動獲得の傾向

佐々木美帆 川野辺有紀 山崎由香里 木元美沙子

佐藤理枝子 堀岡航 小船屋理子 仲村真哉 羽澤優子

木元稔 坂本仁 三澤晶子

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座

木元 稔

・脳性麻痺児における身長増加と腓腹筋の筋弾性率および足関節最大背屈角度との関係

仲村真哉 木元 稔 岡田恭司 川野辺有紀 坂本 仁

第 9 回日本小児理学療法学会学術大会

2022 年 11 月 12 日（土） 新潟市（オンライン）

・成長に伴う急激な身長増加が脳性麻痺児の腓腹筋の弾性率

および足関節背屈可動域に与える影響

仲村真哉 木元 稔 岡田恭司 川野辺有紀 三澤晶子 坂本 仁

講演・シンポジウムなど

秋田きらり支援学校 研修会 エリア専門家

2022 年 5 月 秋田市

川上公代

・食事指導の基礎基本

新潟医療福祉大学 講義 発達障害作業療法学

2022 年 5 月 新潟市（オンライン）

渡辺誠

・脳性麻痺児の作業療法

秋田大学 講義 発達障害学Ⅱ

2022 年 7 月 秋田市

渡辺誠

- ・脳性麻痺児の作業療法

秋田大学医学部保健学科理学療法学専攻（3年）講義 神経系障害理学療法学

2022年11月 秋田市（オンライン）

川野辺有紀

- ・医療的ケア児の理学療法

秋田県 秋田県立医療療育センター主催

秋田県医療的ケア児等支援者養成研修および医療的ケア児コーディネーター養成研修会

2022年10月 秋田市（オンライン）

川野辺有紀

- ・ライフステージにおける支援

秋田県立視覚支援学校 講義 理療科授業

2022年12月 秋田市

志戸田徹

- ・脳性麻痺のリハビリテーションについて

秋田県立視覚支援学校 講義 理療科授業

2022年12月 秋田市

堀岡航

脳性麻痺の各型の特徴について

秋田県立視覚支援学校 講義 理療科授業

2022年12月 秋田市

石田千尋

- ・その他の小児の疾患について

秋田県立視覚支援学校 講義 理療科授業

2022年12月 秋田市

近藤多恵

- ・リハビリテーション機器について

秋田きらり支援学校 研修会

2023年1月 秋田市

木元美沙子

- ・腰痛予防と安心の介助

通園部保護者勉強会

2022年12月8日（木）秋田市

小船屋理子

秋田県リハビリテーション研究会

2023年2月 秋田市（オンライン）

佐藤理枝子

- ・秋田でも障がい児者がスポーツできる環境を目指して

V 看護部

学会・研究会・シンポジウム発表

第 56 回東北・北海道肢体不自由児施設療育担当職員研修会 9 月 青森

堀井双葉、中田陽子、山崎園美

重症心身障害児病棟に入所している子どもの父親の思い (web 発表)

第 67 回全国肢体不自由児療育研究大会 10 月 岐阜

深浦隆寛、加藤さおり、進藤夏子

動ける医療的ケア児の看護の役割を考える～看護実践を振り返る語りから～ (web 発表)

10 月 18 日～11 月 18 日までのオンデマンド配信

講演・講義など

看護学校における講義 4 月～11 月まで 計 23 回 由利本荘市 (由利本荘看護学校)

母性看護学概論

進藤夏子 (講師)

看護学校における講義 R5 年 3 月 計 1 回 横手市 (県立衛生看護学院)

小児看護学概論「児童虐待」

進藤夏子 (講師)

看護学校における講義 R4 年 3 月 計 1 回 横手市 (県立衛生看護学院)

小児看護学援助論：重症心身障害児の看護

佐々木直子 (講師)

看護学校における講義 R4 年 11 月 計 1 回 秋田市 (中通高等看護学院)

小児看護援助論Ⅰ：外来における子どもと家族への看護

佐々木直子 (講師)

令和 4 年度秋田県医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修
8 月 秋田市

本人・家族の思いの理解Ⅲ：医療的ケア児と家族への在宅移行支援について

佐々木直子 (講師) (web 配信)

看護学校における講義 R4 年 11 月 計 1 回 秋田市 (中通高等看護学院)

小児看護援助論Ⅰ

佐藤夏美 (講師)

令和 4 年度 秋田県特別支援学校医療的ケア看護師研修会 R4 年 8 月 計 1 回

医療的ケア児の看護ケアの実際 (web 配信研修)

佐藤夏美、佐々木直子 (講師)

秋田県看護協会 介護福祉施設等看護実践力向上研修事業 R4 年 12 月～2 月計 3 回 秋田市

大村真利子（講師、アドバイザー）

令和 4 年度秋田県医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修
10 月 秋田市

ライフステージにおける支援Ⅱ

佐々木正吾（講師）（web 配信）

令和 4 年度秋田県介護職員等によるたん吸引等研修（第一号・第二号研修）6 月 計 1 回 秋田市
高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 秋田県社会福祉会館

佐々木正吾（講師）

看護大学における講義 7 月 計 2 コマ 秋田市（日本赤十字秋田看護大学）

成育看護学持論：医療的ケア児と家族の支援

佐々木正吾（講師）

看護学校における講義 11 月～12 月 計 5 回 秋田市（中通高等看護学院）

成人看護援助論Ⅱ：呼吸器

佐々木正吾（講師）

看護学校における講義 12 月 計 1 回 秋田市（中通高等看護学院）

小児看護援助論Ⅰ：終末期にある子どもと家族の看護

佐々木正吾（講師）

令和 4 年度訪問看護師養成講習会 7 月 秋田市（秋田県看護センター第 1 研修室）

呼吸管理を必要とする療養者の理解と看護

佐々木正吾（講師）

令和 4 年度訪問看護実践能力向上研修 R4 年 8 月、9 月計 2 回秋田市（秋田県総合保健センター）

「呼吸管理が必要な医療的ケア児の理解と看護ーフィジカルアセスメントー」 8 月

「呼吸管理が必要な医療的ケア児の理解と看護ー在宅人工呼吸器の管理ー」 9 月

佐々木正吾（講師）

令和 4 年度学校看護師研修会 R5 年 1 月 秋田市（秋田きらり支援学校自立活動室Ⅱ）

「医療的ケア児に対するスクイージング（排痰ケア）の方法について」

佐々木正吾（講師）

医療誌執筆

日総研出版 隔月刊誌 重症集中ケア R4 年 4・5 月号

ミニ特集 呼吸管理の最前線【後編】～知る，理解する，ケアにつなげる

NPPV による呼吸管理～どう実践する？」

佐々木正吾（執筆）

その他(ラジオ放送)

令和 4 年度 ABS ラジオ放送「みんなの健康」 R4 年 11 月 秋田市

テーマ：医療的ケア児とそのご家族、医療的ケア児支援センターの役割

佐々木正吾

VI 育成部

研究発表

第 67 回 全国肢体不自由児療育研究大会 10 月（岐阜市）（Web 発表）

押切晶穂

トイレでの排泄を目指して～

講師

医療的ケア児等支援者養成研修会及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修会
7 月（秋田市）（Web 配信）

田堰公美（講師）

遊び・保育について～

VII 総合相談・医療療育連携室（秋田県医療的ケア児支援センター『コラソン』）

講義

医療的ケア児等支援者養成研修会及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修会 10 月 WEB
小田内るり 福祉制度について

令和 4 年度秋田県特別支援学校医療的ケア看護師研修会 8 月 WEB

佐藤夏美、佐々木直子 医療的ケア児の看護ケアの実際

秋田赤十字乳児院職員研修 1 月 WEB

小田内るり 医療的ケア児童への支援について

令和 4 年度秋田県秋田きらり支援学校看護師研修会 1 月 秋田市

佐々木正吾、佐藤夏美 医療的ケア児に対するスクイージング（排痰ケア）の方法について

発達支援 BOX らじあば職員研修 11 月 WEB

豊野美幸 バッグバルブマスク・気管カニューレ事故抜去時の対応について

発達支援 BOX らじあば・児童発達支援らじわん職員研修 11 月 WEB

豊野美幸、佐々木正吾 人工呼吸器についての講習会

VIII 発達障害者支援部

講演・シンポジウムなど

秋田県警察本部留置管理課研修会 4 月 秋田市

荒川祐介 発達障害への理解

就労移行支援事業・基礎研修 4月 秋田市

石橋知子 発達障害の基本理解と関わり方～相談の視点から～

特別支援教育コーディネーター研修会 5月 秋田市

荒川祐介 保護者の相談・対応について

学研教室秋田研修会 6月 秋田市

荒川祐介 発達障害の基本的な理解と具体的な対応方法について

発達障害に関する PTA 研修会 7月 秋田市

石橋知子 「子どもが発達障害かもしれない？」と思ったら

子育てサポーター新規養成講習会 7月 大館市

荒川祐介 障害のある子の預かりについて

秋田県教職員組合女性部学習会 8月 秋田市

荒川祐介 支援の必要な子どもへの寄り添い方

下北手小中学校合同研修会 8月 秋田市

荒川祐介 適応困難な子どもとの理解と支援

本荘地区保護司会自主研修 9月 由利本荘市

荒川祐介 発達障害とは～発達障害とのコミュニケーションの取り方～

専門家・支援チーム研修会 9月 秋田市

荒川祐介 保護者支援について

特別支援教育校内研修会 9月 大館市

石橋知子 高校生の自己理解～相談の視点から～

自殺予防声かけボランティア養成講座 10月 由利本荘市

荒川祐介 生きづらさの理解と自殺予防

秋田県警察本部取り調べ技能専科 10月 秋田市

荒川祐介 (発達) 障害の理解と対応

県北地区高等学校特別支援隊研修会 11月 北秋田市

荒川祐介 教師だからできる支援と配慮を考える

横手市福祉事務所 横手市発達障害児者及び家族等支援事業 11月 横手市

荒川祐介 支援を必要とする子どもと保護者の理解と支援

由利本荘市障がい者支援協議会部会 11月 由利本荘市

荒川祐介 発達障害の理解と支援のあり方について

秋田市子ども未来センター相談員研修会 12月 秋田市
荒川祐介 支援を必要とする子どもと保護者の理解

県立体育館事務所 研修会 12月 秋田市
荒川祐介 (発達) 障害の理解

南外小学校 PTA 学校参観日講演会 12月 大仙市
平野和志 今日から試せる! 戦わない関わり方講座
～ペアレント・トレーニングの考え方を使って～

子どもの SOS の受け方研修 1月 小坂町
荒川祐介 生きづらさの理解と自殺予防

障害理解研修会 1月 秋田市
石橋知子 就労支援現場で活用できること～発達障害支援の視点から～

秋田県教職員組合学習会 1月 秋田市
荒川祐介 支援を必要とする子どもの多様性の理解

秋田県警察本部留置管理課 2月 秋田市
荒川祐介 (発達) 障害の理解と対応

秋田県公認心理師・臨床心理士協会福祉領域委員会研修会 2月 秋田市
平野和志 秋田県発達障害者支援センターの紹介と連携等のあり方について

大仙市乳幼児発達支援連絡会研修会 3月 大仙市
荒川祐介 支援を必要とする家族の早期発見・早期支援

IX 医療安全管理室

学会・研究会発表

第 17 回医療の質・安全学会学術集会 11月 神戸市
加藤洋子、佐々木百合子、小柳真智子
給食委託業者の変更によるインシデント発生において、医療安全管理室が協同した取り組み

X 医療機器・情報管理室

学会・研究会発表

第 32 回日本臨床工学会 2022 年 5 月 茨城県つくば市
成田恵太 CE が不在であった施設における輸液ポンプの更新について

講演・講義など

株式会社ジェイ・エム・エス社内講義 2022 年 5 月 東京都

成田恵太 当センターにおける各種ポンプの現状と今後期待すること

令和 4 年度秋田県医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修
2022 年 10 月 秋田市（オンライン）

成田恵太 本人・家族の思いの理解 IV「医療的ケア児と災害対策」

過去5年間の実績の推移

1 診療別外来受診者数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小児科	R4	749	773	826	834	929	781	868	819	789	776	743	969	9,856
	R3	810	716	903	873	918	798	832	844	849	795	719	886	9,943
	R2	744	653	814	863	819	802	900	756	862	792	701	987	9,693
	H31	790	712	755	852	858	785	846	798	807	823	664	842	9,532
	H30	729	736	729	832	874	751	843	820	744	738	721	832	9,349
メンタルヘルス 外来	R4	265	250	312	284	287	245	282	258	284	258	263	308	3,296
	R3	277	258	302	293	273	289	302	292	304	266	259	297	3,412
	R2	267	253	304	309	294	281	282	276	272	255	240	300	3,333
	H31	248	255	273	286	236	253	252	272	264	247	260	263	3,109
	H30	292	323	328	271	245	244	255	280	254	238	236	266	3,232
整形外科	R4	345	277	337	352	395	349	330	309	341	314	291	421	4,061
	R3	342	291	326	319	370	314	331	309	387	306	247	451	3,993
	R2	359	269	304	372	376	350	321	278	357	312	257	448	4,003
	H31	378	328	299	387	416	299	353	285	373	343	273	405	4,139
	H30	341	392	347	347	436	363	314	330	377	363	256	360	4,226
リハビリ テーション科	R4	995	1,024	1,158	999	1,093	1,061	1,019	991	1,020	987	973	1,100	12,420
	R3	1,243	1,075	1,313	1,081	1,000	661	1,114	1,162	1,166	962	820	1,086	12,683
	R2	1,092	835	1,322	1,168	1,019	1,123	1,200	1,008	985	816	1,080	1,404	13,052
	H31	1,275	1,166	1,127	1,246	1,211	1,112	1,174	1,170	1,096	1,143	1,108	1,333	14,161
	H30	1,194	1,271	1,282	1,292	1,305	1,062	1,364	1,210	1,220	1,131	1,196	1,165	14,692
精神科	R4	61	71	80	67	82	88	24	19	32	20	19	27	590
	R3	75	60	76	71	65	71	75	76	77	73	67	83	869
	R2	67	67	66	66	64	58	84	68	70	71	69	89	839
	H31	69	64	69	72	64	62	75	76	70	69	65	87	842
	H30	77	90	77	85	78	73	84	81	75	68	74	76	938
歯科	R4	121	115	134	145	122	114	123	126	106	111	96	130	1,443
	R3	115	95	139	152	118	113	140	126	127	113	92	140	1,470
	R2	67	49	83	121	106	123	128	113	133	106	87	139	1,255
	H31	95	110	103	106	91	84	89	81	98	85	68	88	1,098
	H30	90	102	115	130	131	100	113	119	99	109	106	124	1,338
耳鼻咽喉科 ・眼科	R4	44	30	36	48	45	45	36	30	35	35	37	57	478
	R3	52	22	41	47	31	36	56	26	52	39	26	39	467
	R2	24	39	29	41	44	41	31	33	33	32	30	43	420
	H31	30	36	47	38	48	19	24	23	19	35	31	25	375
	H30	36	22	39	31	36	31	32	29	30	33	27	40	386
その他	R4	35	34	30	38	30	47	37	32	34	39	30	51	437
	R3	25	32	28	38	32	38	29	28	30	30	26	46	382
	R2	38	28	27	36	25	41	44	34	33	31	26	43	406
	H31	33	36	32	41	31	54	22	50	45	26	28	58	456
	H30	26	38	29	34	31	31	27	45	32	37	29	39	398
合 計	R4	2,615	2,574	2,913	2,767	2,983	2,730	2,719	2,584	2,641	2,540	2,452	3,063	32,581
	R3	2,939	2,549	3,128	2,874	2,807	2,320	2,879	2,863	2,992	2,584	2,256	3,028	33,219
	R2	2,658	2,193	2,949	2,976	2,747	2,819	2,990	2,566	2,745	2,415	2,490	3,453	33,001
	H31	2,918	2,707	2,705	3,028	2,955	2,668	2,835	2,755	2,772	2,771	2,497	3,101	33,712
	H30	2,785	2,974	2,946	3,022	3,136	2,655	3,032	2,914	2,831	2,717	2,645	2,902	34,559
※ 比較(R4/R3)		89.0%	101.0%	93.1%	96.3%	106.3%	117.7%	94.4%	90.3%	88.3%	98.3%	108.7%	101.2%	98.1%

※精神科常勤医が9月末で退職

2 外来新患内訳数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神・ 神経疾患・ 発達障害 (遅滞)	R4	47	33	33	35	38	32	50	41	38	35	41	33	456
	R3	38	28	27	25	33	32	44	39	34	23	36	25	384
	R2	42	29	34	27	26	40	44	29	40	25	35	25	396
	H31	34	31	40	38	24	30	41	44	39	31	29	32	413
	H30	33	46	38	27	30	25	35	33	30	36	37	35	405
整形関係	R4	14	10	12	11	16	9	15	8	13	18	10	6	142
	R3	14	7	11	7	19	9	18	14	16	8	10	11	144
	R2	10	3	15	8	7	13	13	11	10	10	8	5	113
	H31	14	8	11	5	17	7	16	15	9	3	6	10	121
	H30	11	12	18	11	19	10	14	14	8	11	11	13	152
脳性麻痺・ その他の麻痺	R4	1											2	3
	R3			1	1		1	3				2		8
	R2			1	1			2	1			1		6
	H31	1		1	1	1	2	1		2		2		11
	H30	2	2		1		2				1	2		10
眼科・ 耳鼻咽喉科 関係	R4						1	1				1		3
	R3	1	1			2	1	1					1	7
	R2	1							1	1	2	1		6
	H31					1				1	2	1		5
	H30	1						1	1		1			4
心身症	R4							1	1					2
	R3			1										1
	R2													
	H31							1						1
	H30		1						1					2
てんかん	R4	2				1						1		4
	R3	1	1		1	2	1	1		1			1	9
	R2								1					1
	H31	1	1	1	1	3	2			1				10
	H30		1					2				1	1	5
筋疾患	R4												1	1
	R3													
	R2		1				1							2
	H31													
	H30						1			1				2
染色体異常	R4	1	1	2	1	1			2	3	2			13
	R3	2	1	1	3		3		2	3	2		1	18
	R2	3	1	2	1	1	3	1	2		4			18
	H31	1		2	2	2		1	1	2	2			13
	H30	5	4	2	2		1	2	3	1			1	21
歯科関係	R4	1	1	2	1		1	2	5	1	3	1		18
	R3		2	1		1			2			3		9
	R2							3		1		1	2	7
	H31	1		2	1	1		1	1			1		8
	H30	1		1	2	2		2	1		1	2	2	14
その他	R4		3	1		2		2		4	1	2	1	16
	R3	1	1	1		2	2	1		2		1	2	13
	R2						1	2	1					4
	H31	3	3				1	1	1	2	2	1	1	15
	H30	1	2	1		1		1			2	2	2	12
合 計	R4	66	48	50	48	58	43	71	57	59	59	56	43	658
	R3	57	41	43	37	59	49	68	57	56	33	52	41	593
	R2	56	34	52	37	34	58	65	46	52	41	46	32	553
	H31	55	43	57	48	49	42	62	62	56	40	40	43	597
	H30	54	68	60	43	52	39	57	53	40	52	55	54	627
※ 比較(R4/R3)		115.8%	117.1%	116.3%	129.7%	98.3%	87.8%	104.4%	100.0%	105.4%	178.8%	107.7%	104.9%	111.0%

3 延入院患者数

(単位:人、日)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
杉の子病棟 (60床)	実人数	R4	39	29	40	34	36	35	31	29	29	34	37	43	416	
		R3	33	24	33	43	46	29	34	33	31	43	33	46	428	
		R2	31	25	33	45	49	37	36	48	42	41	31	42	460	
		H31	33	38	47	54	55	38	43	45	39	39	45	46	522	
		H30	41	41	47	55	58	41	48	47	43	41	45	54	561	
	延日数	R4	710	666	705	703	725	671	657	642	700	708	779	926	8,592	
		R3	648	600	641	776	693	637	710	655	715	719	653	863	8,310	
		R2	598	552	684	816	793	705	822	849	848	746	613	753	8,779	
		H31	700	736	874	872	800	730	789	794	837	749	891	812	9,584	
		H30	859	900	894	927	927	842	897	838	824	876	732	936	10,452	
契 約 入 所	実人数	R4	17	16	18	17	16	17	16	16	16	20	23	22	214	
		R3	15	14	14	15	15	16	15	16	16	17	17	18	188	
		R2	14	14	15	18	19	19	22	21	19	19	17	18	215	
		H31	16	19	17	18	16	15	17	17	17	20	19	17	208	
		H30	21	24	22	20	22	18	19	20	19	20	17	21	243	
	延日数	R4	482	471	504	506	496	507	496	480	496	554	605	632	6,229	
		R3	425	403	415	423	429	478	457	451	489	496	471	509	5,446	
		R2	404	396	438	497	509	537	639	626	556	550	476	495	6,123	
		H31	475	505	510	493	410	450	508	496	497	545	520	452	5,861	
		H30	621	668	596	590	527	540	567	554	545	554	476	548	6,786	
	母 子 入 院	実人数	R4	9	6	13	9	9	10	12	9	7	7	9	12	112
			R3	10	6	13	16	16	8	10	10	8	13	10	14	134
			R2	9	5	9	13	16	10	9	18	11	6	5	11	122
			H31	9	9	18	21	19	13	15	17	12	7	12	15	167
			H30	12	7	15	22	20	14	15	16	14	11	16	19	181
		延日数	R4	88	86	82	78	58	66	87	64	83	67	79	150	988
			R3	92	85	97	121	106	57	121	72	88	66	72	123	1,100
			R2	61	29	78	126	107	70	99	140	101	60	37	104	1,012
			H31	96	90	173	182	193	130	118	173	142	55	138	133	1,623
			H30	129	57	166	191	198	167	107	156	125	158	114	200	1,768
一 般 入 院	実人数	R4	11	5	7	6	9	6	1	2	4	5	3	7	66	
		R3	5	1	3	9	12	2	6	4	4	10	3	11	70	
		R2	6	3	6	12	12	6	3	7	10	14	7	10	96	
		H31	5	7	9	12	17	7	8	8	7	9	10	11	110	
		H30	5	7	7	10	13	6	11	8	7	7	9	11	101	
	延日数	R4	80	47	59	57	109	38	12	38	59	25	39	82	645	
		R3	41	19	39	139	65	12	39	42	45	64	27	138	670	
		R2	73	59	78	131	115	38	22	23	129	74	44	68	854	
		H31	39	48	101	104	104	60	70	35	105	56	142	141	1,005	
		H30	38	82	42	53	109	45	130	38	61	71	58	114	841	
措 置 入 所	実人数	R4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
		R3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
		R2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	27	
		H31	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	37	
		H30	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
	延日数	R4	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	
		R3	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	83	93	1,094	
		R2	60	68	90	62	62	60	62	60	62	62	56	86	790	
		H31	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	91	86	1,095	
		H30	71	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	74	1,057	
病床利用率 (杉の子病棟)	単月	R4	39.4%	35.8%	39.2%	37.8%	39.0%	37.3%	35.3%	35.7%	37.6%	38.1%	46.4%	49.8%		
		R3	36.0%	32.3%	35.6%	41.7%	37.3%	35.4%	38.2%	36.4%	38.4%	38.7%	38.9%	46.4%		
		R2	33.2%	29.7%	38.0%	43.9%	42.6%	39.2%	44.2%	47.2%	45.6%	40.1%	36.5%	40.5%		
		H31	38.9%	39.6%	48.6%	46.9%	43.0%	40.6%	42.4%	44.1%	45.0%	40.3%	51.2%	43.7%		
		H30	47.7%	48.4%	49.7%	49.8%	49.8%	46.8%	48.2%	46.6%	44.3%	47.1%	43.6%	50.3%		
	年度累計	R4	39.4%	37.6%	38.1%	38.0%	38.2%	38.1%	37.7%	37.4%	37.4%	37.5%	38.3%	39.2%		
		R3	36.0%	34.1%	34.6%	36.4%	36.6%	36.4%	36.6%	36.6%	36.8%	37.0%	37.2%	37.9%		
		R2	33.2%	31.4%	33.6%	36.2%	37.5%	37.8%	38.7%	39.7%	40.4%	40.4%	40.0%	40.1%		
		H31	38.9%	39.2%	42.3%	43.5%	43.4%	42.9%	42.8%	43.0%	43.2%	42.9%	43.6%	43.6%		
		H30	47.7%	48.1%	48.6%	48.9%	49.1%	48.7%	48.6%	48.4%	47.9%	47.8%	47.5%	47.7%		

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
ひばり病棟 (40床)	実人数	R4	23	23	25	24	24	24	23	24	24	23	24	24	285	
		R3	23	23	23	25	24	22	24	25	23	23	23	23	281	
		R2	25	25	24	23	23	24	22	23	22	23	22	24	280	
		H31	22	22	22	22	22	21	21	22	21	24	25	25	269	
		H30	25	23	23	23	23	23	22	22	21	22	22	23	272	
	延日数	R4	690	713	700	741	705	707	713	710	736	713	657	736	8,521	
		R3	690	699	634	662	719	639	733	719	713	713	644	713	8,278	
		R2	680	667	640	663	649	665	682	661	682	671	616	696	7,972	
		H31	660	652	657	676	638	626	651	625	651	665	643	704	7,848	
		H30	677	682	672	673	692	664	682	649	651	638	602	680	7,962	
	契約入所 （重 心）	実人数	R4	20	20	22	21	21	21	20	21	21	20	21	21	249
			R3	18	18	18	21	20	19	21	22	20	20	20	20	237
			R2	20	20	20	19	19	19	17	17	17	18	17	19	222
			H31	18	18	18	18	18	18	18	19	18	21	22	22	228
			H30	18	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	19	209
		延日数	R4	600	620	610	648	612	617	620	620	643	620	573	643	7,426
			R3	540	544	507	538	606	549	640	629	620	620	560	620	6,973
			R2	559	543	520	539	525	539	527	510	527	516	476	541	6,322
			H31	540	528	537	552	532	536	558	535	558	572	560	617	6,625
			H30	467	496	492	487	506	454	527	499	527	514	490	556	6,015
	契約入所 （療 養）	実人数	R4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
			R3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	20
			R2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
			H31	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
			H30	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	38
		延日数	R4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
			R3	90	93	67	62	51	30	31	30	31	31	28	31	575
			R2	60	62	60	62	62	60	93	90	93	93	84	93	912
			H31	60	62	60	62	44	30	31	30	31	31	29	31	501
			H30	120	124	120	124	124	120	93	90	62	62	56	62	1,157
措置入所	実人数	R4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
		R3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
		R2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25	
		H31	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
		H30	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25	
	延日数	R4	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	
		R3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	
		R2	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	
		H31	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	54	56	722	
		H30	90	62	60	62	62	90	62	60	62	62	56	62	790	
一般入院	実人数	R4														
		R3														
		R2	1					1		1					3	
		H31														
		H30														
	延日数	R4														
		R3														
		R2	1					6		1					8	
		H31														
		H30														
病床利用率 (ひばり病棟)	単月	R4	57.5%	57.5%	58.3%	59.8%	56.9%	58.9%	57.5%	59.2%	59.4%	57.5%	58.7%	59.4%		
		R3	57.5%	56.4%	52.8%	53.4%	58.0%	53.3%	59.1%	59.9%	57.5%	57.5%	57.5%	57.5%		
		R2	56.7%	53.8%	53.3%	53.5%	52.3%	55.4%	55.0%	55.1%	55.0%	54.1%	55.0%	56.1%		
		H31	55.0%	52.6%	54.8%	54.5%	51.5%	52.2%	52.5%	52.1%	52.5%	53.6%	55.4%	56.8%		
		H30	56.4%	55.0%	56.0%	54.3%	55.8%	55.3%	55.0%	54.1%	52.5%	51.5%	53.8%	54.8%		
	年度累計	R4	57.5%	57.5%	57.8%	58.3%	58.0%	58.1%	58.0%	58.2%	58.3%	58.2%	58.3%	58.4%		
		R3	57.5%	56.9%	55.6%	55.0%	55.6%	55.2%	55.8%	56.3%	56.4%	56.5%	56.6%	56.7%		
		R2	56.7%	55.2%	54.6%	54.3%	53.9%	54.2%	54.3%	54.4%	54.4%	54.4%	54.5%	54.6%		
		H31	55.0%	53.8%	54.1%	54.2%	53.6%	53.4%	53.3%	53.1%	53.1%	53.1%	53.3%	53.6%		
		H30	56.4%	55.7%	55.8%	55.4%	55.5%	55.5%	55.4%	55.2%	54.9%	54.6%	54.5%	54.5%		

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
病棟計	実人数	R4	62	52	65	58	60	59	54	53	53	57	61	67	701
		R3	56	47	56	68	70	51	58	58	54	66	56	69	709
		R2	56	50	57	68	72	61	58	71	64	64	53	66	740
		H31	55	60	69	76	77	59	64	67	60	63	70	71	791
		H30	66	64	70	78	81	64	70	69	64	63	67	77	833
	延日数	R4	1,400	1,379	1,405	1,444	1,430	1,378	1,370	1,352	1,436	1,421	1,436	1,662	17,113
		R3	1,338	1,299	1,275	1,438	1,412	1,276	1,443	1,374	1,428	1,432	1,297	1,576	16,588
		R2	1,278	1,219	1,324	1,479	1,442	1,370	1,504	1,510	1,530	1,417	1,229	1,449	16,751
		H31	1,360	1,388	1,531	1,548	1,438	1,356	1,440	1,419	1,488	1,414	1,534	1,516	17,432
		H30	1,536	1,582	1,566	1,600	1,619	1,506	1,579	1,487	1,475	1,514	1,334	1,616	18,414
病床利用率 (医療入院合計)	単月	R4	46.7%	44.5%	46.8%	46.6%	46.1%	45.9%	44.2%	45.1%	46.3%	45.8%	51.3%	53.6%	
		R3	44.6%	41.9%	42.5%	46.4%	45.5%	42.5%	46.5%	45.8%	46.1%	46.2%	44.7%	50.8%	
		R2	42.6%	39.3%	44.1%	47.7%	46.5%	45.7%	48.5%	50.3%	49.4%	45.7%	42.4%	46.7%	
		H31	45.3%	44.8%	51.0%	49.9%	46.4%	45.2%	46.5%	47.3%	48.0%	45.6%	54.8%	48.9%	
		H30	51.2%	51.0%	52.2%	51.6%	52.2%	50.2%	50.9%	49.6%	47.6%	48.8%	47.6%	52.1%	
	年度累計	R4	46.7%	45.6%	46.0%	46.1%	46.1%	46.1%	45.8%	45.7%	45.8%	45.8%	46.3%	46.9%	
		R3	44.6%	43.2%	43.0%	43.9%	44.2%	43.9%	44.3%	44.5%	44.7%	44.8%	44.9%	45.4%	
		R2	42.6%	40.9%	42.0%	43.4%	44.1%	44.3%	44.9%	45.6%	46.0%	46.0%	45.7%	45.8%	
		H31	45.3%	45.0%	47.0%	47.8%	47.5%	47.1%	47.0%	47.0%	47.2%	47.0%	47.7%	47.8%	
		H30	51.2%	51.1%	51.5%	51.5%	51.7%	51.4%	51.3%	51.1%	50.7%	50.5%	50.3%	50.4%	

※病床利用率(年度)＝延入院患者数／延病床数(＝病床数×年度累計日数)×100

4 入院患者内訳

(単位:人、%)

	H30		H31		R2		R3		R4	
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
脳性麻痺	103	32.8	88	38.3	86	47.5	85	47.5	68	60.2
脳その他(脳奇形等)	11	3.5	13	5.7	11	6.1	14	7.8	7	6.2
二分脊椎	1	0.3	3	1.3	4	2.2	2	1.1	1	0.9
進行性筋神経疾患	21	6.7	18	7.8	17	9.4	15	8.4	7	6.2
骨系統疾患	9	2.9	7	3.0	5	2.8	5	2.8	3	2.7
その他整形(脱臼等)	11	3.5	19	8.3	14	7.7	9	5.0	12	10.6
外傷										
その他	74	23.6	55	23.9	44	24.3	49	27.4	15	13.3
計	314	100.0	230	100.0	181	100.0	179	100.0	113	100.0

※H29からR3については年間累計であり、R4は当月までの累計である。

5 施設入所利用状況

(単位:人、日)

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
杉の子病棟	肢体不自由児	利用人数	R4	12	11	13	12	11	12	11	11	11	15	17	17	153
			R3	13	12	12	12	13	14	14	13	13	14	14	14	158
			R2	12	10	12	14	14	15	19	18	16	15	14	15	174
			H31	14	16	15	16	14	13	15	15	15	16	17	14	180
			H30	19	21	21	18	20	16	17	18	17	17	15	16	215
		サービス日数	R4	334	311	346	327	341	351	340	327	323	378	460	447	4,285
			R3	331	306	331	328	347	418	405	357	342	361	387	403	4,316
			R2	335	310	328	379	352	409	519	479	390	347	327	367	4,542
			H31	382	384	418	388	309	355	381	394	387	394	432	361	4,585
			H30	492	481	473	401	425	439	464	459	423	410	400	434	5,301
ひばり病棟	重症心身障害児	利用人数	R4	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	310
			R3	20	20	20	21	22	22	23	23	23	23	23	24	264
			R2	21	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	21	247
			H31	20	20	20	20	20	20	20	21	20	21	22	22	246
			H30	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	20	21	231
		サービス日数	R4	750	775	761	803	767	766	774	770	795	768	713	795	9,237
			R3	595	603	566	608	664	638	702	682	706	708	634	744	7,850
			R2	618	627	609	629	615	625	617	595	611	611	555	624	7,336
			H31	595	590	595	613	590	595	618	589	612	622	603	674	7,296
			H30	535	583	551	549	565	551	589	569	587	581	546	625	6,831
	療養介護	利用人数	R4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
			R3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	20
			R2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
			H31	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
			H30	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	38
		サービス日数	R4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
			R3	90	93	67	62	51	30	31	30	31	31	28	31	575
			R2	60	62	60	62	62	60	93	90	93	93	84	93	912
			H31	60	62	60	62	43	30	31	30	31	31	29	31	500
			H30	120	124	120	124	124	113	93	88	62	62	56	62	1,148
	ひばり病棟計	利用人数	R4	26	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	322
			R3	23	23	23	23	24	23	24	24	24	24	24	25	284
			R2	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	24	277
			H31	22	22	22	22	22	21	21	22	21	22	23	23	263
			H30	23	23	23	23	23	23	22	22	21	21	22	23	269
		サービス日数	R4	780	806	791	834	798	796	805	800	826	799	741	826	9,602
			R3	685	696	633	670	715	668	733	712	737	739	662	775	8,425
			R2	678	689	669	691	677	685	710	685	704	704	639	717	8,248
			H31	655	652	655	675	633	625	649	619	643	653	632	705	7,796
			H30	655	707	671	673	689	664	682	657	649	643	602	687	7,979

※児童福祉法に基づく障害児入所給付費、障害者総合支援法に基づく介護給付費の支給対象となる障害児・者の月毎の実利用人数及びサービスを提供をした日数。

※サービス日数は契約を締結した利用者へサービスを提供した日数(外泊を除く)であることから、延入院日数とは異なる。

※平成24年度から重症心身障害児で18歳以上の者は療養介護に移行。

6 通所施設利用状況

(単位:人、日)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療型児童発達支援センター (旧肢体通所)	利用人数	R4	7	7	8	7	7	9	8	10	8	7	9	10	97
		R3	7	8	7	7	10	8	8	9	9	8	4	9	94
		R2	2	5	5	4	6	7	7	8	7	8	8	8	75
		H31	8	8	7	6	7	8	7	7	9	8	6	9	90
		H30	10	10	13	14	13	15	14	11	16	13	13	14	156
	サービス日数	R4	20	19	24	19	21	23	17	18	16	15	17	14	223
		R3	22	19	21	19	25	18	27	31	26	24	9	20	261
		R2	6	18	18	18	21	26	30	38	24	34	28	32	293
		H31	29	29	34	33	31	37	34	41	26	35	33	39	401
		H30	37	47	56	50	51	64	67	60	59	50	68	63	672
児童発達支援センター (旧知的通所)	利用人数	R4	54	63	65	62	56	59	65	64	59	65	65	71	748
		R3	55	60	65	64	63	58	69	71	70	63	58	69	765
		R2	44	45	55	61	60	64	62	63	65	64	65	70	718
		H31	57	62	68	68	64	66	67	73	72	70	73	72	812
		H30	66	66	72	72	76	74	73	78	74	70	68	74	863
	サービス日数	R4	128	144	203	209	160	168	160	164	135	164	156	172	1,963
		R3	189	227	288	257	258	167	278	280	215	202	116	135	2,612
		R2	114	158	201	208	176	242	210	198	163	196	186	235	2,287
		H31	201	259	282	303	249	260	276	282	300	316	265	313	3,306
		H30	263	326	325	362	341	304	343	327	305	260	257	262	3,675

※児童福祉法に基づく障害児通所給付費の支給対象となる未就学児童の月毎の実利用人数及びサービスを提供した日数である。

7 保育所等訪問状況

(単位:人、日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	R4	3	6	7	3	3	1	7	4	3	2	5	3	47
	R3	3	4	8	4	4	2	6	7	1	6	5		50
	R2			4	2	3	5	5	4	3		5		31
サービス日数	R4	3	6	7	3	3	1	7	4	3	2	5	3	47
	R3	3	4	8	4	4	2	6	7	1	6	5		50
	R2			4	2	3	5	5	4	3		5		31

8 短期入所事業利用状況

(単位:人、日)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	R4	1	1	3	9				1	1	1	2	1		20
	R3	15	21	19	18	15	1			11	12	12	1		125
	R2	9	9	13	14	16	17	18	20	20	15	12	16	15	174
	H31	23	23	20	21	26	22	23	24	24	19	18	19	11	249
	H30	25	24	27	23	21	26	25	21	21	19	15	13	21	260
サービス日数	R4	4	16	15	26				2	9	6	9	4		91
	R3	58	84	75	77	43	2			44	39	47	10		479
	R2	34	29	51	63	63	57	70	64	64	64	57	60	50	662
	H31	87	92	71	78	95	73	75	103	88	88	78	64	39	943
	H30	85	93	102	74	84	105	89	75	75	73	62	58	71	971

※障害者総合支援法に基づき、障害児・者の宿泊及び重心障害児の日帰りの預かりサービスを行っている事業であり、月毎の利用人数及びサービス提供した日数。

9 生活介護事業利用状況

(単位:人、日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	R4	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	296
	R3	25	25	25	25	24	25	25	24	24	23	22	23	290
	R2	24	25	26	27	27	27	27	27	25	25	24	25	309
	H31	28	28	28	28	27	27	27	26	25	26	25	24	319
	H30	28	28	28	27	27	27	26	26	26	26	25	25	319
サービス日数	R4	135	124	149	136	139	141	132	124	124	106	117	143	1,570
	R3	141	122	148	128	140	130	143	128	127	111	94	112	1,524
	R2	113	87	163	150	139	144	155	129	138	107	105	154	1,584
	H31	164	155	170	182	165	149	161	140	117	126	112	123	1,764
	H30	158	176	182	179	187	148	162	164	157	143	129	139	1,924

※障害者総合支援法に基づき、常時介護を要する障害者の昼間におけるサービスを行っている事業であり、月毎の利用人数及びサービス提供した日数。

※平成23年度までは国の要綱に基づく重症心身障害児(者)通園事業A型として実施。

10 日中一時支援事業利用状況

(単位:人、日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	R4				1									1
	R3	2	1	2	2	4			1	2	2			16
	R2	2		2	2	3	1			1	2		1	14
	H31	3	1	1	1	3	1	2	1	1	1		2	17
	H30	3	3	1	2	2	1		1	2	3	2	2	22
サービス日数	R4				1									1
	R3	3	3	3	2	5			1	4	6			27
	R2	2		4	2	6	1			1	2		1	19
	H31	5	1	1	2	8	1	2	1	1	1		4	27
	H30	4	4	1	4	4	1		1	3	4	2	2	30

※障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業のひとつとして、重心障害児以外の障害児の日帰りによる預かりのサービスを行っている事業であり、月毎の利用人数及びサービスを提供した日数。(市町村からの委託事業)

※参考

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病床利用率 (福祉サービス含む)	単月	R4	46.8%	45.0%	47.3%	47.5%	46.1%	45.9%	44.3%	45.4%	46.5%	46.1%	49.7%	53.6%
		R3	46.6%	44.7%	45.1%	48.9%	47.1%	42.6%	46.5%	47.3%	47.5%	47.9%	46.7%	50.8%
		R2	43.8%	40.3%	46.0%	49.8%	48.7%	47.6%	50.8%	52.5%	51.5%	47.6%	46.0%	48.4%
		H31	48.4%	47.8%	53.4%	52.5%	49.7%	47.7%	48.9%	50.8%	50.9%	48.2%	57.1%	50.3%
		H30	54.2%	54.2%	55.6%	54.1%	55.1%	53.7%	53.8%	52.1%	50.0%	51.0%	48.1%	54.5%
	年度累計	R4	46.8%	45.9%	46.4%	46.6%	46.5%	46.4%	46.1%	46.0%	46.1%	46.1%	46.4%	47.0%
		R3	46.6%	45.7%	45.5%	46.4%	46.5%	45.9%	46.0%	46.1%	46.3%	46.4%	46.5%	46.8%
		R2	43.8%	42.0%	43.3%	45.0%	45.7%	46.0%	46.7%	47.4%	47.9%	47.9%	47.7%	47.8%
		H31	48.4%	48.1%	49.8%	50.5%	50.4%	49.9%	49.8%	49.9%	50.0%	49.8%	50.4%	50.4%
		H30	54.2%	54.2%	54.6%	54.5%	54.6%	54.5%	54.4%	54.1%	53.6%	53.4%	52.9%	53.0%

11 発達障害者支援センターふきのとう秋田相談支援状況

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立支援相談	R4	59	68	69	60	52	61	54	44	54	52	42	53	668
	R3	70	81	85	77	78	72	69	67	68	56	51	76	850
	R2	52	53	60	45	48	61	67	55	52	40	41	74	648
	H31	57	45	44	62	40	55	52	40	37	44	47	49	572
	H30	56	66	51	50	58	33	61	43	40	42	46	52	598
就労相談	R4	44	44	47	42	31	33	47	38	31	31	29	42	459
	R3	36	40	65	42	53	56	59	75	60	41	59	57	643
	R2	46	39	40	46	48	44	63	34	36	43	42	43	524
	H31	51	60	50	63	41	38	52	28	26	33	38	37	517
	H30	51	62	65	56	54	51	69	68	62	64	37	55	694
教育相談	R4	15	25	18	10	14	18	17	18	12	16	17	21	201
	R3	17	22	21	25	26	33	35	34	28	13	14	19	287
	R2	10	22	24	29	29	21	25	27	15	23	19	19	263
	H31	19	16	14	27	19	11	7	13	11	18	17	20	192
	H30	36	27	39	25	30	36	35	21	27	13	12	25	326
家庭生活相談	R4	55	73	80	73	55	63	54	54	57	58	49	64	735
	R3	71	62	54	62	65	80	104	86	76	68	69	83	880
	R2	38	32	66	48	38	49	57	48	51	49	42	66	584
	H31	28	22	22	25	37	39	59	58	42	39	50	53	474
	H30	23	26	24	30	25	22	23	23	18	14	19	23	270
健康医療相談	R4	8	7	14	10	11	5	10	13	9	6	2	5	100
	R3	12	13	16	13	8	14	3	7	8	4	3	5	106
	R2	7	11	20	7	9	9	11	8	9	12	6	13	122
	H31	6	10	4	5	4		2	6	7	8	11	13	76
	H30	10	10	11	10	10	4	12	15	12	4	9	10	117
その他	R4	36	26	28	15	9	11	11	12	10	7	14	12	191
	R3	57	54	51	49	70	61	24	18	16	14	8	34	456
	R2	45	21	19	25	22	25	25	15	13	31	34	74	349
	H31	14	39	48	66	43	37	39	42	29	36	23	30	446
	H30	30	28	40	37	37	30	34	44	29	23	30	28	390
合計	R4	217	243	256	210	172	191	193	179	173	170	153	197	2,354
	R3	263	272	292	268	300	316	294	287	256	196	204	274	3,222
	R2	198	178	229	200	194	209	248	187	176	198	184	289	2,490
	H31	175	192	182	248	184	180	211	187	152	178	186	202	2,277
	H30	206	219	230	208	214	176	234	214	188	160	153	193	2,395
※ 比較(R4/R3)		82.5%	89.3%	87.7%	78.4%	57.3%	60.4%	65.6%	62.4%	67.6%	86.7%	75.0%	71.9%	73.1%

※秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田は、発達障害者及びその家族に対し地域の支援機関との連携により支援を行う相談支援、必要に応じて医師との連携による指導を行う発達支援、同じく必要に応じて労働機関との連携により支援を行う就労支援を事業として実施している。

12 総合相談・医療療育連携室

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院・入所相談	R4	52	49	88	66	27	40	39	40	32	35	51	59	578
	R3	118	110	164	158	140	91	108	142	130	91	64	49	1,365
	R2	133	87	165	137	93	117	146	102	114	102	100	150	1,446
	H31	125	109	116	141	138	108	105	110	107	121	127	130	1,437
	H30	166	181	178	151	169	110	138	123	88	82	123	116	1,625
療育相談	R4	80	92	115	96	83	72	94	126	132	144	129	118	1,281
	R3	110	117	106	139	90	96	108	129	156	112	125	152	1,440
	R2	79	62	67	50	66	100	95	81	110	122	128	119	1,079
	H31	95	78	76	88	74	71	51	53	76	81	117	88	948
	H30	86	112	92	121	97	93	104	106	113	86	106	120	1,236
経済問題相談	R4	40	41	41	58	37	53	45	50	33	33	34	73	538
	R3	53	56	82	82	40	57	63	59	52	38	43	58	683
	R2	46	75	101	49	39	69	45	19	25	49	24	48	589
	H31	49	40	53	49	39	45	40	43	33	38	36	38	503
	H30	74	103	64	73	67	65	67	93	90	54	70	59	879
教育相談	R4	5	8	10	14	20	11	11	8	5	6	14	6	118
	R3	8	10	16	9	7	19	29	10	2	5	2	19	136
	R2	3	8	7	12	11	14	8	18	13	5	3	2	104
	H31	11	18	3	9	1	16	14	5	3	5	2	2	89
	H30	4	25	16	19	12	4	6	3	2	1	10	8	110
受診援助	R4	17	16	37	33	23	62	44	40	36	35	37	60	440
	R3	28	26	48	26	55	40	33	35	47	39	26	42	445
	R2	21	39	35	22	15	13	10	16	18	27	23	36	275
	H31	19	47	42	44	35	34	68	39	46	43	56	94	567
	H30	34	49	19	58	35	28	37	29	35	40	37	15	416
その他	R4	9	7	14	13	12	5	10	9	20	9	10	9	127
	R3	25	17	29	20	15	11	18	17	13	7	17	15	204
	R2	43	34	33	47	33	36	35	31	30	18	20	25	385
	H31	17	23	23	42	32	27	35	8	26	20	30	38	321
	H30	44	49	40	47	65	47	40	24	25	19	31	18	449
医療連携	R4	208	193	221	235	204	172	164	195	184	166	206	228	2,376
	R3	181	177	179	179	212	173	186	174	171	157	184	207	2,180
	R2	171	132	172	172	135	199	190	198	182	173	169	202	2,095
	H31	129	144	140	163	139	142	188	153	154	146	186	185	1,869
	H30	153	147	139	180	186	151	192	200	139	166	157	162	1,972
合計	R4	411	406	526	515	406	415	407	468	442	428	481	553	5,458
	R3	523	513	624	613	559	487	545	566	571	449	461	542	6,453
	R2	496	437	580	489	392	548	529	465	492	496	467	582	5,973
	H31	445	459	453	536	458	443	501	411	445	454	554	575	5,734
	H30	561	666	548	649	631	498	584	578	492	448	534	498	6,687
※ 比較(R4/R3)		78.6%	79.1%	84.3%	84.0%	72.6%	85.2%	74.7%	82.7%	77.4%	95.3%	104.3%	102.0%	84.6%

※当センターを利用している児童の保護者やこれから利用を検討している児童の保護者等との相談件数である。

13 障害児等療育支援事業実施状況

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来療育 相談・指導	R4	1	3	3	1	1		1	4		3	8	1	26
	R3	3	5	3	3	6	2	6	2	4	4	3	2	43
	R2	18	32	33	30	20	31	25	28	25	17	10	17	286
	H31	54	92	94	83	58	63	73	74	69	63	51	42	816
	H30	55	88	96	89	80	93	98	112	92	82	88	95	1,068
訪問療育指導	R4		15	15	14	15	20	10	16	18				123
	R3		8	13	11	12	8	7	10	16				85
	R2				22	26	17	27	29	23				144
	H31		15	26	18	18	3	23	24	17				144
	H30		11	22	21	23	9	25	16	23				150
在宅支援 専門療育指導	R4			26	31	8		9						74
	R3			27	8	18		9						62
	R2				9	18	39	1						67
	H31													
	H30			23	35	24	18							100
施設支援 専門指導	R4			2	3	1		1						7
	R3			2	2	1		1						6
	R2				1	2	4							7
	H31													
	H30			2	2	2	2							8
療育技術指導	R4		1	2	3	1	2	4	3	2		1		19
	R3		2	1	1	2	1	3	2	2		1		15
	R2			3	2	1	3	4	3	3	1			20
	H31	1	4	5	6	3	6	5	8	3	3			44
	H30		4	5	5	1	2	4	6	1	1			29

※外来での個別保育指導や集団保育指導、外出困難な家庭への訪問指導等の実施、また、県内各圏域ごとに年2回以上保育所等に訪問し、技術指導の実施、これにあわせてケース検討等を行った件数である。

14 障害児相談支援利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害児支援	R4	6	6	7	10	10	6	7	11	4	8	5	3	83
	R3	12	8	5	4	12	11	11	7	9	5	4	10	98
	R2	18	2	6	8	8	9	7	5	8	5	5	7	88
	H31	18	11	4	14	3	4	14	4	17	7	4	5	105
継続障害児支援	R4	1	10	13	9	5	9	7	3	7	7	6	12	89
	R3	2	5	4	4	11	2	5	4	4	2	3	3	49
	R2	4	2			4		5		1	1		4	21
	H31	13	10	20	10	7	11	5	2		3	1	1	83

※児童福祉法に基づく障害児相談支援(サービス利用計画の作成、モニタリング)を行った件数である。

15 リハビリテーション実施状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理学療法	R4	888	888	988	902	982	914	871	736	820	825	783	947	10,544
	R3	1,126	949	1,110	996	907	520	957	890	905	807	692	1,016	10,875
	R2	999	638	1,001	1,069	954	973	1,134	995	953	817	881	1,196	11,610
	H31	997	940	999	1,089	1,042	883	928	933	952	886	977	1,160	11,786
	H30	1,021	1,090	1,057	1,052	1,086	846	1,010	999	972	933	920	1,026	12,012
作業療法	R4	889	829	968	827	917	826	767	764	792	747	802	953	10,081
	R3	836	652	882	802	811	512	929	835	884	797	671	1,010	9,621
	R2	759	556	816	810	715	736	861	709	773	656	721	985	9,097
	H31	859	791	805	890	863	742	758	826	784	793	811	945	9,867
	H30	917	937	912	955	974	726	979	853	852	841	849	842	10,637
言語療法	R4	274	268	343	267	286	285	271	259	307	321	334	395	3,610
	R3	381	310	385	329	332	191	408	375	391	329	306	320	4,057
	R2	338	291	367	331	314	327	380	310	337	246	314	425	3,980
	H31	423	322	343	416	399	348	376	348	351	327	350	432	4,435
	H30	319	349	404	442	460	347	431	386	397	405	403	402	4,745
合計	R4	2,051	1,985	2,299	1,996	2,185	2,025	1,909	1,759	1,919	1,893	1,919	2,295	24,235
	R3	2,343	1,911	2,377	2,127	2,050	1,223	2,294	2,100	2,180	1,933	1,669	2,346	24,553
	R2	2,096	1,485	2,184	2,210	1,983	2,036	2,375	2,014	2,063	1,719	1,916	2,606	24,687
	H31	2,279	2,053	2,147	2,395	2,304	1,973	2,062	2,107	2,087	2,006	2,138	2,537	26,088
	H30	2,257	2,376	2,373	2,449	2,520	1,919	2,420	2,238	2,221	2,179	2,172	2,270	27,394
※ 比較(R4/R3)		87.5%	103.9%	96.7%	93.8%	106.6%	165.6%	83.2%	83.8%	88.0%	97.9%	115.0%	97.8%	98.7%

16 手術件数

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形外科	R4	1	3	3	2	2		2	1	4	2	4	3	27
	R3		3	2	4	1	2	1	3	4	3	3	3	29
	R2	2		4	2	6	4	3	3	4		3	5	36
	H31	2	5	3	4	5	4	3	2	2	3	4	5	42
	H30	1	1	2	5	3	2	6	5	4	2	5	5	41
歯科	R4													
	R3													
	R2													
	H31	1		1										2
	H30	1	1	1	1	1	2	1	1	1			1	11

17 画像撮影

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
MRI撮影	R4	3	5	11	10	10	12	8	3		3	7	9	81
	R3	8	9	7	10	14	4	10	3	6	7	7	8	93
	R2	4	8	11	12	12	10	10	7	16	10	5	10	115
	H31	8	12	8	9	12	3	10	4	15	12	12	16	121
	H30	7	11	12	11	14	6	10	10	4	9	2	10	106
CT撮影	R4	4	7	7	3	8	6	4	10	5	2	5	4	65
	R3	6	6	4	6	10	8	2	8	5	2	6	5	68
	R2	8	7	6	9	11	11	11	3	4	10	5	5	90
	H31	4	9	6	5	3	5	7	5	3	5	5	7	64
	H30	12	8	8	7	4	5	5	10	7	9	4	7	86
X線撮影	R4	86	69	86	92	134	88	83	76	90	105	80	123	1,112
	R3	80	57	75	83	112	62	58	86	98	102	68	133	1,014
	R2	81	48	60	92	124	95	95	82	96	98	47	122	1,040
	H31	75	58	66	87	89	63	58	58	85	79	64	86	868
	H30	86	99	68	98	121	127	68	53	68	87	52	77	1,004
回診撮影	R4	21	25	28	22	28	27	20	15	21	19	9	14	249
	R3	24	33	37	26	39	24	36	31	35	31	8	46	370
	R2	39	28	27	32	24	18	33	32	25	33	27	45	363
	H31	26	50	48	35	17	11	45	32	37	28	19	25	373
	H30	36	31	44	30	35	29	34	36	27	32	37	29	400
X線透視・撮影	R4	11	4	7	6	7	10	6	4	6	6	4	9	80
	R3	6	5	6	3	2	10	1	6	3	3	5	6	56
	R2	6	4	4	4	9	2	7	4	6	3	2	5	56
	H31	7	2	4	5	6	5	4	6	7	6	4	5	61
	H30	2	1	5	2	6		5	5	6	5	2	6	45
術中透視・撮影	R4	2	3	3	2	5	1	2	1	4	3	4	3	33
	R3		3	2	4	1	2	1	3	4	3	3	3	29
	R2	1		5	3	6	4	2	3	4		3	6	37
	H31	2	5	2	4	5	1	3	2	3	3	4	4	38
	H30	1	1	2	4	3	2	6	5	4	2	5	4	39
歯科撮影	R4	6	8	9	4	2	5	2	8	8	4	2	7	65
	R3	5	4	8	4	8	4	3	3	9	2	6	7	63
	R2	3	2	2	1	4	6	3	2	5	2	7	6	43
	H31		3	1	1	2	1	1	3	3	1	2	2	20
	H30	2	1	1	4	2	1	4	1	2	8	4	2	32
歯科術中撮影	R4													
	R3													
	R2													
	H31	1		1										2
	H30	1	1	1	1	1	2	1	1	1				10
画像提供	R4	13	14	16	13	8	9	19	19	10	14	11	16	162
	R3	17	8	12	12	13	8	11	20	12	5	9	14	141
	R2	5	9	8	13	7	12	17	7	4	6		18	106
	H31	6	16	14	10	6	5	10	9	13	9	15	18	131
	H30	5	17	16	11	11	9	9	16	10	4	5	15	128
画像取込	R4	11	11	12	11	13	12	22	18	12	18	14	10	164
	R3	12	9	15	13	26	19	12	15	12	14	12	18	177
	R2	12	9	14	10	9	15	11	16	12	9	7	10	134
	H31	17	13	15	16	18	11	9	10	17	7	7	14	154
	H30	11	19	19	12	18	12	16	14	9	11	15	21	177

18 臨床検査

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳波検査	R4	17	12	21	23	27	20	21	12	17	14	12	14	210
	R3	18	9	14	17	30	22	23	5	30	15	11	22	216
	R2	17	12	12	17	38	20	18	13	30	17	10	30	234
	H31	13	17	24	31	40	16	15	22	27	24	15	27	271
	H30	27	14	24	29	32	15	13	22	15	11	19	28	249
心電図検査	R4	5	16	13	18	24	13	6	7	9	8	11	12	142
	R3	13	14	14	13	15	10	9	8	10	14	12	8	140
	R2	8	13	19	19	20	16	6	5	8	11	10	19	154
	H31	7	11	16	18	8	15	8	14	14	20	11	18	160
	H30	11	20	28	19	15	11	12	15	13	16	12	10	182
ABR検査	R4					2								2
	R3		3	2		1	1	1	1	2				11
	R2			1	1	1		1	1					5
	H31	1	1		1		1							4
	H30			1	1			2				2	1	
OAE検査	R4													
	R3		2	2		1			1					6
	R2			1	1									2
	H31	1	1											2
	H30				1			1				2	1	5
呼吸機能検査	R4		1	1	2	1		1	1	1	3		1	12
	R3		3	2	2	2	1		2		2	2	2	18
	R2	3	1	2	7	3	3	1	3	3			2	28
	H31	1	2	1	7	2	1	1	1		4	1	1	22
	H30	2	3	4	6	3	4	1		3	2	4	1	33
起立試験	R4			1	1	1	1		1	1			4	10
尿一般検査	R4	119	107	160	101	108	105	109	93	79	91	95	113	1,280
	R3	155	117	138	140	101	140	105	140	107	106	94	141	1,484
	R2	104	115	141	117	81	90	108	106	84	65	96	155	1,262
	H31	122	104	119	142	95	110	103	100	67	85	98	126	1,271
	H30	117	149	99	120	97	99	113	137	97	107	138	162	1,435
血液一般検査	R4	208	198	281	220	258	261	214	206	241	188	164	227	2,666
	R3	233	214	273	236	206	215	196	182	234	218	174	285	2,666
	R2	228	201	264	195	267	205	260	218	247	166	188	309	2,748
	H31	201	263	243	270	236	180	213	234	231	218	182	258	2,729
	H30	239	226	195	227	274	207	220	261	229	212	260	262	2,812
生化学検査	R4	1,418	1,431	1,977	1,565	1,680	1,758	1,408	1,374	1,491	1,247	1,129	1,516	17,994
	R3	1,689	1,588	1,933	1,713	1,523	1,608	1,447	1,391	1,633	1,616	1,172	1,947	19,260
	R2	1,601	1,528	2,023	1,457	1,828	1,537	1,919	1,617	1,827	1,267	1,439	2,301	20,344
	H31	1,384	1,906	1,768	2,000	1,683	1,231	1,649	1,863	1,753	1,678	1,318	1,859	20,092
	H30	1,841	1,626	1,472	1,728	1,978	1,534	1,656	2,023	1,649	1,649	1,911	1,817	20,884
凝固検査	R4	11	14	11	16	17	28	8	29	8	14	6	17	179
	R3	9	28	25	22	17	17	17	21	15	12	12	13	208
	R2	16	25	32	17	15	16	16	14	8	7	10	26	202
	H31	12	22	20	33	12	13	9	24	15	30	19	21	230
	H30	10	22	18	37	14	20	20	19	17	10	30	15	232
血清検査	R4	4	14	10	16	4	6	4	12	2	12	4	4	92
	R3		10	10	4	12	7	6	12	11	10	12	10	104
	R2	2	2	12	10	14	10	9	8	6	2	6	10	91
	H31	12	16	12	16	8	8	4	12	4	20	12	13	137
	H30	6	10	10	14	8	14	10	10	10	8	14	8	122
薬物血中濃度検査	R4	25	20	33	23	22	21	23	13	19	12	12	14	237
	R3	23	21	35	25	31	26	19	20	24	24	17	24	289
	R2	15	22	31	21	29	21	28	22	33	21	15	27	285
	H31	17	30	20	33	39	31	27	30	40	28	23	30	348
	H30	20	20	27	27	28	21	18	29	16	20	17	15	258
簡易キット検査	R4	3	6	5	1	3		1	2	4	2	6	7	40
	R3	2	3	1			1	1			10	3	4	25
	R2	3			2							3		8
	H31	4	3	1			3	11	6	9	15	6	5	63
	H30	7	3		1			3	3	6	8	12	7	50
外注検査	R4	87	121	189	125	122	142	142	104	126	95	81	120	1,454
	R3	98	174	245	177	118	205	101	100	135	166	99	116	1,734
	R2	68	120	169	126	134	134	134	108	130	123	92	179	1,517
	H31	94	121	137	165	139	136	178	140	106	101	85	154	1,556
	H30	118	126	108	179	149	115	100	125	113	132	125	98	1,488
細菌検査	R4	18	25	22	16	19	44	28	28	20	27	9	21	277
	R3	22	33	30	35	25	24	56	28	19	33	12	44	361
	R2	81	121	95	68	46	84	68	96	122	92	90	126	1,089
	H31	39	86	69	70	50	57	33	128	22	77	57	61	749
	H30	36	44	43	56	58	89	66	82	37	41	94	69	715
健康診断(尿検査)	R4	32	23					11	5					71
	R3	46	9					10	6					71
	R2	33	7	5				15	4					64
	H31	54	11					7						72
	H30	60	4					13	3					80
その他の検査	R4	16	18	9	8	11	19	11	29	19	18	15	16	189
	R3	4	8	9	7	4	4	4	4	4	20	6	18	92
	R2	8	5	4	6	7	6	8	10	3	8	3	10	78
	H31	10	7	9	5	4	4	11	10	4	2	4	7	77
	H30	10	9	7	6	12	13	13	9	6	9	15	6	115

19 心理検査

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理検査 (人格検査含む)	R4	145	124	140	143	176	133	130	138	109	120	130	148	1,636
	R3	157	134	194	229	221	180	191	207	158	163	142	204	2,180
	R2	164	128	192	205	186	168	212	162	163	153	142	238	2,113
	H31	145	144	144	185	144	144	173	146	148	143	130	163	1,809
	H30	160	146	179	211	205	159	200	181	150	167	156	195	2,109
カウンセリング	R4	26	19	19	15	16	14	15	18	18	14	18	20	212
	R3	22	17	17	24	23	29	34	26	27	18	26	39	302
	R2	17	15	16	15	12	15	19	17	17	16	19	15	193
	H31	15	12	13	14	14	12	15	17	17	15	12	18	174
	H30	19	27	20	26	19	21	21	25	18	17	17	17	247
巡回相談	R4			22	35	8		9						74
	R3			17	18	18		9						62
	R2				9	18	39							66
	H31													
	H30			14	35	24	18							91

(内 訳)

心理検査新規 (人格検査含む)	R4	31	35	16	12	15	19	19	26	18	24	41	30	286
	R3	29	32	22	29	19	28	33	36	32	27	28	21	336
	R2	21	35	37	22	27	27	43	31	27	20	32	20	342
	H31	28	31	16	19	10	13	27	5	12	19	34	23	237
	H30	31	35	25	26	18	32	27	20	19	22	25	18	298
心理検査再来 (人格検査含む)	R4	114	89	124	131	161	114	111	112	91	96	89	118	1,350
	R3	128	102	172	200	202	152	158	171	126	136	114	183	1,844
	R2	143	93	155	183	159	141	169	131	136	133	110	218	1,771
	H31	117	113	128	166	134	131	146	141	136	124	96	140	1,572
	H30	129	111	154	185	187	127	173	161	131	145	131	177	1,811
カウンセリング 新規	R4		3	1		1	1	2	2					10
	R3	2		1	2	1	1	4	1		1	2	1	16
	R2	1	1		1			2	2					7
	H31	1		1	1		2	2			1		1	9
	H30		1			2							1	4
カウンセリング 再来	R4	26	16	18	15	15	13	13	16	18	14	18	20	202
	R3	20	17	16	22	22	28	30	25	27	17	24	38	286
	R2	16	14	16	14	12	15	17	15	17	16	19	15	186
	H31	14	12	12	13	14	10	13	17	17	14	12	17	165
	H30	19	26	20	26	17	21	21	25	18	17	17	16	243
巡回相談 新規	R4			17	18	6		5						46
	R3			8	16	8		3						35
	R2				6	15	38							59
	H31													
	H30			11	21	9	12							53
巡回相談 再来	R4			5	17	2		4						28
	R3			9	2	10		6						27
	R2				3	3	1							7
	H31													
	H30			3	14	15	6							38

判定書発行先

児童相談所	R4	25	11	18	29	30	19	24	25	16	20	12	20	249
	R3	13	10	17	33	21	10	27	31	21	17	31	20	251
	R2	16	12	12	18	25	18	12	32	17	24	17	23	226
	H31	17	17	13	15	21	14	23	15	22	15	16	26	214
	H30	16	12	18	21	16	24	26	19	17	15	17	14	215
その他	R4						3	2						5
	R3			1	1	1	3							6
	R2						3		2					5
	H31								1		1			2
	H30									1				1

20 調剤件数

(単位: 枚、Rp)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内処方箋枚数	R4	891	1,096	1,193	843	1,244	974	753	1,144	1,332	980	957	992	12,399
	R3	716	817	869	886	823	1,024	1,174	1,005	1,004	890	856	1,333	11,397
	R2	778	647	747	755	656	701	746	707	762	755	746	1,222	9,222
	H31	786	903	918	883	781	585	752	727	767	762	656	803	9,323
	H30	697	749	812	776	884	618	779	861	899	773	858	955	9,661
院内処方剤数	R4	2,724	2,803	3,322	2,538	3,391	2,763	2,472	3,437	3,438	2,894	2,953	3,399	36,134
	R3	2,512	2,622	3,062	2,643	2,525	3,100	2,885	2,756	3,120	2,608	2,551	3,511	33,895
	R2	2,528	2,156	2,283	2,684	2,201	2,743	2,361	2,364	2,449	2,416	2,564	3,509	30,258
	H31	2,278	2,589	2,359	2,634	2,214	1,902	2,479	2,210	2,292	2,232	2,189	2,571	27,949
	H30	2,085	2,403	2,231	2,206	2,688	2,146	2,556	2,396	2,341	2,504	2,260	2,425	28,241
院外処方箋枚数	R4	629	616	660	643	662	677	657	621	618	567	546	712	7,608
	R3	610	553	682	619	604	651	645	647	695	628	593	731	7,658
	R2	576	543	626	622	599	619	638	577	671	581	561	710	7,323
	H31	588	557	585	609	563	597	600	569	619	555	548	642	7,032
	H30	588	645	643	566	591	584	578	582	566	530	528	610	7,011
院外処方箋発行率	R4	93.6%	94.8%	92.6%	94.1%	91.4%	94.0%	94.5%	95.7%	93.2%	94.8%	93.7%	93.9%	93.8%
	R3	92.4%	91.9%	93.0%	93.1%	94.1%	92.7%	93.6%	94.9%	94.3%	92.5%	93.2%	94.0%	93.3%
	R2	89.4%	90.3%	90.5%	90.9%	88.3%	92.0%	91.0%	91.4%	89.2%	93.9%	92.9%	93.2%	91.1%
	H31	89.8%	88.3%	88.5%	90.1%	86.0%	90.3%	90.8%	89.7%	89.1%	88.7%	89.8%	87.0%	89.0%
	H30	89.1%	90.7%	86.9%	85.6%	85.3%	89.4%	87.7%	87.9%	89.3%	87.2%	88.0%	88.3%	87.9%

(内 訳)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来院内処方箋枚数	R4	43	34	53	40	62	43	38	28	45	31	37	46	500
	R3	50	49	51	46	38	51	44	35	42	51	43	47	547
	R2	68	58	66	62	79	54	63	54	81	38	43	52	718
	H31	67	74	76	67	92	64	61	65	76	71	62	96	871
	H30	72	66	97	95	102	69	81	80	68	78	72	81	961
外来院内注射処方箋枚数	R4	42	42	55	26	40	53	33	45	43	45	31	36	491
	R3	50	32	42	45	44	36	30	48	48	44	35	43	497
	R2	40	25	28	40	39	31	26	36	41	43	35	61	445
	H31	40	49	31	34	36	39	33	31	42	37	22	39	433
	H30	51	36	34	27	46	44	32	28	46	38	21	29	432
入院処方箋枚数	R4	395	355	435	400	450	424	375	472	427	367	406	436	4,942
	R3	395	371	431	375	380	416	410	373	453	360	353	494	4,811
	R2	455	378	407	443	357	473	428	431	435	431	438	536	5,212
	H31	452	437	412	446	419	354	451	415	468	450	422	513	5,239
	H30	390	437	427	391	447	340	435	469	431	398	386	456	5,007
入院注射処方箋枚数	R4	411	665	650	377	692	454	307	599	817	537	483	474	6,466
	R3	221	365	345	420	361	521	690	549	461	435	425	749	5,542
	R2	215	186	246	210	181	143	229	186	205	243	230	573	2,847
	H31	227	343	399	336	234	128	207	216	181	204	150	155	2,780
	H30	184	210	254	263	289	165	231	284	354	259	379	389	3,261
外来院内処方箋剤数	R4	78	59	89	69	111	82	91	50	93	74	77	103	976
	R3	85	107	119	92	89	92	85	73	80	86	92	82	1,082
	R2	121	108	111	105	121	90	111	87	145	89	75	120	1,283
	H31	123	126	130	114	149	115	111	105	132	111	111	146	1,473
	H30	175	116	181	212	201	160	174	152	125	129	116	129	1,870
外来院内注射処方箋剤数	R4	42	42	55	26	40	53	33	45	43	45	31	36	491
	R3	50	32	42	45	44	36	30	48	48	44	35	43	497
	R2	43	25	31	41	52	37	39	42	56	48	35	61	510
	H31	46	51	33	34	37	41	37	31	45	42	23	47	467
	H30	67	39	34	28	48	45	32	30	49	46	24	31	473
入院処方箋剤数	R4	2,193	2,037	2,528	2,066	2,548	2,174	2,041	2,743	2,485	2,238	2,362	2,786	28,201
	R3	2,156	2,118	2,556	2,086	2,031	2,451	2,080	2,086	2,531	2,043	1,999	2,637	26,774
	R2	2,122	1,803	1,876	2,317	1,827	2,464	1,969	2,046	2,017	2,027	2,224	2,755	25,447
	H31	1,863	2,040	1,759	2,107	1,770	1,610	2,099	1,846	1,926	1,839	1,886	2,192	22,937
	H30	1,635	2,019	1,719	1,672	2,132	1,744	2,092	1,884	1,761	1,999	1,706	1,846	22,209
入院注射処方箋剤数	R4	411	665	650	377	692	454	307	599	817	537	483	474	6,466
	R3	221	365	345	420	361	521	690	549	461	435	425	749	5,542
	R2	242	220	265	221	201	152	242	189	231	252	230	573	3,018
	H31	246	372	437	379	258	136	232	228	189	240	169	186	3,072
	H30	208	229	297	294	307	197	258	330	406	330	414	419	3,689

資料

地方独立行政法人秋田県立療育機構定款

目 次

第1章 総則（第1条―第6条）

第2章 組織及び業務

第1節 役員（第7条―第10条）

第2節 業務及び執行（第11条―第13条）

第3章 資本金等（第14条・第15条）

第4章 雑則（第16条）

第1章 総則

（目的）

第1条 この地方独立行政法人は、地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号。以下「法」という。）に基づき、秋田県の政策として求められる療育の提供、療育に関する調査研究等を行うことにより、秋田県療育の拠点として、県域における療育水準の向上を図り、もって子どもたちの発達と障害児・者福祉の増進に寄与することを目的とする。

（名称）

第2条 この地方独立行政法人は、地方独立行政法人秋田県立療育機構（以下「法人」という。）と称する。

（設立団体）

第3条 法人の設立団体は、秋田県とする。

（事務所の所在地）

第4条 法人は、事務所を秋田市に置く。

（法人の種別）

第5条 法人は、特定地方独立行政法人以外の地方独立行政法人とする。

（公告の方法）

第6条 法人の公告は、秋田県公報に掲載して行う。ただし、天災その他やむを得ない事情により秋田県公報に掲載することができないときは、法人の事務所の掲示場に掲示してその掲載に代えることができる。

第2章 組織及び業務

第1節 役員

(定数)

第7条 法人の役員として、理事長1人、副理事長1人、理事3人以内及び監事2人以内を置く。

(職務及び権限)

第8条 理事長は、法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 副理事長は、法人を代表し、理事長の定めるところにより、理事長を補佐して法人の業務を掌理する。
- 3 副理事長は、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行う。
- 4 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び副理事長を補佐して法人の業務を掌理する。
- 5 理事は、理事長があらかじめ指定した順序により、理事長及び副理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び副理事長が欠員のときはその職務を行う。
- 6 監事は、法人の業務を監査する。この場合において、監事は、秋田県の規則に定めるところにより、監査報告を作成しなければならない。
- 7 監事は、いつでも、役員（監事を除く。）及び職員に対して事務及び事業の報告を求め、又は法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
- 8 監事は、法人が次に掲げる書類を秋田県知事（以下「知事」という。）に提出しようとするときは、当該書類を調査しなければならない。
 - 一 法の規定による認可、承認及び届出に係る書類並びに報告書その他の総務省令で定める書類
 - 二 その他秋田県の規則で定める書類
- 9 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるときは、理事長又は知事に意見を提出することができる。

(任命)

第9条 理事長及び監事は、知事が任命する。

- 2 副理事長及び理事は、理事長が任命する。

(任期)

第10条 理事長及び副理事長の任期は4年とし、理事の任期は2年とする。

- 2 監事の任期は、理事長の任期（補欠の理事長の任期を含む。以下この項において同じ。）に対応し、任命の日から、当該対応する理事長の任期の末日を含む事業年度についての法第34条第1項の規定による同項に規定する財務諸表の承認の日までとする。
- 3 補欠の役員又は増員により任命された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 4 役員は、再任されることができる。

第2節 業務及び執行

（施設の名称及び所在地）

第11条 法人が設置及び管理を行う施設の名称及び所在地は、次のとおりとする。

名 称	所 在 地
秋田県立医療療育センター	秋田県秋田市

（業務の範囲）

第12条 法人は、第1条に掲げる目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- 一 療育を提供すること。
- 二 療育に関する調査及び研究を行うこと。
- 三 療育に関する技術者の研修を行うこと。
- 四 療育に関する地域への支援を行うこと。
- 五 発達に関する支援を行うこと。
- 六 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

（業務の執行）

第13条 法人の業務の執行に関し必要な事項は、この定款に定めるもののほか、業務方法書に定めるところによる。

第3章 資本金等

（資本金等）

第14条 法人の資本金は、法第66条の2第1項の規定により秋田県から法人に対し出資されたものとされる金額とする。

- 2 法第66条の2第1項に規定する承継される権利に係る財産のうち土地及び建物は、別表第1及び別表第2に掲げるものとする。

（残余財産の帰属）

第15条 法人が解散した場合において、債務を弁済してなお残余財産があるときは、その残余財産は秋田県に帰属する。

第4章 雑則

（委任）

第16条 この定款及び業務方法書に定めるもののほか、法人の運営に関し必要な事項は、法人の規程に定

めるところによる。

附 則

この定款は、法人の成立の日から施行する。

附 則

(施行期日)

この定款は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この定款は、平成 30 年 6 月 1 日から施行する。

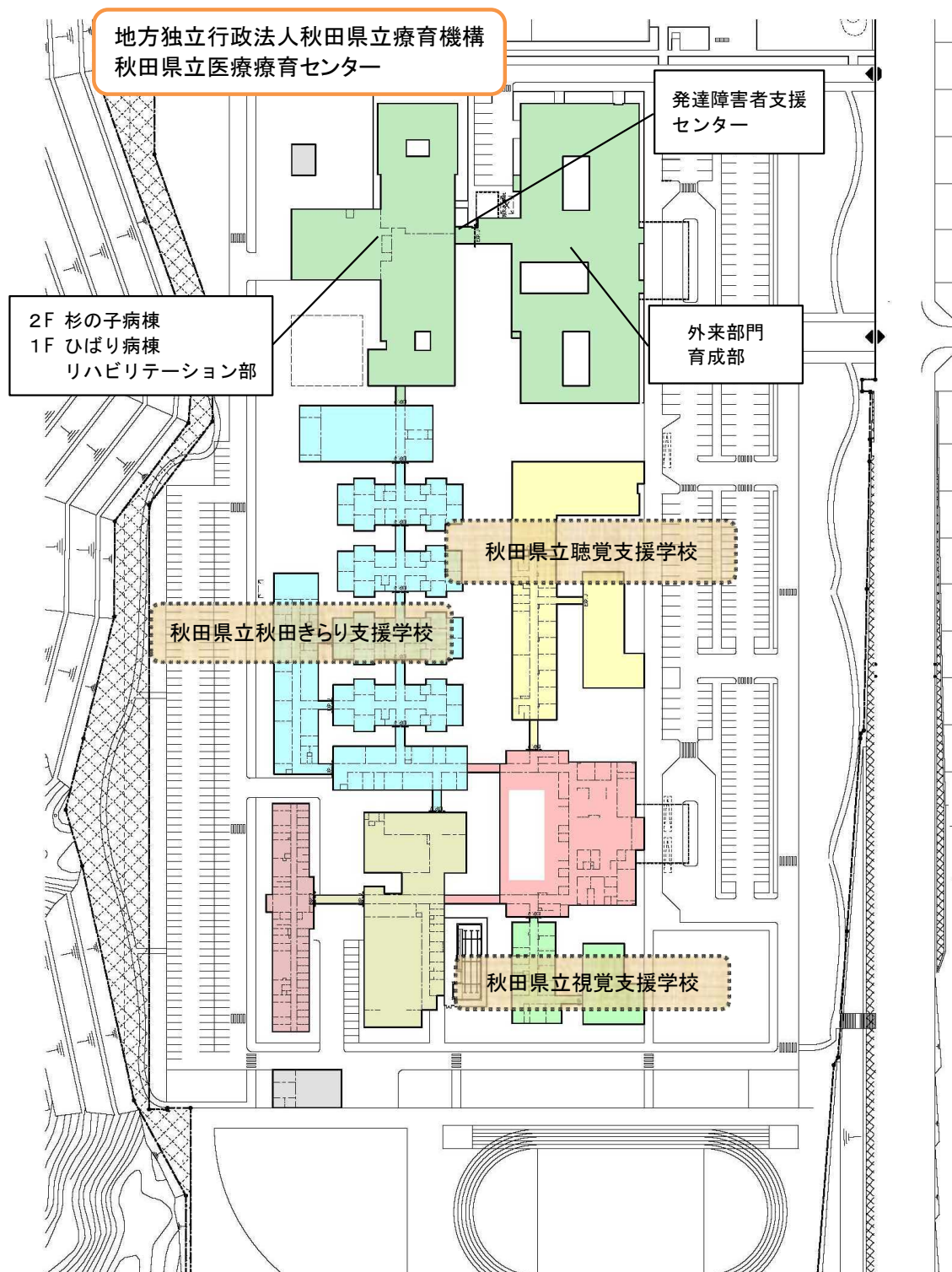
別表第 1（第 1 4 条関係）

資産の 種別	施 設	所 在 地	地 目	面積（㎡）
土 地	医療療育 センター	秋田市南ヶ丘一丁目 3 番 1 2 8	宅 地	44, 868. 93
		秋田市南ヶ丘一丁目 3 番 1 3 4	宅 地	2, 940. 44
		秋田市南ヶ丘一丁目 3 番 1 3 5	宅 地	2, 190. 67

別表第 2（第 1 4 条関係）

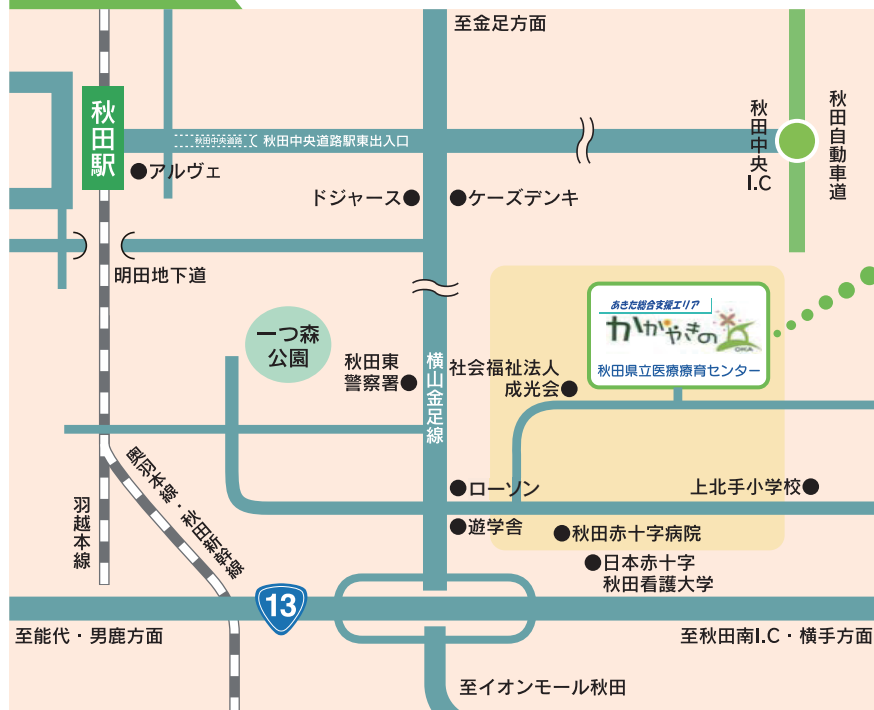
資 産 の 種 別	施 設	施 設 名	所 在 地	構 造	延床面積 （㎡）
建物	医療療育 センター	病棟	秋田市南ヶ丘一丁目 1 番 2 号	鉄筋コンクリート造 2 階建	6, 422. 00
		通園・診療棟	秋田市南ヶ丘一丁目 1 番 2 号	鉄筋コンクリート造平屋建	3, 853. 00
		渡り廊下	秋田市南ヶ丘一丁目 1 番 2 号	鉄筋コンクリート造平屋建	25. 00

あきた総合支援エリアかがやきの丘 全体配置図



案内図

アクセス



交通のご案内

バス利用の場合

- 南ヶ丘線
(「秋田駅東口(2番のりば)」発→「総合支援エリア」着)…秋田駅から約15分
(県立医療療育センター駐車場内停車)
- 広面御所野線
(「秋田駅東口(3番のりば)」発→「日赤病院前」着)…秋田駅から約15分
(県立医療療育センターまで徒歩約20分)

自家用車利用

- 秋田南 I.C.から約14分
- 秋田中央 I.C.から約15分



すべての子どもや家族に対する幅広い相談支援

医療と教育の連携によるきめ細かな総合支援

地域の療育及び教育機関とつながる支援機能

地域との日常的な交流が広がる開かれたエリア

秋田県立医療療育センター

〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番2号
TEL018-826-2401 FAX018-826-2407
ホームページ <https://www.airc.or.jp/>



令和 4 年度

業 務 概 要

発行年月日 令和 5 年 6 月 2 2 日

編集・発行 秋田県立医療療育センター